にししもやた

西下谷田遺跡

―古代編Ⅱ―

平成20年３月

宇都宮市教育委員会

西下谷田遺跡周辺航空写真

序

本遺跡は、宇都宮市南部の茂原町に清掃工場を建設するのに先立ち発掘調査を実施したその調査結果を報告するものです。本遺跡内には、全国的にあまり発見例がない「評家」跡と考えられる遺構が確認されています。すでに弥生・古墳時代前期の遺構と古代の遺構の一部を報告いたしましたが今回は、この特殊な遺構に隣接する集落跡や、それに先行する古墳時代後期の古墳群について報告します。

本報告書が、本県の古代の歴史を解明する上で、参考となれば幸いです。

最後になりましたが、本調査及び報告書の作成にあたり、ご尽力を賜りました、栃木県教育委員会及び埋蔵文化財センターの方々には厚く御礼申し上げます。

平成20年３月30日

宇都宮市教育委員会

教育長　伊　藤　文　雄

例　　言

1　本報告書は、栃木県宇都宮市茂原町字西下谷田に所在する西下谷田遺跡のうち、古代の遺構に関する発掘調査報告書である。

2　本調査は、宇都宮市清掃工場建設に伴い、宇都宮市環境部より宇都宮市教育委員会に依頼されたものである。

3　調査は、４次にわたり実施した。第1次調査が平成８年12月10日～平成９年３月31日、第２次調査が平成９年５月25日～平成10年３月31日、第３次調査が平成10年４月２日～平成11年３月31日、第４次調査が平成11年６月15日～平成11年11月４日に実施した。本報告では、３次と４次調査分を中心に古代の遺構について報告する。

4　調査面積は、第１次調査が約10,800㎡、第２次調査が約23,000㎡、第３次調査が約23,000㎡、第４次調査が2,300㎡である。

5　発掘調査での測量、写真撮影等は、京極隆利、吉澤宣行がこれにあたった。

6　遺構・遺物の整理、実測などは、大澤順子、君島朱美、澤村有紀子、大野節子、大森八重子、鈴木芳子、福田貴久栄、樋口静子、鈴木道子、川津淳子、阿久津とよ子の協力得て、今平利幸がこれにあたった。また、遺物の写真撮影は、今平利幸、大澤順子、君島朱美、澤村有紀子がこれにあたった。

7　本書の執筆は今平がこれにあたった。

8　本遺跡出土の遺物及び図面・写真は、宇都宮市教育委員会で保管している。

9　発掘調査の関係者は次のとおりである。

〔指導助言〕

宇都宮市文化財保護審議委員会委員　塙静夫
〃　大金宣亮（故人）
〃　橋本澄朗

事務局

＜発掘調査時＞			＜報告書作成時＞	
教育長	大塚一之		教育長	伊藤文雄
教育次長	阿部将樹		教育次長	高井　徹
文化課長	桜井敬朔		文化課長	篠崎　茂
文化課長補佐	西田秀雄		文化課長補佐	篠原　豊
文化財保護係長	手塚英男		文化財保護係長	大塚雅之
文化財保護係	梁木　誠	高野欽哉	文化財保護係	井上俊邦
〃	小松俊雄	吉澤宣行	〃	神野安伸
〃	大塚雅之	清水正幸	〃	富川　努
〃	神野安伸		〃	増山孝之
〃	富川　努		〃	今平利幸
〃	栗原武夫		〃	須田浩太郎
〃	増山孝之		〃	前原義之
〃	京極隆利		〃	黒須　寛
〃	今平利幸		〃	筧　芳子

（発掘調査補助員）

今井トキ　大越ミカ　栗原利江　佐々木績　篠原キヨノ　鈴木サク　鈴木二郎　高嶋好子
田村フミ子　寺内ミキ　野沢一　橋本キク江　橋本尚子　藤田幸子　藤沼チヨ　山崎テル
山崎ミイ　吉成千代子　遠井文子　鈴木雅人　山崎末子　高山礼子　吉田弘　橋本一夫
児玉祐美子　細野誠　寶島幸子　山崎徹　清水豊　植松雄介　粒良江美　中村一也　平井健一郎

10　発掘調査及び報告書作成においては、次の諸機関、諸氏にご協力を頂いた。記して感謝の意を表する。
（敬称略・順不同）

栃木県教育委員会文化財課、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター、宇都宮市環境部、大川清、田辺征夫、竹澤謙、岩上照朗、中山晋、田熊清彦、小森哲也、大橋泰夫、秋元陽光、板橋正幸、塚原孝一、内山敏行

凡　　例

1　挿図の縮尺は、竪穴住居跡などの遺構が1/60とし、遺物は1/3 で示した。また、遺物実測図番号は遺構平・断面図の番号及び図版の遺物番号と一致する。

2　断面図基準線は標高であり、平面図の方位は真北を示す。

3　遺構実測図の土層説明においては、次の略号を使用した。
ロームブロック…ＲＢ　ローム粒…ＲＲ　今市パミス…IP　七本桜パミス…SP　鹿沼パミス…KP
焼土粒…ＳＹ　焼土ブロック…ＳＹＢ　炭化物…Ｃ

4　遺構においては次の略号を使用した。
竪穴住居跡…SI　掘立柱建物跡…SB　溝…SD　土坑…ＳＫ　不明…SX

5　土層断面図において■は黒色地山、▤はローム層、▒は鹿沼軽石層を示す。

6　遺構平面図において▨は粘土、▥は焼土、▦は炭化物を示す。

目　　次

序・例言・凡例
Ⅰ　はじめに
1　調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　遺跡の環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（1）地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（2）歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅱ　調査概要
1　竪穴住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
2　掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
3　溝状遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
4　土坑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
5　井戸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
6　古墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
（1）1号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
（2）2号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
（3）3号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
（4）4号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
（5）5号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
7　鉄製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80
8　遺構外出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81

Ⅲ　おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

図 版 目 次

第１図　調査範囲全体図 ・・・・・・・・・・・・・・・2
第２図　Ⅲ次B区全体図 ・・・・・・・・・・・・・・・3
第３図　Ⅲ次調査区全体図 ・・・・・・・・・・・・・・4
第４図　Ⅳ次調査区全体図 ・・・・・・・・・・・・・・5
第５図　遺跡分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第６図　SI60平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・12
第７図　SI65平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・13
第８図　SI66平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・13
第９図　SI77平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・14
第10図　SI80平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・15
第11図　SI81平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・16
第12図　SI83平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・17
第13図　SI84平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・17
第14図　SI85平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・18
第15図　SI86平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・18
第16図　SI87平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・19
第17図　SI87ｶﾏﾄﾞ平・断面図 ・・・・・・・・・・・・20
第18図　SI88平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・20
第19図　SI89平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・21
第20図　SI90・91平・断面図 ・・・・・・・・・・・・22
第21図　SI92平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・23
第22図　SI93平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・23
第23図　SI94平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・24
第24図　SI96平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・24
第25図　SI97平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・25
第26図　SI65・66出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・26
第27図　SI77・80出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・27
第28図　SI81出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・28
第29図　SI83・84・85出土遺物実測図 ・・・・・・・・29
第30図　SI87出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・30
第31図　SI89出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・31
第32図　SI90・91・92・93出土遺物実測図 ・・・・・32
第33図　SI94・96・97出土遺物実測図 ・・・・・・・33
第34図　Ⅲ・Ⅳ次調査区SB平・断面図(１) ・・・・・40
第35図　Ⅲ・Ⅳ次調査区SB平・断面図(２) ・・・・・41
第36図　Ⅰ次調査区SD平･断面図 ・・・・・・・・・・43
第37図　Ⅱ次調査区SD平･断面図(１) ・・・・・・・・45
第38図　Ⅱ次調査区SD平･断面図(２) ・・・・・・・・46
第39図　Ⅱ次B区SD平･断面図 ・・・・・・・・・・・・47
第40図　Ⅱ次C区SD平･断面図 ・・・・・・・・・・・・48
第41図　Ⅲ次調査区SD平･断面図 ・・・・・・・・・・50
第42図　Ⅲ次B区SD平･断面図(１) ・・・・・・・・・・51
第43図　Ⅲ次B区SD平･断面図(２) ・・・・・・・・・・52
第44図　Ⅲ次B区SD平･断面図(３) ・・・・・・・・・・53
第45図　溝出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・・54
第46図　Ⅱ次調査区SK平･断面図(１) ・・・・・・・・56
第47図　Ⅱ次調査区SK平･断面図(２) ・・・・・・・・57
第48図　Ⅲ次B区SK平･断面図(１) ・・・・・・・・・・58
第49図　Ⅲ次B区SK平･断面図(２) ・・・・・・・・・・59
第50図　Ⅲ次B区SK平･断面図(３) ・・・・・・・・・・60
第51図　土坑出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・61
第52図　Ⅱ・Ⅲ次調査区SE平･断面図 ・・・・・・・・63
第53図　１号墳平面図 ・・・・・・・・・・・・・・・65
第54図　１号墳周溝断面図 ・・・・・・・・・・・・・66
第55図　１号墳主体部平･断図 ・・・・・・・・・・・67
第56図　２号墳平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・70
第57図　２号墳主体部平･断図 ・・・・・・・・・・・71
第58図　３号墳平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・72
第59図　３号墳主体部平･断図 ・・・・・・・・・・・73
第60図　４号墳平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・75
第61図　４号墳主体部平・断面図 ・・・・・・・・・・76
第62図　５号墳平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・77
第63図　5号墳主体部平・断面図 ・・・・・・・・・・78
第64図　古墳出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・79
第65図　鉄製品実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・80
第66図　遺構外出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・81

表 目 次

第１表　調査経過表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２表　周辺遺跡一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・9
第３表　出土遺物観察表(1) ・・・・・・・・・・・・・34
第４表　出土遺物観察表(2) ・・・・・・・・・・・・・35
第５表　出土遺物観察表(3) ・・・・・・・・・・・・・36
第６表　出土遺物観察表(4) ・・・・・・・・・・・・・37
第７表　出土遺物観察表(5) ・・・・・・・・・・・・・38
第８表　ＳＫ一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・55
第９表　土坑出土遺物観察表・・・・・・・・・・・・・61
第10表　井戸一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・62
第11表　鉄製品観察表 ・・・・・・・・・・・・・・・80
第12表　遺構外出土遺物観察表 ・・・・・・・・・・・81

写 真 図 版

PL１　①SI65完掘状況
②SI66完掘状況
③SI77完掘状況
④SI77遺物出土状況
⑤SI80完掘状況
⑥SI81完掘状況
⑦SI83完掘状況
⑧SI84･86完掘状況

PL２　①SI87完掘状況
②SI88完掘状況
③SI89完掘状況
④SI89遺物出土状況
⑤SI90･91セクション
⑥SI90･91完掘状況
⑦SI92完掘状況
⑧SI93完掘状況

PL３　①SI94完掘状況
②SI96完掘状況
③SI97完掘状況
④SB21完掘状況
⑤SB23完掘状況
⑥SE05セクション
⑦SK730セクション
⑧SK731セクション

PL４　①SK732完掘状況
②SK733セクション
③SK735完掘状況
④SK737完掘状況
⑤SK737セクション
⑥SK739セクション
⑦SK747完掘状況
⑧SK747セクション

PL５　①SK748セクション
②SK748完掘状況
③SK751セクション
④SK751完掘状況
⑤1号墳完掘状況

PL６　①１号墳石室
②１号墳周溝埋土状況
③１号墳墓道
④１号墳墓道閉塞石
⑤１号墳石室確認状況
⑥１号墳石室完掘状況

PL７　①２号墳完掘状況
②２号墳石室完掘状況
③３号墳完掘状況

PL８　①３号墳墓道セクション
②４号墳石室完掘状況
③４号墳完掘状況

PL９　①５号墳完掘状況
②５号墳墓道完掘状況
③５号墳石室完掘状況

PL10　①古墳群遠景

PL11　①SI65出土遺物
②SI66出土遺物

PL12　①SI77出土遺物
②SI80出土遺物(１)

PL13　①SI80出土遺物(２)
②SI81出土遺物(１)

PL14　①SI81出土遺物(２)

PL15　①SI83出土遺物
②SI84出土遺物

PL16　①SI85出土遺物
②SI87出土遺物

PL17　①SI89出土遺物

PL18　①SI90出土遺物
②SI91出土遺物
③SI92出土遺物

PL19　①SI93出土遺物
②SI94出土遺物
③SI96出土遺物
④SI97出土遺物

PL20　①溝出土遺物
②土坑出土遺物

PL21　①古墳出土遺物
②鉄製品(１)

PL22　①鉄製品(２)
②遺構外出土遺物

Ⅰ．はじめに

１．調査の経過

清掃工場建設に先立ち、平成８年３月１日から31日にかけて実施した確認調査の結果、竪穴住居跡８軒、掘立柱建物跡が数棟、溝、土坑が確認できた。このことから、平成8年度～11年度にかけて４次にわたる本調査を実施した。調査は、調査区を４ブロックに分け、工事の進捗状況に合わせて実施した。それぞれの調査期間と調査面積は次のとおりである。

なお、市が調査した部分の南側を、下水道資源化工場建設に先立ち、平成9年10月1日～平成12年3月30日の期間で、（財）とちぎ生涯学習財団が発掘調査を実施し、７～８世紀にかけての遺構などを確認している。その調査の際にも、古墳時代前期の竪穴住居跡2軒と土坑１基が確認されている。

調査次	調査期間	調査面積 ㎡	調査内容
第Ⅰ次	平成８年12月10日～９年３月31日	10,800	奈良時代の竪穴住居跡 21 軒、掘立柱建物跡４棟、平安時代の墓壙１基ほか
第Ⅱ次	平成９年５月25日～10年３月31日	23,000	（北側調査区） 奈良時代の竪穴住居跡３軒、掘立柱建物跡１棟、鍛冶遺構１軒、平安時代の墓壙１基、時期不明の溝跡５条 （南側調査区） 飛鳥時代の掘立柱建物跡３棟・柱穴列、奈良時代の竪穴住居跡 32 軒、掘立柱建物跡９棟、井戸跡３基、平安時代の墓壙 13 基、時期不明の溝跡８条
第Ⅲ次	平成10年４月２日～11年３月31日	23,000	古墳時代前期の竪穴住居跡 15 軒、掘立柱建物跡１棟、古墳時代後期の円墳５基、奈良時代の竪穴住居跡17軒、掘立柱建物跡２棟
第Ⅳ次	平成11年６月15日～４年11月14日	2,300	弥生時代の竪穴住居跡１軒、奈良時代の竪穴住居跡４軒ほか

第１表　調査経過表

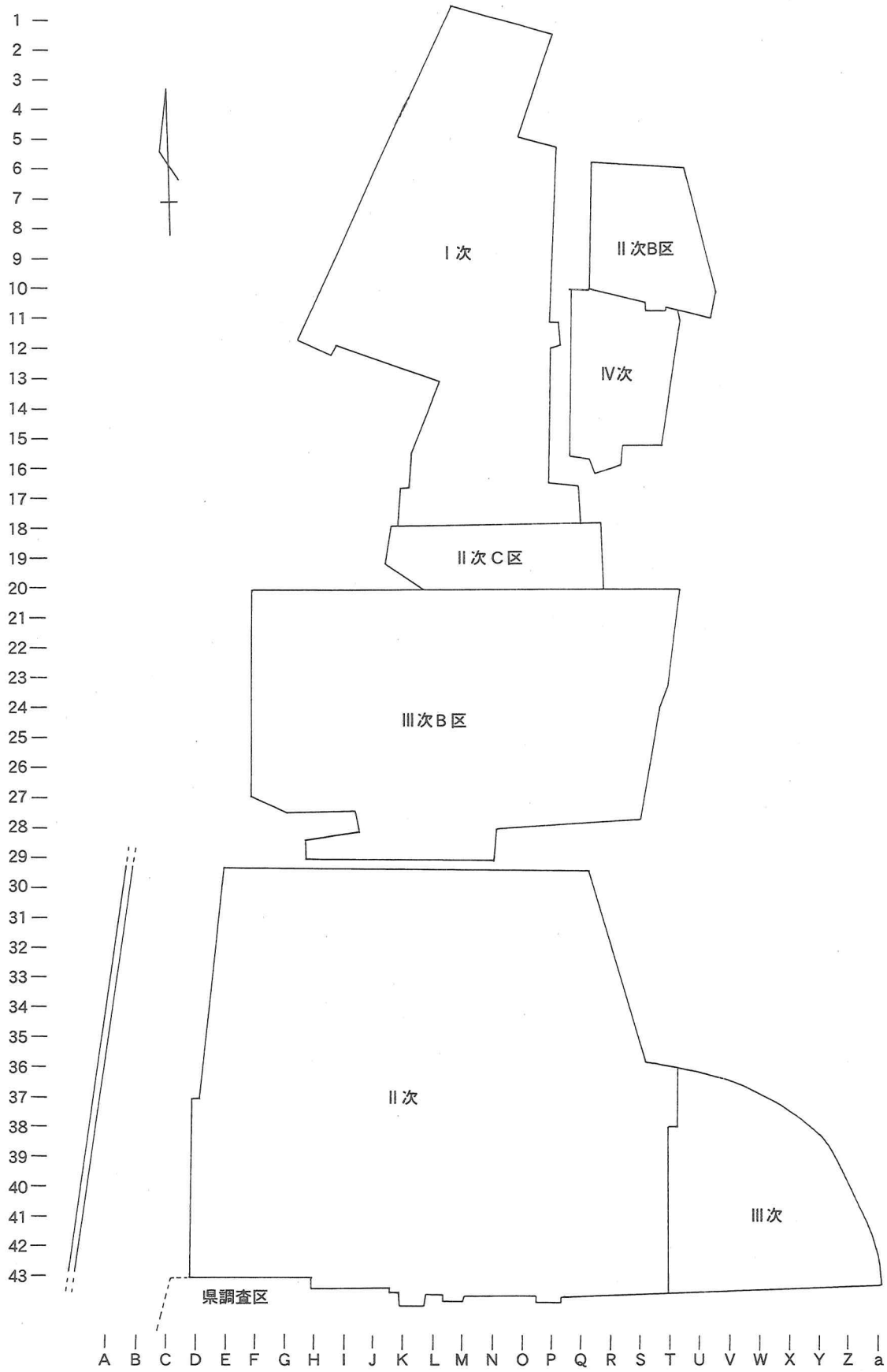
第１図は、調査区配置図である。台地の東側には谷が入り、その東斜面上に遺跡は立地する。今回の報告は、既に報告した第Ⅰ次調査・第Ⅱ次調査の古代の遺構及び第Ⅲ次調査の古墳時代前期の遺構と第Ⅳ次調査区の弥生時代の遺構以外の遺構について報告する。

測量の際の基準杭は、国家座標を基準とし南北軸を10ｍごとに北から１～43までふり、東西方向を10ｍごとに西からＡ～ａまでふった。

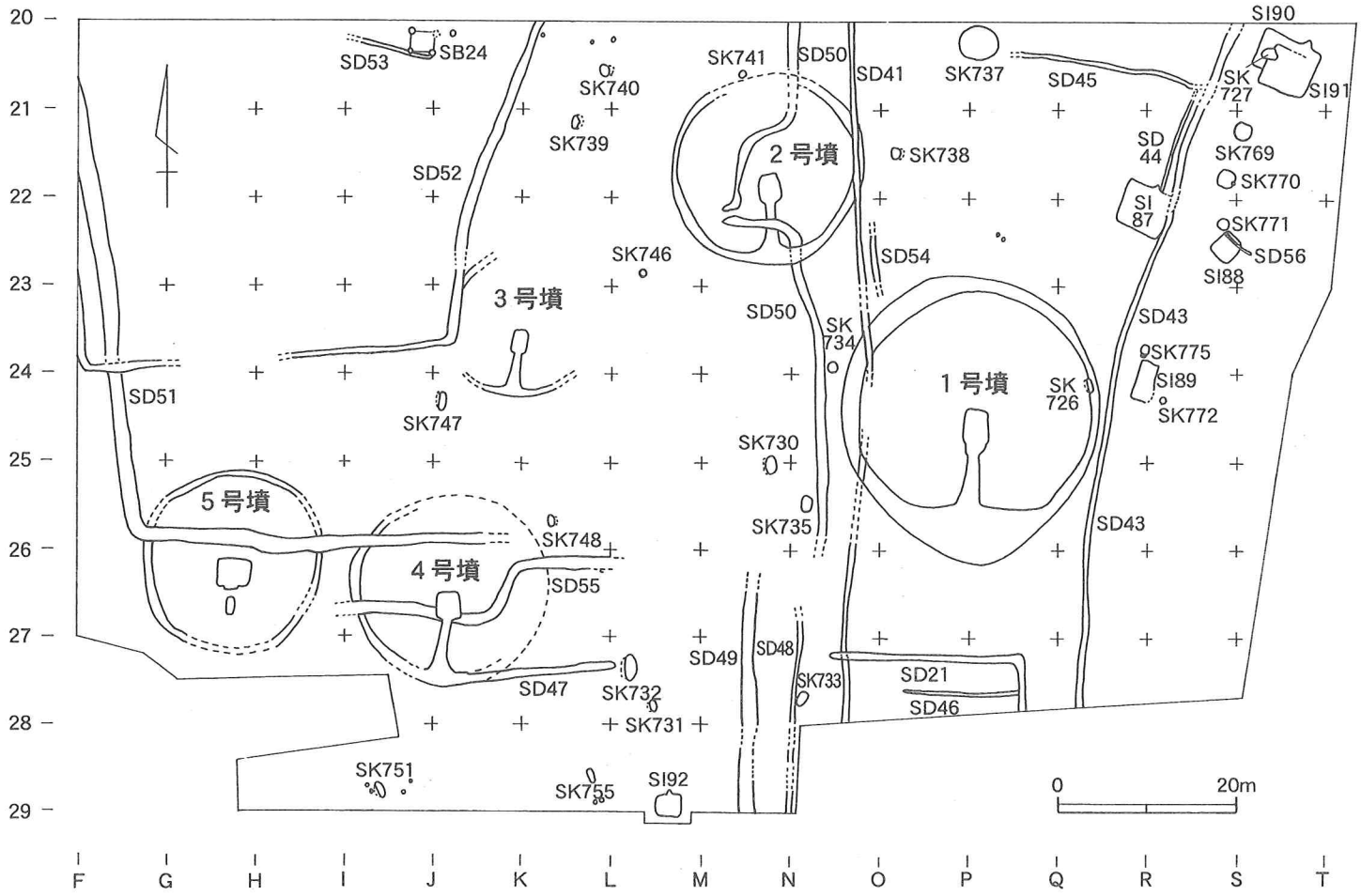
第２図は、Ⅲ次Ｂ区調査の遺構配置図である。古墳時代後期の円墳が５基確認されたほか、古代の竪穴住居跡も古墳を避けるように６軒（SI87～SI92）確認されている。

第３図は、Ⅲ次の遺構配置図である。今回はこのうちのⅢ次調査の古代遺構分（SI60～SI86)の11軒を報告する。

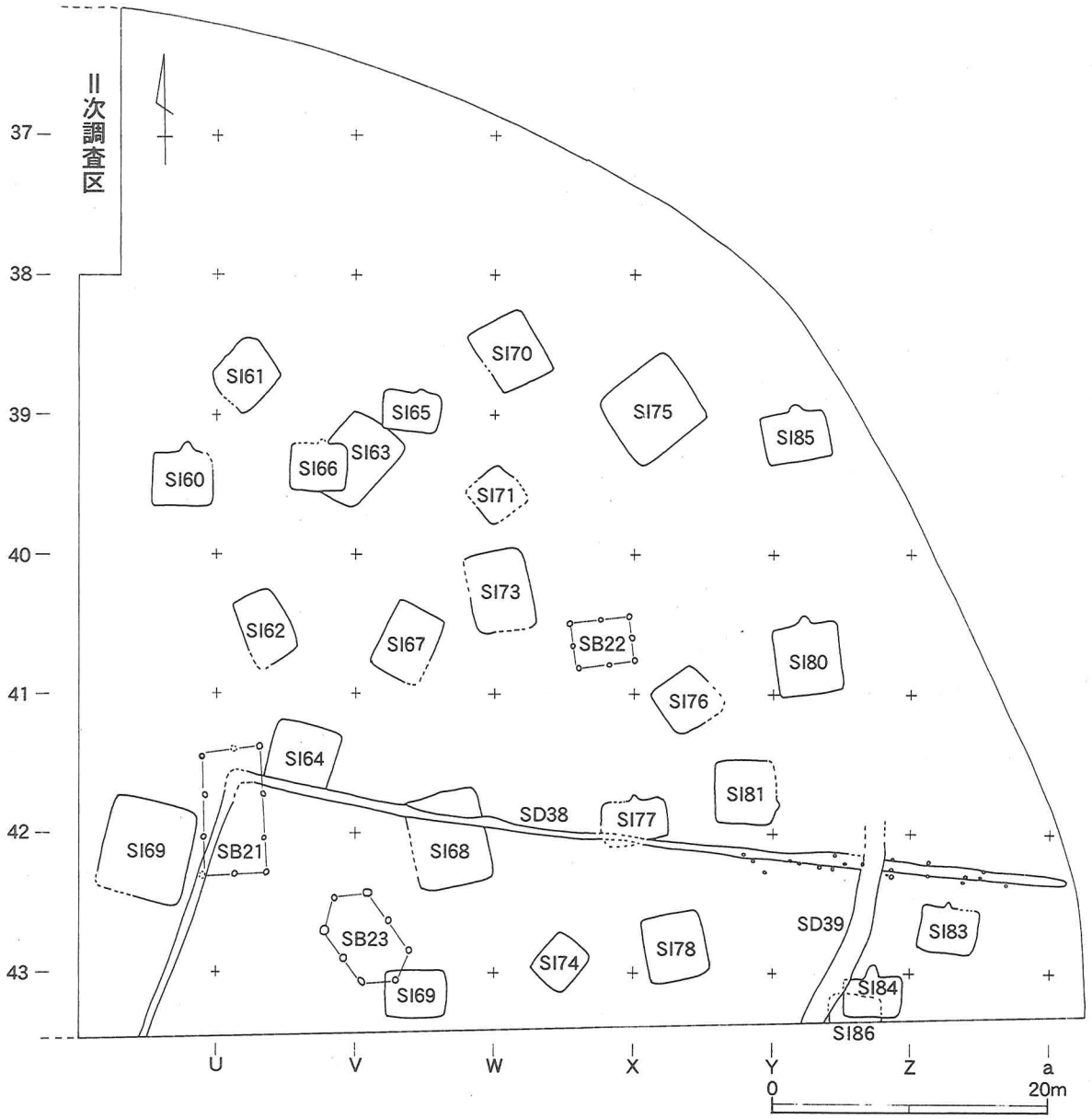
第４図は、Ⅳ次調査の遺構配置図である。弥生時代の住居跡１軒（SI95)、古代の竪穴住居跡4軒（SI93・SI94・SI96・SI97）と掘立柱建物跡１棟（SB25）が確認されており、ここではSI95以外について報告する。


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
Ⅰ次
Ⅱ次B区
Ⅳ次
Ⅱ次C区
Ⅲ次B区
Ⅱ次
Ⅲ次
県調査区
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a

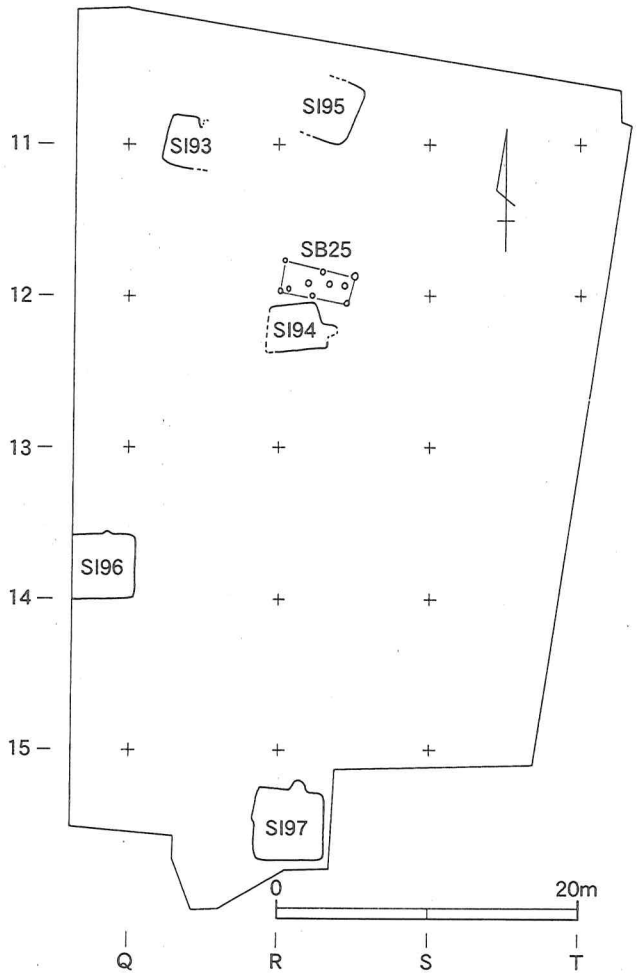
第１図　調査範囲全体図



第２図　Ⅲ次Ｂ区全体図（1/800）



第３図　Ⅲ次調査区全体図（1/500）



第４図　Ⅳ次調査区全体図（1/500）

2．遺跡の環境

（1）地理的環境

西下谷田遺跡の所在する宇都宮市は、栃木県の中央部に位置し、関東平野の最奥部にあたる。本遺跡は、宇都宮市の中心から南方へ約10kmに所在し、すぐ南が宇都宮市と下野市と上三川町の３市町の境界となっている。

本遺跡は、姿川と田川に挟まれた宇都宮・祇園原台地上に立地する。標高は約80ｍを測る。また、遺跡の東側の神主台地との間に狭い谷が入る。調査前は雑木林と一部畑地であった。

次に、本遺跡周辺の歴史的環境について概略を述べる。

（2）歴史的環境

本遺跡の周辺で旧石器時代の遺物が確認されているのは、殿山遺跡、上神主・茂原遺跡、大日塚古墳、権現山北遺跡、薄市遺跡がある。殿山遺跡では、ナイフ形石器や石核等が出土している。また、上神主・茂原遺跡では暗色帯の下位から２箇所のブロックを確認し、ナイフ形石器やスクレイパーなど総数263点が出土して、薄市遺跡では、ハードローム層よりナイフ形石器や尖頭器が出土している。権現山北遺跡では旧石器時代とされる槍先形尖頭器が採取されている。

縄文時代の遺跡は、後志部古墳の調査で早期の条痕文系の土器、前期後半、後期前葉、晩期の土器片が出土し、薄市遺跡では早期・前期・晩期の遺物が確認されている。殿山遺跡では、早期～晩期にかけての遺物が出土しているが、量はそれほど多くない。市内の他の地域に比べるとこの時期の遺跡は少ない。

弥生時代中期になると、本遺跡で１軒の竪穴住居跡が確認されているほか、権現山北遺跡・愛宕塚東遺跡・上神主・茂原遺跡・殿山遺跡などで遺物が確認されており、この周辺に小規模なムラが点在している様子が窺える。

弥生時代末期には、殿山遺跡で21軒の竪穴住居跡が確認されていることからそれまでよりも大きなムラが登場したことがわかる。

さらに古墳時代前期になると、本遺跡をはじめ、大日塚古墳周辺や権現山北遺跡などこの時期の遺物を出土する遺跡の数も増え、本地域の首長墓と考えられる大日塚古墳・愛宕塚古墳・権現山古墳の3基の前方後方墳が連続して築造される。

そして、これらの前方後方墳に後続して造られるのが上神主浅間神社古墳である。直径58ｍの大型円墳で、方形墳から円形墳への転換期の古墳として注目される。この後、この地域の首長墓は、田川の東側の笹塚古墳（全長約100ｍの前方後円墳）を中心とする東谷古墳群に移るが、この神主台地上でも、後期になると狐塚古墳（全長41ｍの前方後円墳）、後志部古墳（全長46ｍの前方後円墳）、神主41号墳（全長40ｍの前方後円墳）、夜泣き止め塚古墳（径35ｍの円墳）が継続して造られる。狐塚古墳は帆立貝形で埴輪を持つことから６世紀前葉から中葉とされ、後志部古墳は基壇があり埴輪も持つことから６世紀後葉、神主41号墳は基壇があるが埴輪を持たないことから６世紀末葉の築造と考えられている（秋元2003）。この時期と重なる時期に本遺跡でも5期の円墳が築造される。

この時期の集落跡は、本遺跡では確認されていないが、周辺の権現山北遺跡、殿山遺跡では前期に引き続き集落が営まれている。特に殿山遺跡は、大規模な集落で、中・後期合せて447軒の住居跡が確認されている。また、本遺跡の南方約500ｍに位置する向原遺跡では後期の竪穴住居跡22軒、掘立柱建物跡10棟が確認され、本遺跡の古墳群との関連が想定される。

７世紀後半になると、本遺跡内に忽然と掘立柱塀による区画施設が出現する。区画の規模は、南北108

m×東西約150mで、その内側から大型の掘立柱建物跡や大型の竪穴建物跡、八脚門跡が確認されている。また、出土遺物の中に新羅系土器が数点含まれていることも注目される。これらの点から、「評家」等の官衙的な施設であると考えられている（板橋2006）。

この区画施設は８世紀初頭にはなくなり、本遺跡は一般的な集落として８世紀後半まで継続する。

この本遺跡の区画施設廃絶に代わり、東方約800mに位置する上神主・茂原官衙遺跡に官衙機能が移ったと想定されている。この遺跡は、人名瓦を多量に出土したことから従来上神主廃寺と言われてきたが、近年の調査により、「コ」の字状の掘立柱建物跡の配列をもつ政庁跡と大型総柱式掘立柱建物跡の倉庫群からなる河内郡家の可能性が指摘されている。また、ここから3.5kmほど南に所在する多功遺跡も、地業建物・掘立柱建物23棟が確認され、以前から河内郡家の可能性が指摘されている。このように、一郡内に複数の官衙遺跡がある例として両者の関係が注目されている。また、上神主・茂原官衙遺跡内では古代の幹道である東山道が確認されている。東山道はこの先北東に向かい、笹塚古墳の南側を通り、杉村遺跡・西刑部西原遺跡と続いていることが調査により判明している。

（参考文献）

秋元陽光　2003「上三川町における古墳の素描―古墳から見た古墳時代後期集団の抽出―」『栃木の考古学―塙静夫先生古稀記念論文集－』

秋元陽光ほか　1999『上神主・茂原遺跡Ⅰ』上三川町教育委員会

石部正志・秋元陽光ほか　1994『上神主浅間神社古墳・多功大塚山古墳』上三川町教育委員会

石部正志・秋元陽光ほか　1998『後志部古墳』上三川町教育委員会

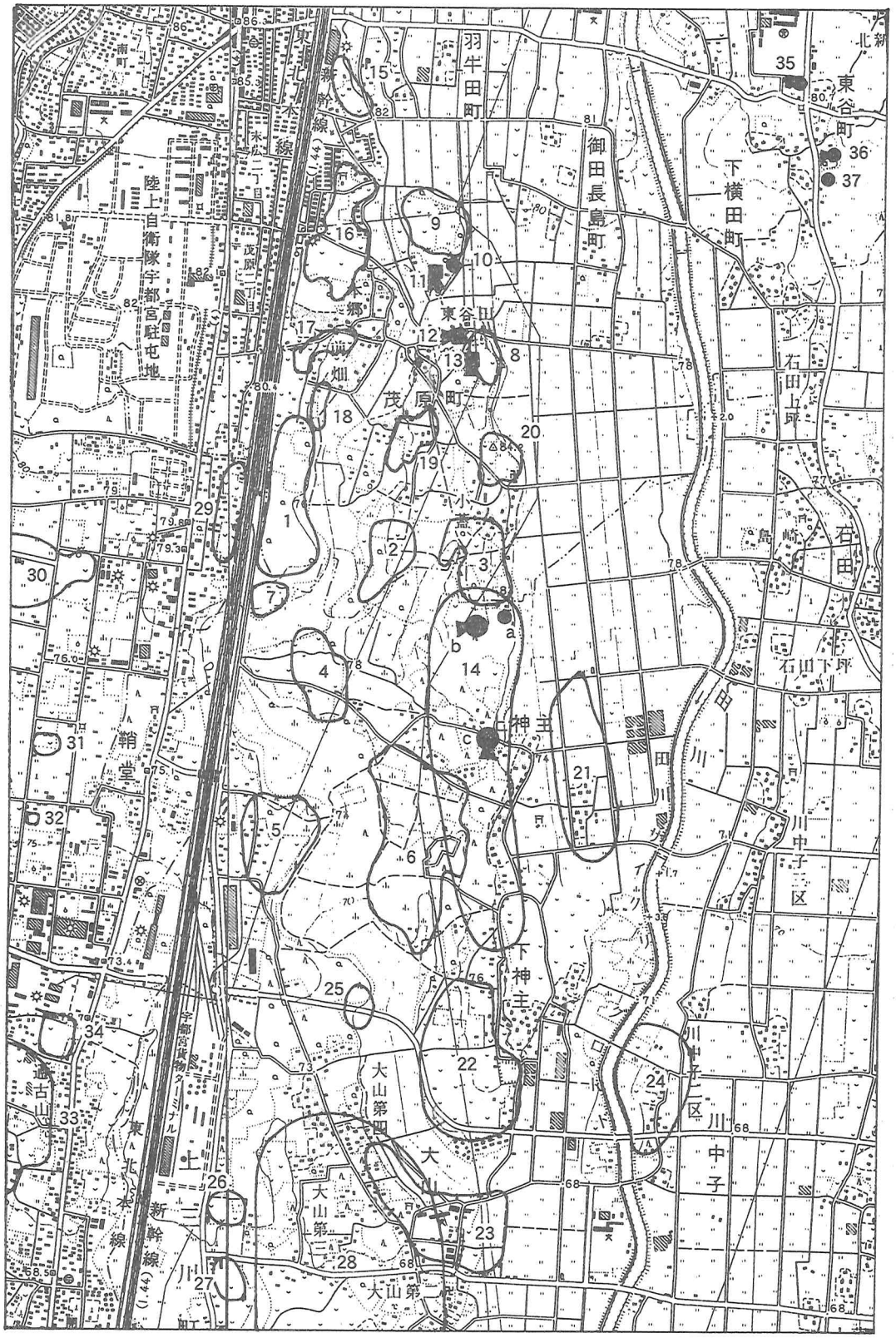
板橋正幸　2006「第Ⅳ章　まとめ」『西下谷田遺跡Ⅱ』栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団

大川清・吉岡秀範ほか　1995『栃木県上三川町殿山遺跡』上三川町教育委員会

久保哲三ほか　1979『権現山北遺跡』宇都宮市教育委員会

久保哲三ほか　1990『下野茂原古墳群』宇都宮市教育委員会

安永真一　2001『上神主・茂原　茂原向原　北原東』栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団


羽牛田町
御田長島町
下横田町
東谷町
陸上自衛隊宇都宮駐屯地
茂原町
東谷山
石田上坪
石田
石山下坪
神主
下神主
鞘堂
大山第四
大山第三
大山第一
川中子
東北本線
東北新幹線
宇都宮貨物ターミナル

第５図　遺跡分布図

No.	遺　跡　名	所　在　地	備　考
1	西下谷田遺跡	宇都宮市茂原町	古墳時代後期の円墳５基、飛鳥時代の官衙関連遺跡・平安時代の墓域。
2	茂原向原遺跡	宇都宮市茂原町	古墳～平安時代の集落跡。
3	上神主・茂原官衙遺跡	宇都宮市茂原町・上三川町上神主	奈良時代の官衙関連遺跡。
4	向原遺跡	上三川町鞘堂ほか	古墳後期～平安の集落跡。
5	上ノ原遺跡	上三川町多功	古墳前期・奈良時代の集落跡。
6	殿山遺跡	上三川町上神主	旧石器・縄文・弥生～平安時代の集落跡。竪穴住居跡の総数は600軒を越えると報告されている。
7	北原東遺跡	宇都宮市茂原町	縄文時代の土坑23基、古墳時代の方墳１基、木棺墓１基、竪穴住居跡３軒。
8	愛宕塚東遺跡	宇都宮市茂原町	弥生～古墳の集落跡。
9	権現山北遺跡	宇都宮市茂原町	旧石器時代・弥生～平安の集落跡。
10	五領山古墳	宇都宮市茂原町	長軸22ｍ、短軸18ｍの円墳、石室あり。
11	権現山古墳	宇都宮市茂原町	全長約63mの前方後方墳。
12	大日塚古墳	宇都宮市茂原町	全長36.5mの前方後方墳。
13	愛宕塚古墳	宇都宮市茂原町	全長約50mの前方後方墳。
14	神主古墳群	上三川町上神主ほか	上神主浅間神社古墳・狐塚古墳・後志部古墳を含む40基を超える古墳群。現状では円墳・方墳等27基の古墳が現存していると報告されている。
a	上神主浅間神社古墳	上三川町上神主	直径58mの円墳、底部穿孔土器あり。
b	上神主狐塚古墳	上三川町上神主	全長41mの前方後円墳。
c	上神主後志部古墳	上三川町上神主	全長46mの前方後円墳、円筒埴輪、形象埴輪（人物、鞆形、靫形）。
15	宇都宮機器南遺跡	宇都宮市下横田町	古墳時代の集落跡。
16	茂原北原遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
17	西の前遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
18	前畑遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
19	小蓋遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
20	江面遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
21	後志部東遺跡	上三川町上神主	古墳～平安時代の集落跡。
22	薄市遺跡	上三川町下神主	旧石器・縄文～平安時代の集落跡。
23	新出遺跡	上三川町大山	古墳～平安時代の集落跡。
24	粕内遺跡	上三川町川中子	縄文・古墳時代の集落跡。
25	大山遺跡	上三川町大山	弥生時代の集落跡。
26	二の谷沼北遺跡	上三川町多功	奈良時代の集落跡。
27	天神町北遺跡	上三川町多功	奈良時代の集落跡。
28	大山古墳群	上三川町大山	古墳時代の古墳。
a	長塚古墳	上三川町大山	中期の前方後円墳（全長約50ｍ）。
b	瓢箪塚古墳	上三川町大山	後期の前方後円墳（全長43ｍ）。
29	北原遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
30	一本松遺跡	下野市下古山	奈良・平安時代の集落跡。竪穴住居跡19軒、井戸１基。
31	若林北遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
32	若林南遺跡	下野市下古山	縄文時代の散布地。
33	谷端遺跡	下野市下古山	縄文・古墳～平安時代の散布地。
34	谷端北遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
35	双子塚古墳	宇都宮市東谷町	全長約 60mの前方後円墳。
36	笹塚古墳	宇都宮市東谷町	全長約 100mの前方後円墳。
37	鶴舞塚古墳	宇都宮市東谷町	直径約 50mの円墳。

第２表　周辺遺跡一覧表

Ⅱ．　調　査　概　要

飛鳥～平安時代にかけての遺構は、Ⅲ次調査で竪穴住居跡16軒、掘立柱建物跡３棟、Ⅳ次調査で竪穴住居跡４軒、掘立柱建物跡１棟が確認された。以下、それぞれの遺構について記す。

１．竪穴住居跡

SI60（第６図）

位置　Ⅲ次調査区U-39南。**平面形**　南北4.0m×東西4.4mの方形。**方位**　N-１°-W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ50cm。**壁溝**　無。　**柱穴**　４本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は無。

SI65（第７図）

位置　Ⅲ次調査区Ｖ－39東。**平面形**　南北３m×東西4.2mの長方形。**方位**　N-４°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ50cm。**壁溝**　南側の一部。　**柱穴**　１本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏４、甕２。**備考**　四隅に土坑状の掘り込みあり。

SI66（第８図）

位置　Ⅲ次調査区Ｖ－39南。**平面形**　南北3.3m×東西4.1mの長方形。**方位**　N-２°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ40cm。**壁溝**　無。　**柱穴**　２本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏５、甕３。**備考**　北西から南東にかけて大きく撹乱を受けている。SI63を切る。

SI77（第９図）

位置　Ⅲ次調査区Ｘ－42。**平面形**　南北2.9m×東西4.9mの長方形。**方位**　N-４°-W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ３0cm。**壁溝**　無。　**柱穴**　無。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏３、甕１、須恵器高台付坏２、紡錘車１、刀子片１、鉄鏃片１。**備考**　南西隅に撹乱あり。SD38に切られる。

SI80（第10図）

位置　Ⅲ次調査区Y-41東。**平面形**　南北5.2m×東西5.0mの方形。**方位**　N-６°-W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ40cm。**壁溝**　全周。　**柱穴**　５本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は須恵器坏１、土師器坏７、椀１、甕４。

SI81（第11図）

位置　Ⅲ次調査区Y-42北。**平面形**　（古）南北3.7m×東西4.0mの方形、（新）南北4.5m×東西4.4mの方形。**方位**　N-２°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さは古い時期のものが40cmで、新しい時期のものは20㎝。**壁溝**　無。**柱穴**　１２本。主柱穴は４本で建て替えにより、掘り直されている。　**カマド**　（古）北カマド→（新）東カマド。**遺物**　実測可能な遺物は須恵器坏２、土師器坏10、甕４、鉄鏃片２。**備考**　建て替えを行っている。

SI83（第12図）

位置　Ⅲ次調査区Z-43東。**平面形**　南北3.3m×東西4.2mの長方形。**方位**　N-９°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ40cm。**壁溝**　無。**柱穴**　１本。**カマド**　北カマド。　**遺物**　実測可能な遺物は土師器甕２、坏２、須恵器蓋１。**備考**　北東側に撹乱あり。

SI84（第13図）

位置　Ⅲ次調査区Z-43西。**平面形**　南北3.2m×東西4.2mの長方形。**方位**　N—１°—E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ80cm。**壁溝**　無。**柱穴**　2本。**カマド**　北カマド、煙道が長い。　**遺物**　実

測可能な遺物は土師器坏７、紡錘車１。　**備考**　SD19、SI86と切りあう。SI86を切る。

SI85（第14図）

位置　Ⅲ次調査区Y-39。**平面形**　南北3.6m×東西5.0mの長方形。**方位**　N-12°-W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ40cm。**壁溝**　無。**柱穴**　無。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏２、甕２。　**備考**　カマド付近に撹乱あり。

SI86（第15図）

位置　Ⅲ次調査区Y-43南西。**平面形**　南北—m×東西4.0mの方形？　**方位**　不明。　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ60cm。**壁溝**　無。**柱穴**　不明。**カマド**　東カマド。**遺物**　実測可能な遺物は無。　**備考**　SI84に切られる。南側は県調査分SI510にあたる。

SI87（第16図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区R-22。**平面形**　南北5.1m×東西5.4mの方形。**方位**　N-20°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ60cm。**壁溝**　東側以外。**柱穴**　４本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏５、甕５。

SI88（第18図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区S-23北。**平面形**　南北2.8m×東西3.0mの方形。**方位**　N—46°—W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ70cm。**壁溝**　無。**柱穴**　２本。**カマド**　無。**遺物**　実測可能な遺物は無。**備考**　SD56に切られる。

SI89（第19図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区R-24。**平面形**　南北2.3m×東西4.7mの長方形。**方位**　N-108°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ20cm。**壁溝**　無。**柱穴**　無。**カマド**　南カマド？　**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏８、甕２、甑１。

SI90（第20図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区S-20南西。**平面形**　南北3.2m×東西5.3mの長方形。**方位**　N-22°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ50cm。**壁溝**　無。**柱穴**　１本？　**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏６、鉢１、須恵器甕１。**備考**　SI91、SK727に切られる。

SI91（第20図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区S-20南西。**平面形**　南北3.6m×東西4.2mの長方形。**方位**　N-24°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ50cm。**壁溝**　西側・北側と南側の一部。**柱穴**　４本。**カマド**　南カマド。**遺物**　実測可能な遺物は、土師器甕２。**備考**　SI90と切り合い関係。

SI92（第21図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区M-29西。**平面形**　南北2.4m×東西2.7mの方形。**方位**　N—３°—E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ30cm。**壁溝**　東側に一部あり。　**柱穴**　カマドの両脇に２本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は須恵器坏２、蓋１。

SI93（第22図）

位置　Ⅳ次調査区Q-11東。**平面形**　南北3.4m×東西—mの長方形。**方位**　N-10°-E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ70cm。**壁溝**　無　**柱穴**　４本？　**カマド**　北カマド？　**遺物**　実測可能な遺物は須恵器坏２、土師器坏１、甕１。　**備考**　東側は撹乱により削平。

SI94（第23図）

位置　Ⅳ次調査区R-12南。**平面形**　南北3.0m×東西3.3mの方形？。**方位**　N-３°-W　**床面**　ローム地

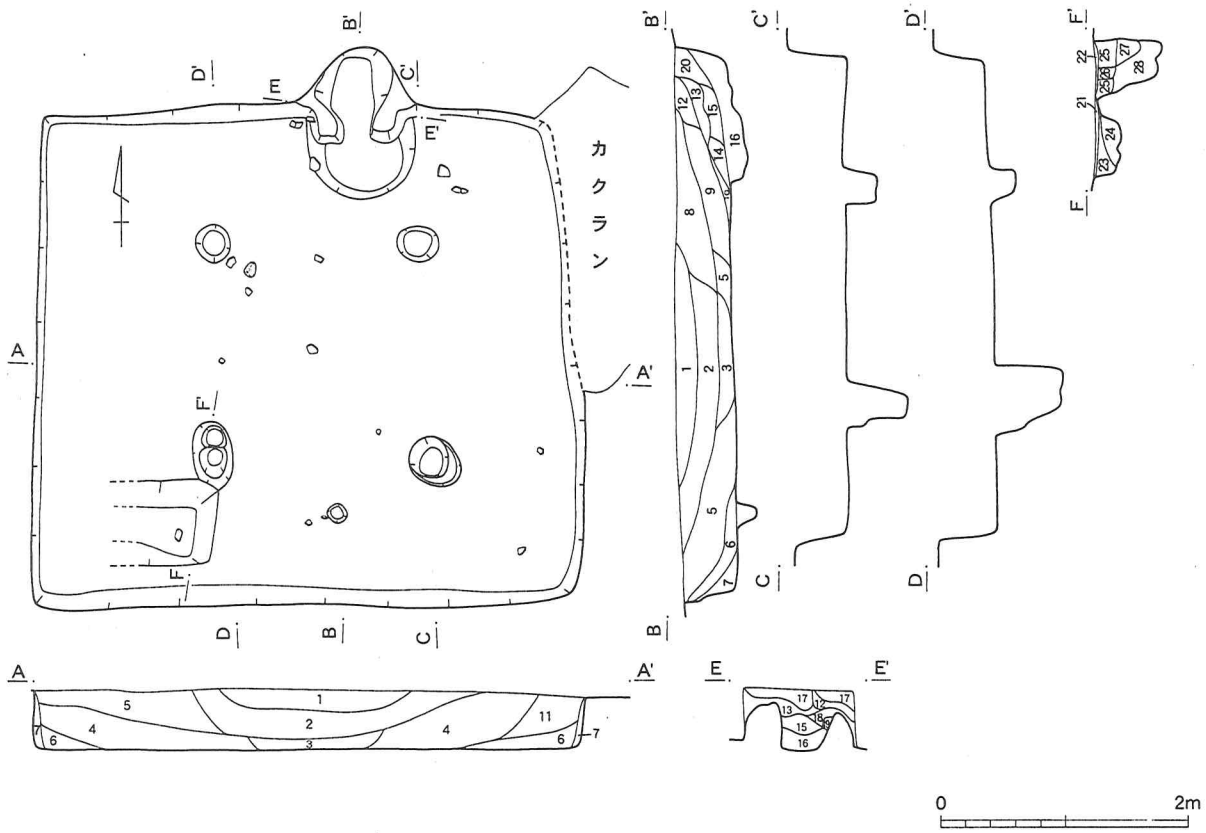
山。**壁**　確認面から深さ30cm。**壁溝**　無。**柱穴**　４本。**カマド**　不明。**遺物**　実測可能な遺物は土師器甕１、須恵器坏１。　**備考**　攪乱あり。

SI96（第24図）

位置　Ⅳ次調査区Q-14。**平面形**　南北4.1m×東西4.1mの方形。**方位**　N-1°-W　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ30cm。**壁溝**　無。**柱穴**　３本？　**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は須恵器坏２。

SI97（第25図）

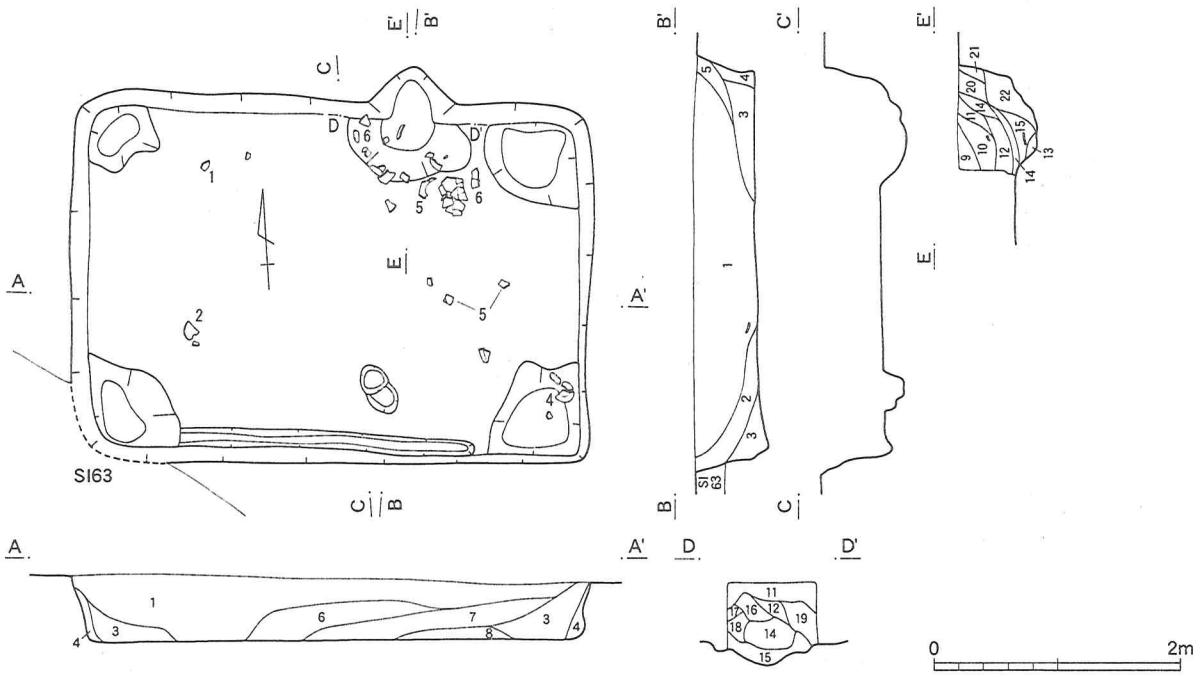
位置　Ⅳ次調査区R-15南。**平面形**　南北4.8m×東西4.6mの方形。**方位**　N—4°—E　**床面**　ローム地山。**壁**　確認面から深さ80cm。**壁溝**　南側の一部。　**柱穴**　６本。**カマド**　北カマド。**遺物**　実測可能な遺物は土師器坏１、皿１、須恵器高台付坏１、蓋１、刀子片、鉄鏃１、鉄滓１。　**備考**　ゴボウ作付けのための攪乱あり。



1　黒褐色土　（RR多、粘土粒）
2　暗黄褐色土　（RR極多、RBやや多、粘土粒、IP）
3　黒褐色土　（RR極多、RB、C）
4　茶褐色土　（RR極多、RB、大RB、粘土粒、IP、C）
5　暗茶褐色土　（RR極多、小RB少、粘土粒、IP）
6　暗褐色土　（RR少）
7　淡黄褐色土　（RR極多、小RB）
8　暗灰褐色土　（RRやや多、小RB少、粘土粒多、SY、C）
9　灰茶褐色土　（RR多、大RB、粘土粒やや多、SY、C）
10　赤黄褐色土　（RR極多、RB、粘土粒、SYR、被熱している）
11　黄褐色土　（RR極多、RB、粘土粒、SYR）
12　明黄褐色土　（RR極多、RB、SYR、粘土粒）
13　明黄色土　（ローム塊）
14　灰黄褐色土　（RR極多、SYR多、粘土粒）
15　灰赤褐色土　（RR多、SYR、粘土粒）
16　暗灰色土　（RR多、SYR多、SYB、粘土粒多、C）
17　暗黄褐色土　（RR極多、少RB微、SYR少、粘土粒微）
18　明黄褐色土　（RR極多、SY少、C微）
19　ロームブロック
20　赤褐色土　（RRやや多、RB、SYR極多、硬く締まる、被熱）
21　黒褐色土　（RRやや多、小RB少）
22　暗褐色土　（RR多、小RB少）
23　黄褐色土　（ローム主体）
24　黄褐色土　（RR多、小RB、ローム塊）
25　黄褐色土　（RRやや多、大RB）
26　黒褐色土　（RRやや多、RB）
27　暗黄褐色土　（RR極多、小RB多）
28　黄褐色土　（RR極多、RB）

L＝77.700m

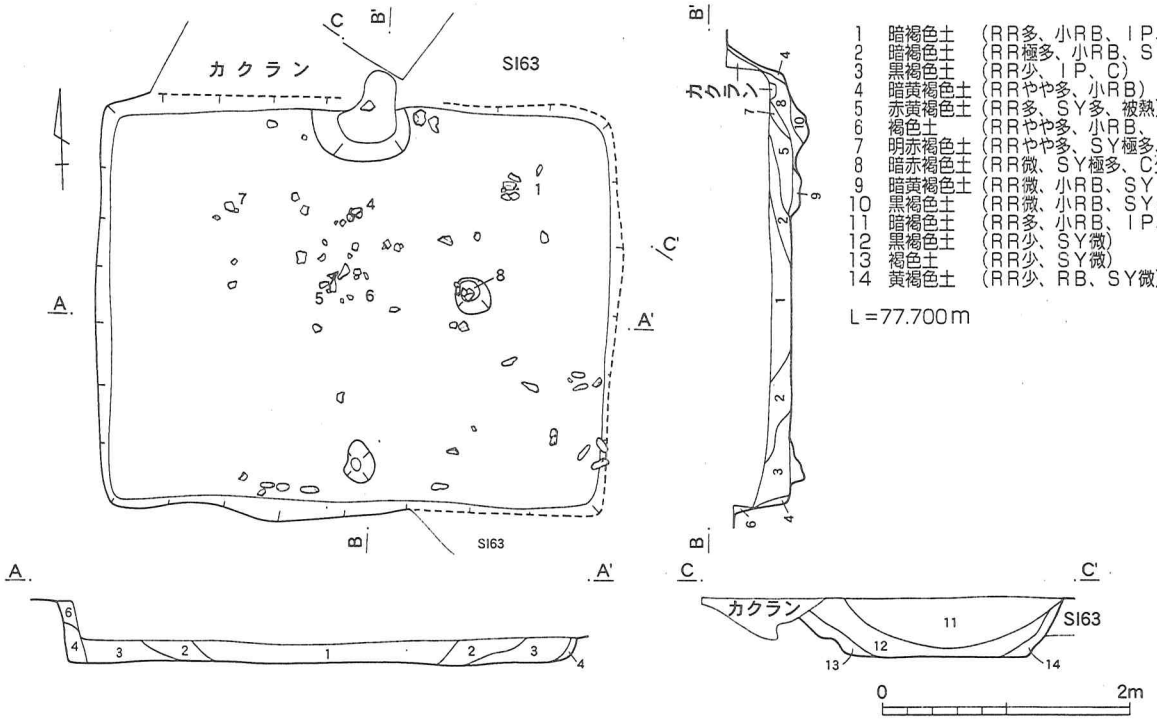
第６図　SI60平・断面図



1　暗黄褐色土　（ＲＲ極多、大ＲＢ多、ＩＰ、Ｃ）
2　黒褐色土　（ＲＲ微）
3　暗褐色土　（ＲＲ、小ＲＢ微）
4　暗黄褐色土　（ＲＲやや多、締まりあるが柔らかい）
5　暗褐色土　（ＲＲ微）
6　黄褐色土　（ＲＲ極多、ＲＢやや多、粘土粒、ＩＰ）
7　暗黄褐色土　（ＲＲやや多、ＲＢ微、粘土粒、ＩＰ）
8　暗灰色土　（ＲＲ微、粘土粒やや少、粘土Ｂ、粘土塊）
9　茶褐色土　（ＲＲ極多、粘土粒微、ＩＰ）
10　暗褐色土　（ＲＲ多、粘土粒やや多、ＳＹ、Ｃ）
11　暗灰褐色土　（ＲＲ少、粘土粒やや多）
12　明灰褐色土　（ＲＲ極多、粘土粒多、粘土塊、ＳＹ、Ｃ
粘土は灰色系と粘土色の2種あり。）
13　暗黄色土　（ＲＲ多、ローム塊、ＳＹやや多）
14　明灰色土　（ＲＲ少、ＳＹ多、粘土粒極多）
15　灰赤褐色土　（ＲＲ少、ＲＢ、ＳＹ少、粘土粒多）
16　暗灰色土　（粘土Ｂ主体、ＲＲ微、ＳＹ微、）
17　暗黄褐色土　（ＲＲ少、小ＲＢ、粘土粒）
18　ローム塊
19　灰黄褐色土　（ＲＲ多、ＲＢ、粘土粒やや多、粘土Ｂ、ＳＹ少）
20　暗褐色土　（ＲＲ少、小ＲＢ微、ローム塊、ＳＹ少、粘土粒少）
21　黄褐色土　（ＲＲ微）
22　暗灰色土　（ＲＲ微、ＳＹ少、粘土粒多）

Ｌ＝77.700m

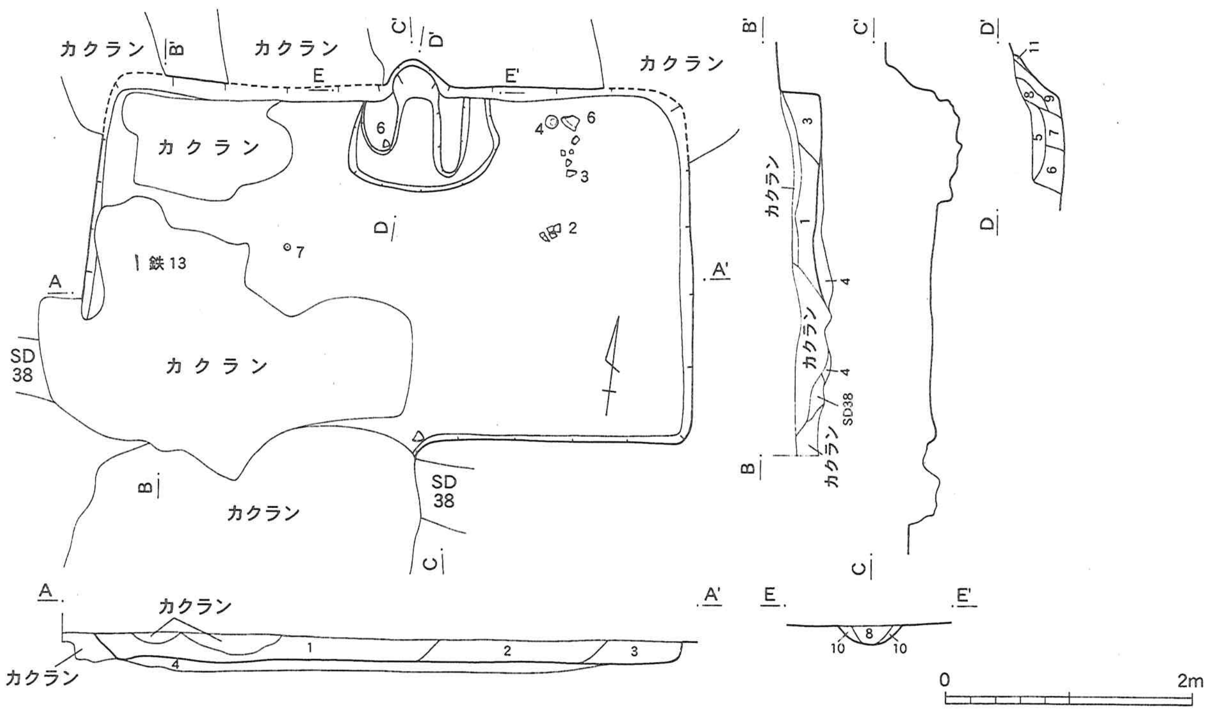
第７図　SI65平・断面図



1　暗褐色土　（ＲＲ多、小ＲＢ、ＩＰ、Ｃ）
2　暗褐色土　（ＲＲ極多、小ＲＢ、ＳＹ、Ｃ）
3　黒褐色土　（ＲＲ少、ＩＰ、Ｃ）
4　暗黄褐色土（ＲＲやや多、小ＲＢ）
5　赤黄褐色土（ＲＲ多、ＳＹ多、被熱）
6　褐色土　（ＲＲやや多、小ＲＢ、ＩＰ）
7　明赤褐色土（ＲＲやや多、ＳＹ極多、大ＳＹＢ、Ｃ微）
8　暗赤褐色土（ＲＲ微、ＳＹ極多、Ｃ少）
9　暗黄褐色土（ＲＲ微、小ＲＢ、ＳＹ・Ｃ微）
10　黒褐色土　（ＲＲ微、小ＲＢ、ＳＹ少）
11　暗褐色土　（ＲＲ多、小ＲＢ、ＩＰ、Ｃ）
12　黒褐色土　（ＲＲ少、ＳＹ微）
13　褐色土　（ＲＲ少、ＳＹ微）
14　黄褐色土　（ＲＲ少、ＲＢ、ＳＹ微）

Ｌ＝77.700m

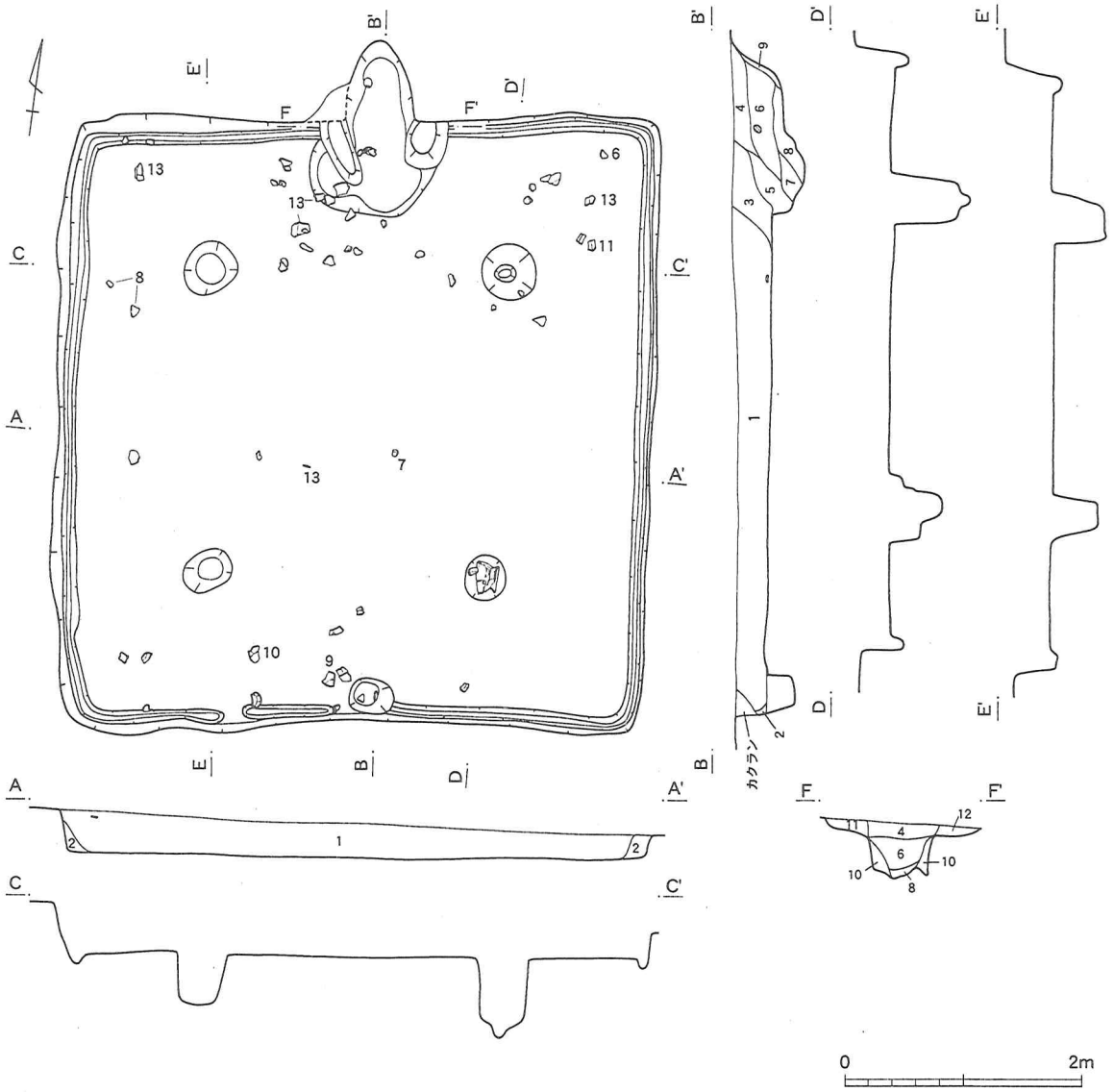
第８図　SI66平・断面図



1　褐色土　　(RR多、小RB、SYやや多、Cやや多)
2　褐色土　　(RR多、小RB少、SY、C)
3　暗褐色土　(RR極多、小RB少、SY微、Cやや多)
4　黄褐色土　(RRやや多、大RBやや多、はり床)
5　灰黄褐色土 (RRやや多、RB、SYやや多)
6　暗褐色土　(RR少、SYやや多、Cやや多)
7　灰赤色土　(RR微、SY多、SYB、C少、粘土粒)
8　赤褐色土　(RR微、SY極多、粘土)
9　灰褐色土　(RR少、SY微、粘土粒)
10　灰黄色土　(RR多、小RB微、SY少、C)
11　黄褐色土　(RR微、RB, SY微)

L=77.300m

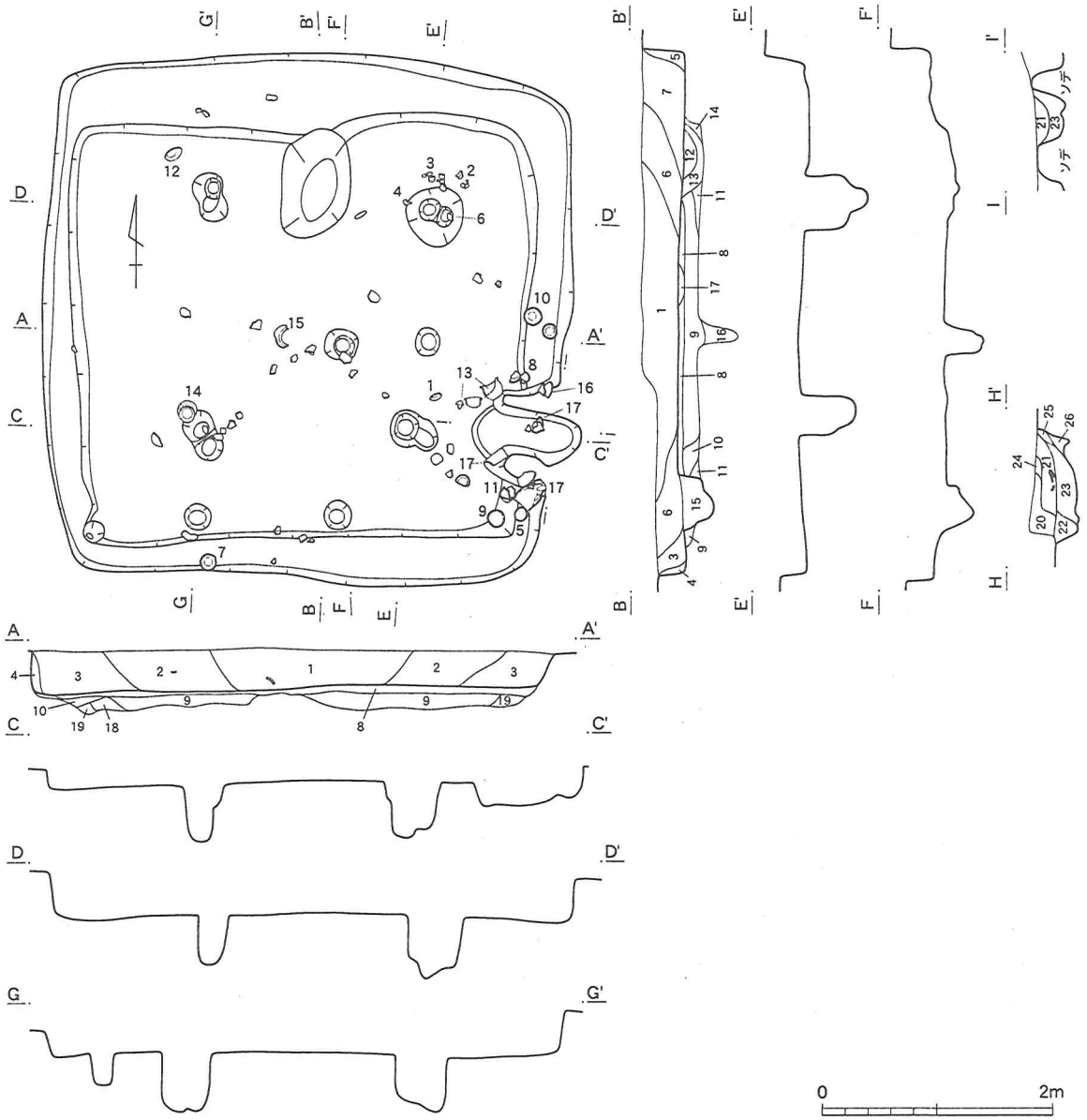
第9図　SI77平・断面図



1　暗褐色土　（ＲＲ極多、小ＲＢ・ＩＰ微）
2　褐色土　（ＲＲ多、小ＲＢ少）
3　褐色土　（ＲＲ多、小ＲＢ・ＳＹ・Ｃ・粘土粒微）
4　明褐色土　（ＲＲ極多、ＳＹやや多、粘土粒・Ｃ微）
5　褐色土　（ＲＲ少、ＳＹ・粘土粒微）
6　灰赤色土　（ＲＲ・小ＲＢ微、ＳＹ極多、小ＳＹＢ微）
7　暗褐色土　（ＲＲ微、ＲＢ・ＳＹ少、Ｃ微）
8　暗褐色土　（ＲＲ・小ＲＢ少、ＳＹ・Ｃ微）
9　赤褐色土　（ＲＲ微、ＳＹ少）
10　暗黄褐色土（ＲＲ少、ＳＹやや多、Ｃ微、粘土少）
11　暗褐色土　（ＲＲ少、ＳＹやや多、Ｃ微、粘土少）
12　明黄色土　（ＲＲ少、ＲＲ・ＳＹ・ＣＲ・粘土粒微）

Ｌ＝77.300m

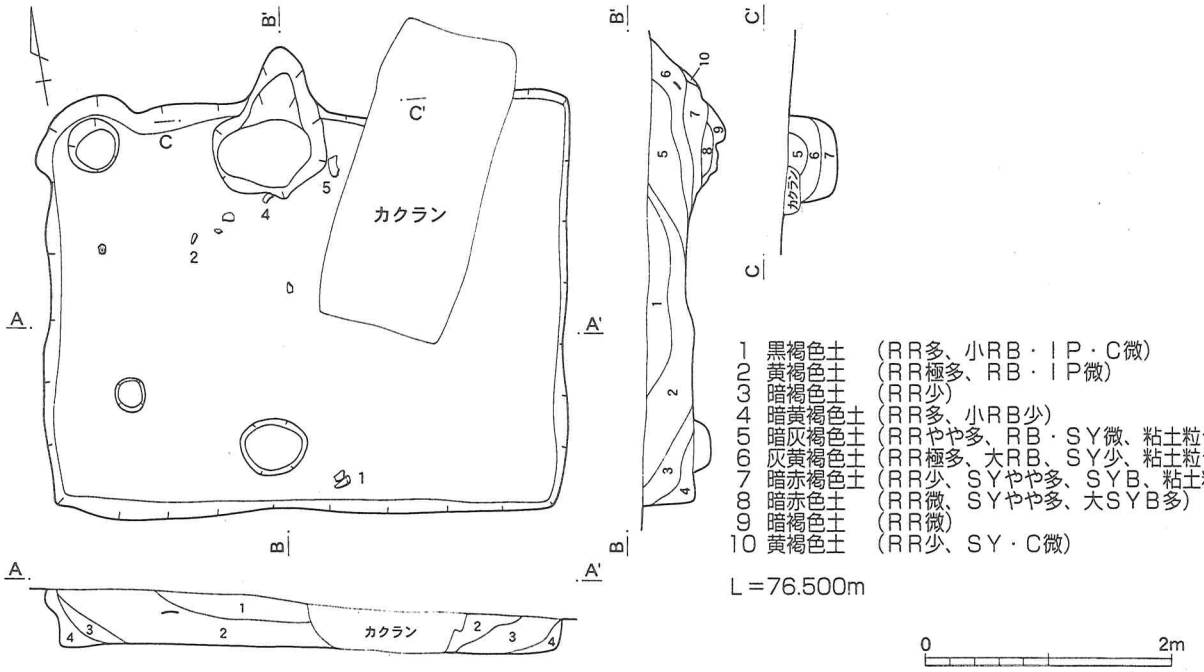
第10図　SI80平・断面図



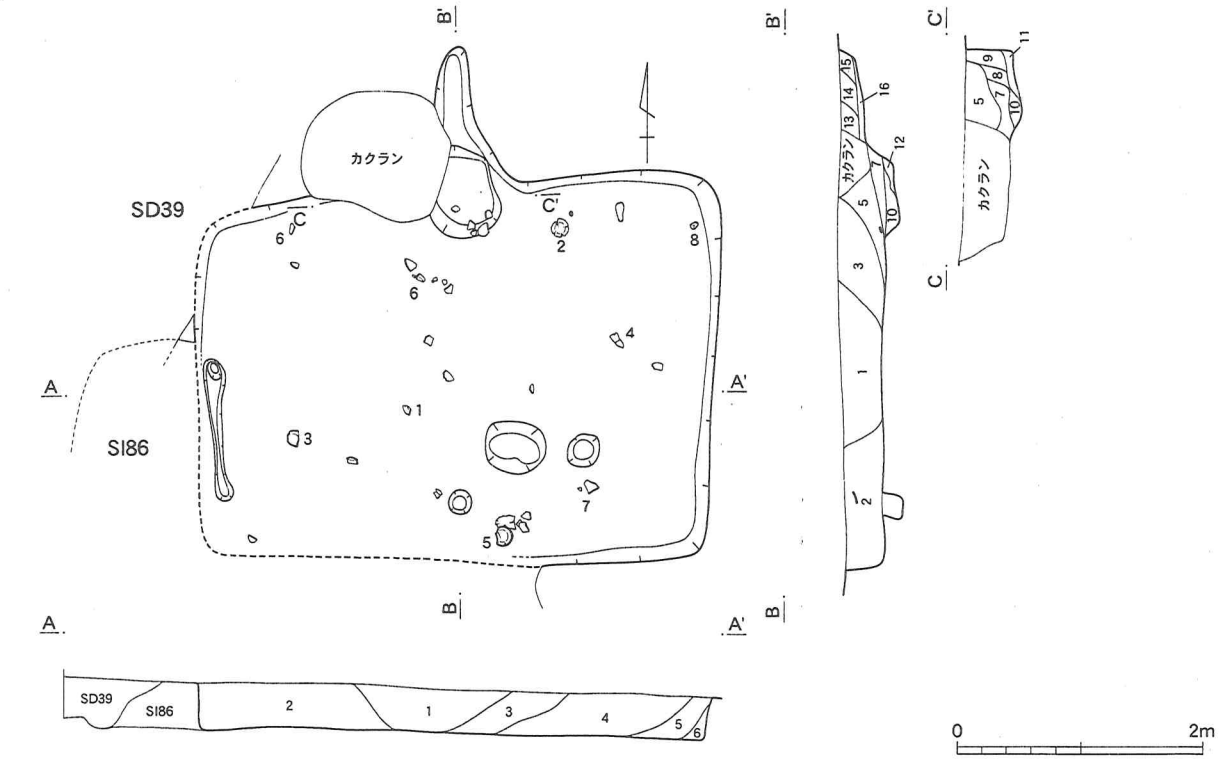
1　褐色土　（ＲＲ多、大ＲＢ・ＳＹ少）
2　褐色土　（ＲＲ多、ＳＹやや多、Ｃ）
3　暗褐色土　（ＲＲやや多、ＩＰ・Ｃ微）
4　黄褐色土　（ＲＲ微、ＲＢ）
5　黄褐色土　（ＲＲ微、ＲＢ、ＳＹ微、粘土粒少）
6　黒褐色土　（ＲＲ多、ＩＰ・Ｃ微、粘土粒少）
7　灰黄褐色土（ＲＲやや多、ＲＢ微、ＳＹ・Ｃ少、粘土粒やや多）
8　暗褐色土　（ＲＲ少、ＲＢやや多、ＳＹ少、Ｃ・粘土粒微）
9　暗黄褐色土（ＲＲ多、ＲＢ極多、大ＲＢ少）
10　黄色土　（ＲＲ少、ＲＢ極多）
11　黒褐色土　（ＲＲ微）
12　暗灰赤色土（ＲＲ微、ＳＹ少、粘土粒極多、粘土Ｂ微）
13　灰褐色土　（ＲＲ少、ＲＢ微、大ＲＢ、ＳＹ少、粘土粒極多）
14　黄褐色土　（ＲＲ少、小ＲＢ微）
15　暗褐色土　（ＲＲ多、Ｃ・粘土粒微）
16　暗褐色土　（ＲＲ少、小ＲＢやや多、柔らかい）
17　灰橙色土　（ＳＹ極多、粘土粒微）
18　黒黄褐色土（ＲＲ・ＲＢ少、硬くしまる）
19　黄褐色土　（ＲＲ多、ＲＢ少し柔らかいが締まりあり）
20　暗褐色土　（ＲＲ・ＳＹ少、ＣＲ微）
21　赤褐色土　（ＲＲ少、ＳＹ極多）
22　暗黄褐色土（ＲＲ・ＲＢ少、ＳＹ微）
23　暗褐色土　（ＲＲ・小ＲＢ・ＳＹ微）
24　暗赤色土　（ＲＲ少、ＳＹ・Ｃ微）
25　明褐色土　（ＲＲ・ＳＹ微）
26　暗褐色土　（ＲＲ微、小ＲＢ、ＳＹ・Ｃ微）

Ｌ＝77.300m

第11図　SI81平・断面図



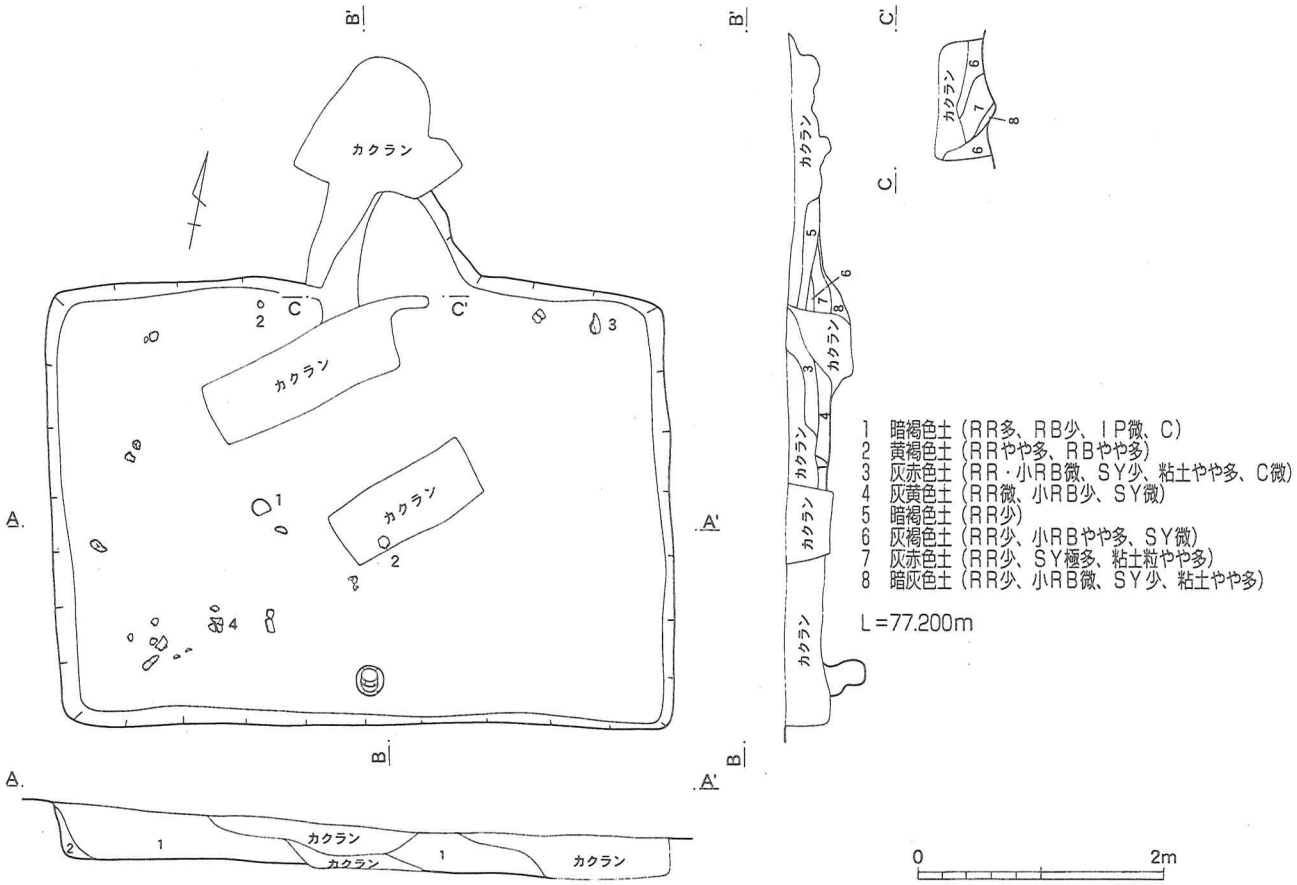
第12図　SI83平・断面図



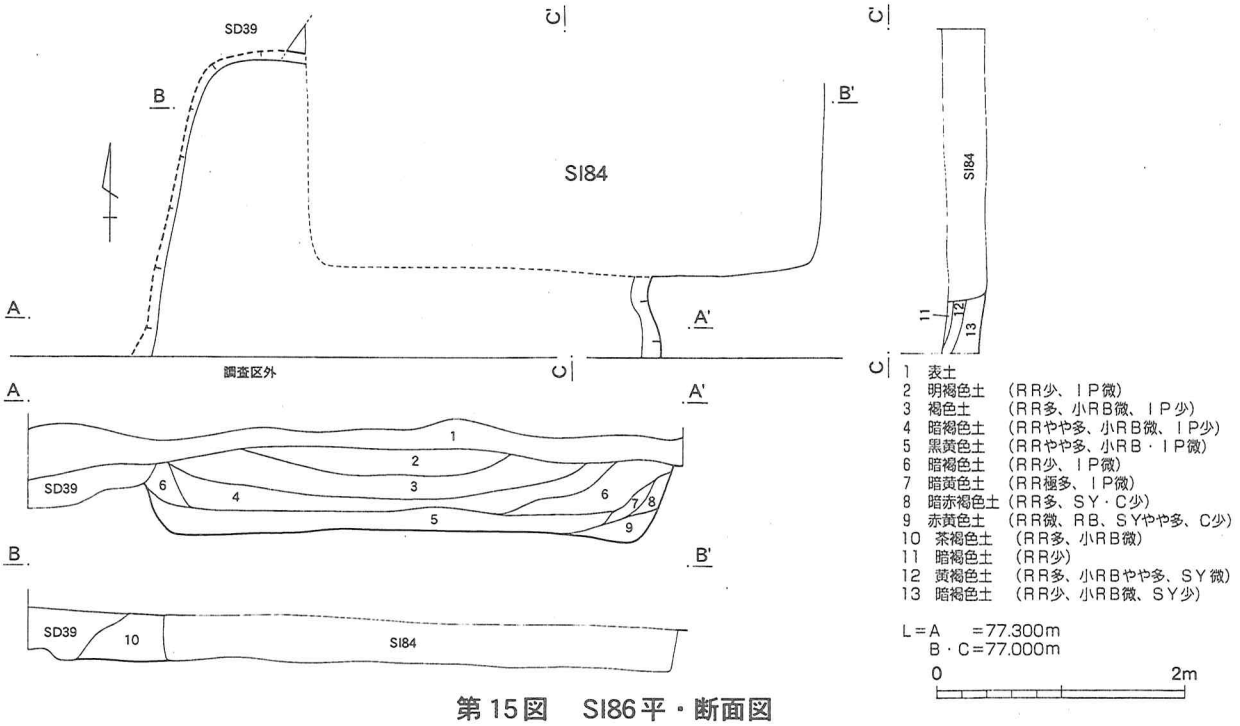
1 暗褐色土 （RRやや多、小RB少、SY・小SYB微、粘土）
2 暗褐色土 （RRやや多、小RBやや多、SY・小SYB微、粘土）
3 暗黄褐色土 （RR多、RB・SYやや多、粘土）
4 暗褐色土 （RRやや多、小RB微、SY少、小SYB・C微）
5 褐色土 （RRやや多、SY・小粘土B・CR微）
6 褐色土 （RR多、粘土粒微）
7 灰赤色土 （RR少、SYやや多、粘土粒多、小粘土B微）
8 灰褐色土 （RR・SY・粘土粒少、小粘土B多、C微）
9 暗褐色土 （RR多、SY・粘土粒・C微）
10 灰橙色土 （RR・RB微、SY・SYBやや多、粘土多）
11 暗黄色土 （RR多、小RB・粘土粒少、柔らかい、粘性あり）
12 黄色土 （RB）
13 暗赤色土 （SY極多、小SYB・粘土粒・C微）
14 明赤色土 （SY極多、SYBやや多）
15 暗褐色土 （RR少、小RB・SY・粘土粒微）
16 赤褐色土 （RR・小RB微、SY多）

L＝A・B＝77.000m
C　＝76.700m

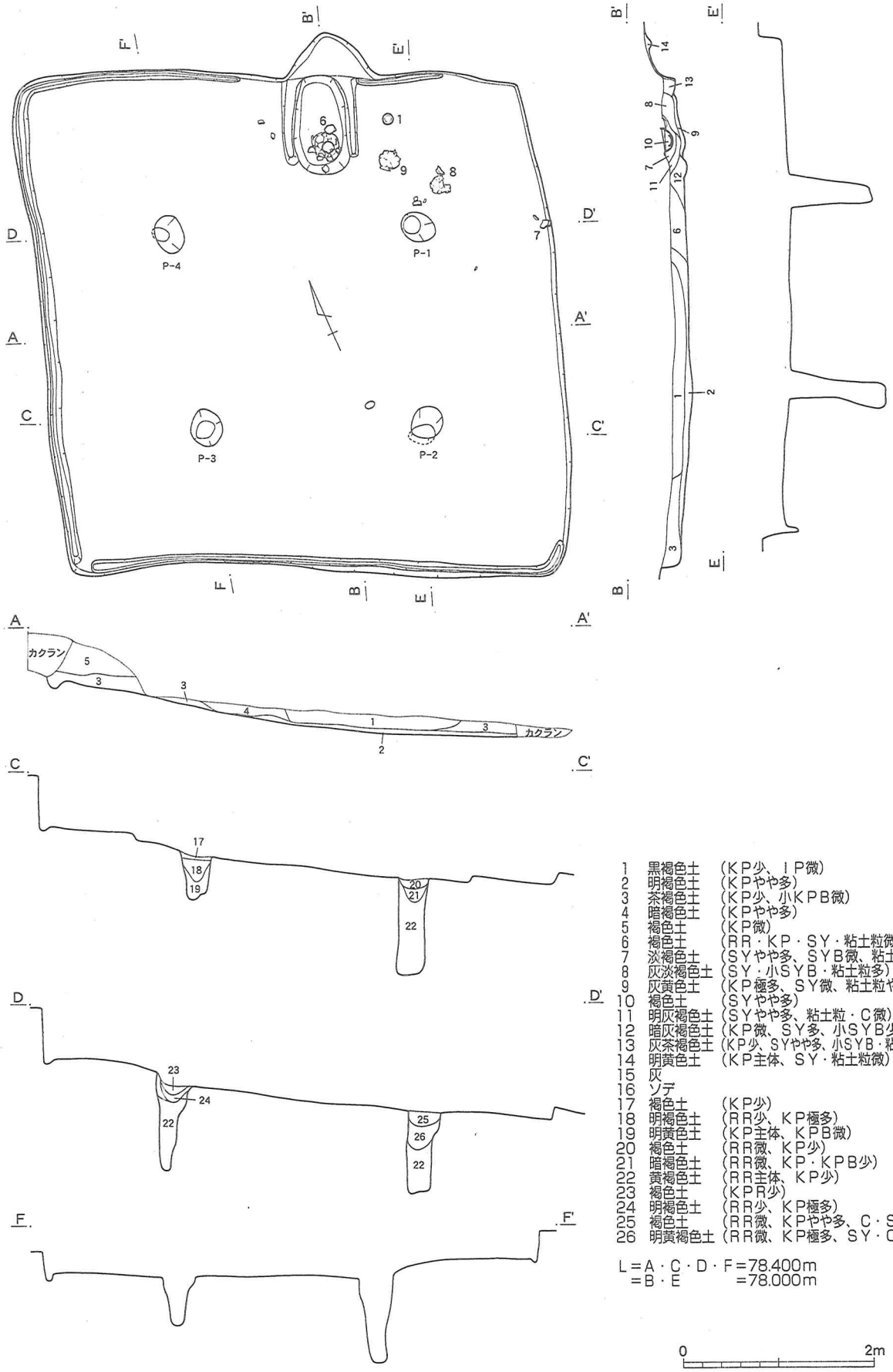
第13図　SI84平・断面図



第14図　SI85平・断面図



第15図　SI86平・断面図

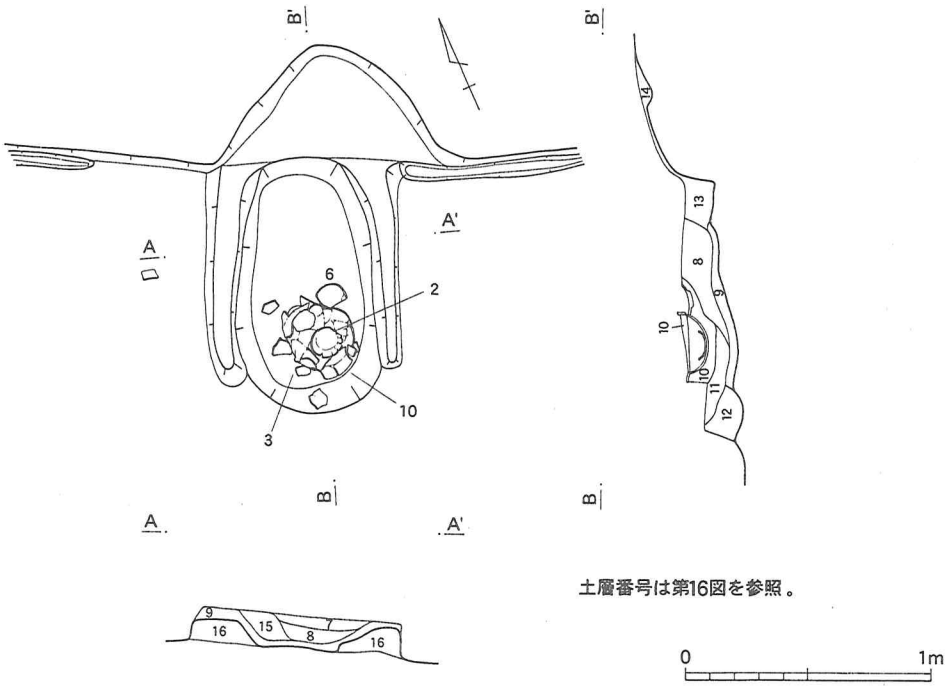


1 黒褐色土 （ＫＰ少、ＩＰ微）
2 明褐色土 （ＫＰやや多）
3 茶褐色土 （ＫＰ少、小ＫＰＢ微）
4 暗褐色土 （ＫＰやや多）
5 褐色土 （ＫＰ微）
6 褐色土 （ＲＲ・ＫＰ・ＳＹ・粘土粒微）
7 淡褐色土 （ＳＹやや多、ＳＹＢ微、粘土粒やや多）
8 灰淡褐色土 （ＳＹ・小ＳＹＢ・粘土粒多）
9 灰黄色土 （ＫＰ極多、ＳＹ微、粘土粒やや多）
10 褐色土 （ＳＹやや多）
11 明灰褐色土 （ＳＹやや多、粘土粒・Ｃ微）
12 暗灰褐色土 （ＫＰ微、ＳＹ多、小ＳＹＢ少、粘土粒・Ｃ微）
13 灰茶褐色土 （ＫＰ少、ＳＹやや多、小ＳＹＢ・粘土粒・粘土Ｂ少、Ｃ微）
14 明黄色土 （ＫＰ主体、ＳＹ・粘土粒微）
15 灰
16 ソデ
17 褐色土 （ＫＰ少）
18 明褐色土 （ＲＲ少、ＫＰ極多）
19 明黄色土 （ＫＰ主体、ＫＰＢ微）
20 褐色土 （ＲＲ微、ＫＰ少）
21 暗褐色土 （ＲＲ微、ＫＰ・ＫＰＢ少）
22 黄褐色土 （ＲＲ主体、ＫＰ少）
23 褐色土 （ＫＰＲ少）
24 明褐色土 （ＲＲ少、ＫＰ極多）
25 褐色土 （ＲＲ微、ＫＰやや多、Ｃ・ＳＹ少）
26 明黄褐色土 （ＲＲ微、ＫＰ極多、ＳＹ・Ｃ微）

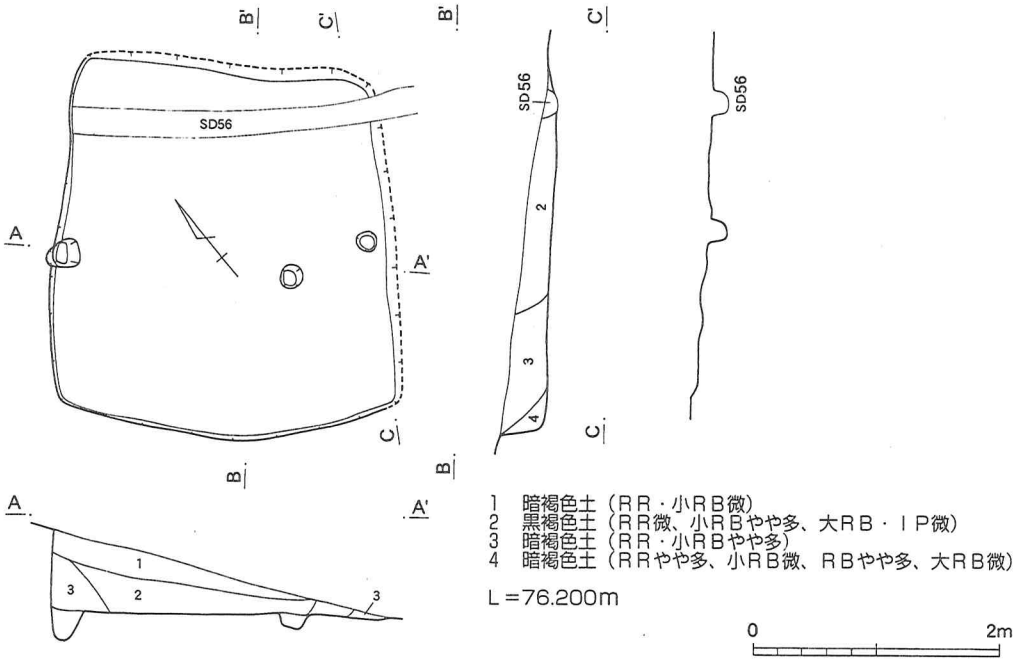
Ｌ＝Ａ・Ｃ・Ｄ・Ｆ＝78.400m
＝Ｂ・Ｅ ＝78.000m

0 2m

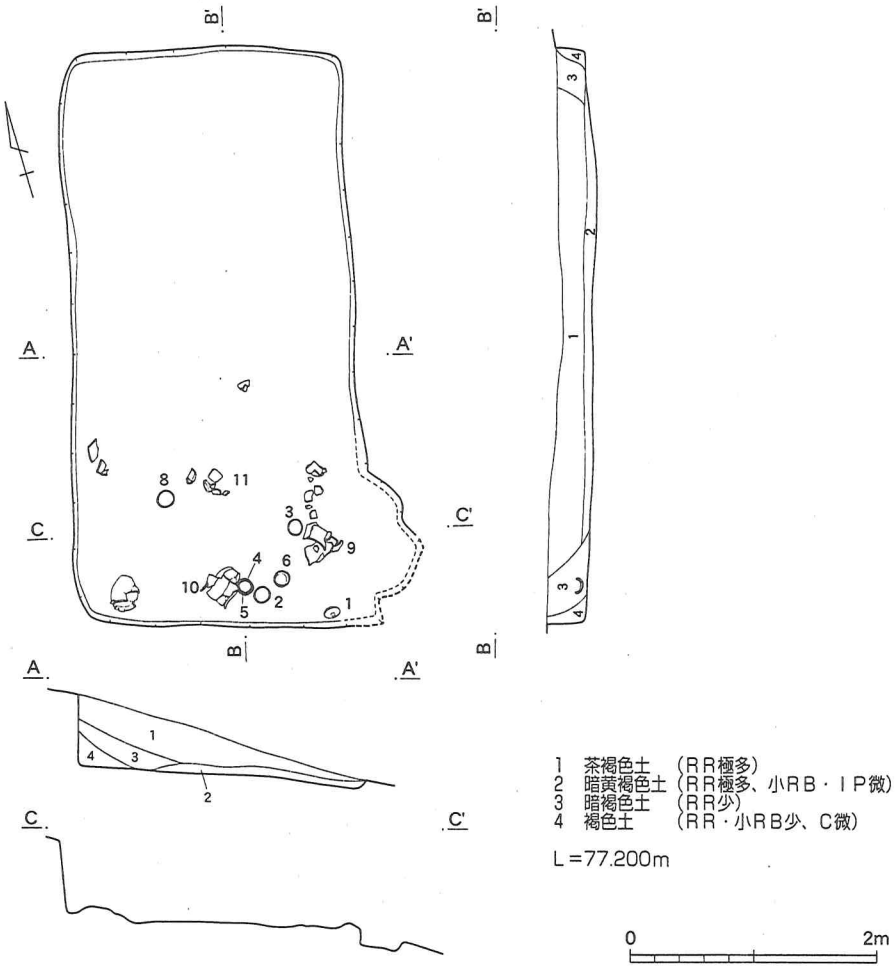
第16図　SI87平・断面図



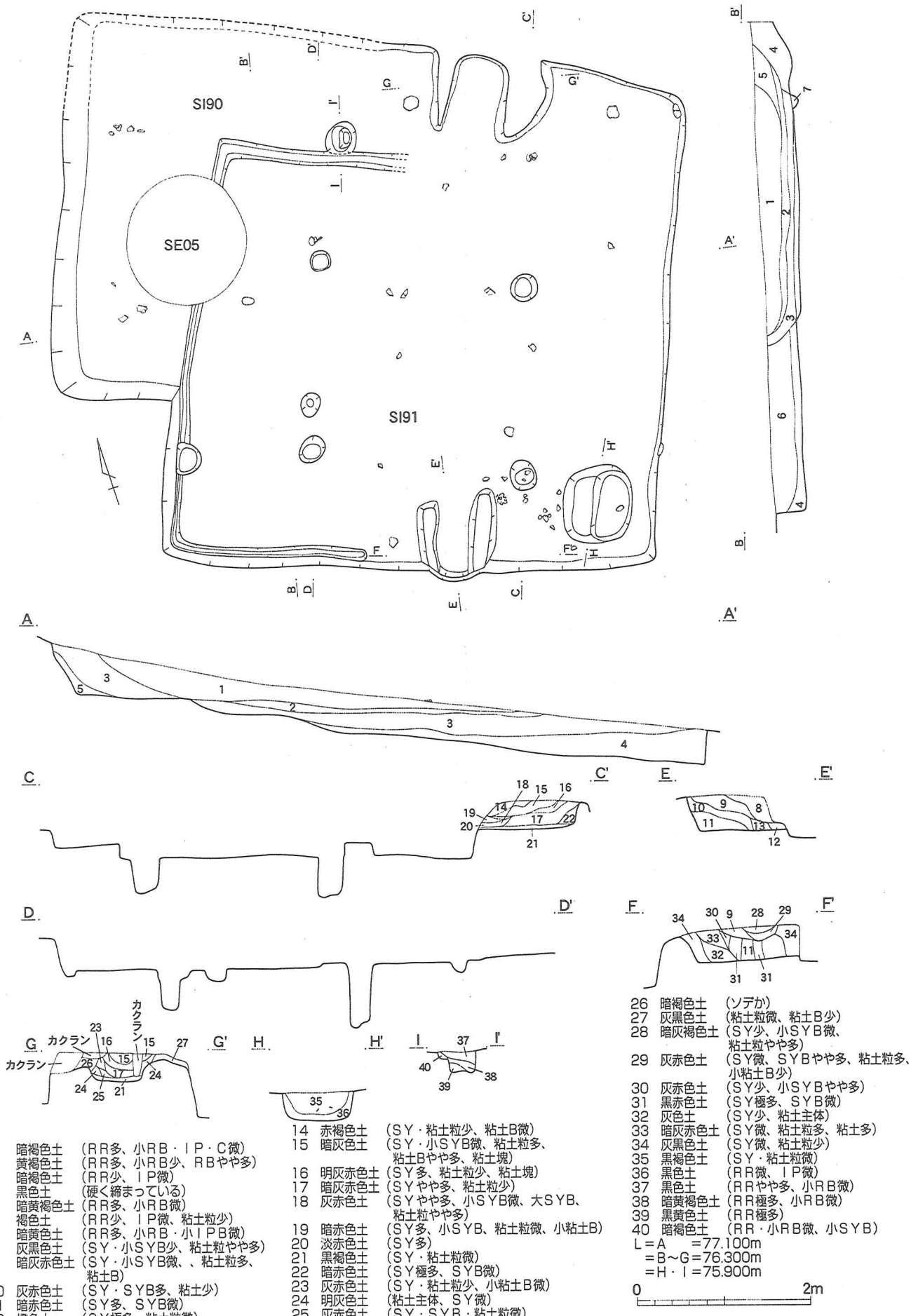
第17図　SI87カマド平・断面図



第18図　SI88平・断面図



第19図　SI89平・断面図

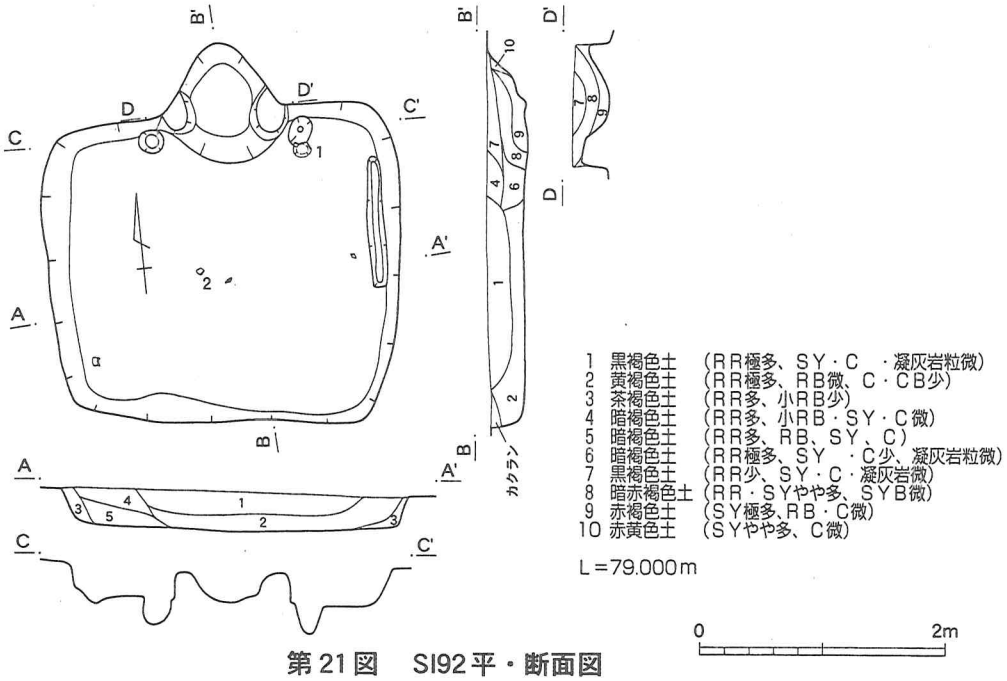


1　暗褐色土　（RR多、小RB・IP・C微）
2　黄褐色土　（RR多、小RB少、RBやや多）
3　暗褐色土　（RR少、IP微）
4　黒色土　（硬く締まっている）
5　暗黄褐色土（RR多、小RB微）
6　褐色土　（RR少、IP微、粘土粒少）
7　暗黄色土　（RR多、小RB・小IPB微）
8　灰黒色土　（SY・小SYB少、粘土粒やや多）
9　暗灰赤色土（SY・小SYB微、、粘土粒多、粘土B）
10　灰赤色土　（SY・SYB多、粘土少）
11　暗赤色土　（SY多、SYB微）
12　橙色土　（SY極多、粘土粒微）
13　暗赤色土　（SY多、粘土粒微）
14　赤褐色土　（SY・粘土粒少、粘土B微）
15　暗灰色土　（SY・小SYB微、粘土粒多、粘土Bやや多、粘土塊）
16　明灰赤色土（SY多、粘土粒少、粘土塊）
17　暗灰赤色土（SYやや多、粘土粒少）
18　灰赤色土　（SYやや多、小SYB微、大SYB、粘土粒やや多）
19　暗赤色土　（SY多、小SYB、粘土粒微、小粘土B）
20　淡赤色土　（SY多）
21　黒褐色土　（SY・粘土粒微）
22　暗赤色土　（SY極多、SYB微）
23　灰赤色土　（SY・粘土粒少、小粘土B微）
24　明灰色土　（粘土主体、SY微）
25　灰赤色土　（SY・SYB・粘土粒微）
26　暗褐色土　（ソデか）
27　灰黒色土　（粘土粒微、粘土B少）
28　暗灰褐色土（SY少、小SYB微、粘土粒やや多）
29　灰赤色土　（SY微、SYBやや多、粘土粒多、小粘土B少）
30　灰赤色土　（SY少、小SYBやや多）
31　黒赤色土　（SY極多、SYB微）
32　灰色土　（SY少、粘土主体）
33　暗灰赤色土（SY微、粘土粒多、粘土多）
34　灰黒色土　（SY微、粘土粒少）
35　黒褐色土　（SY・粘土粒微）
36　黒色土　（RR微、IP微）
37　黒色土　（RRやや多、小RB微）
38　暗黄褐色土（RR極多、小RB微）
39　黒黄色土　（RR極多）
40　暗褐色土　（RR・小RB微、小SYB）

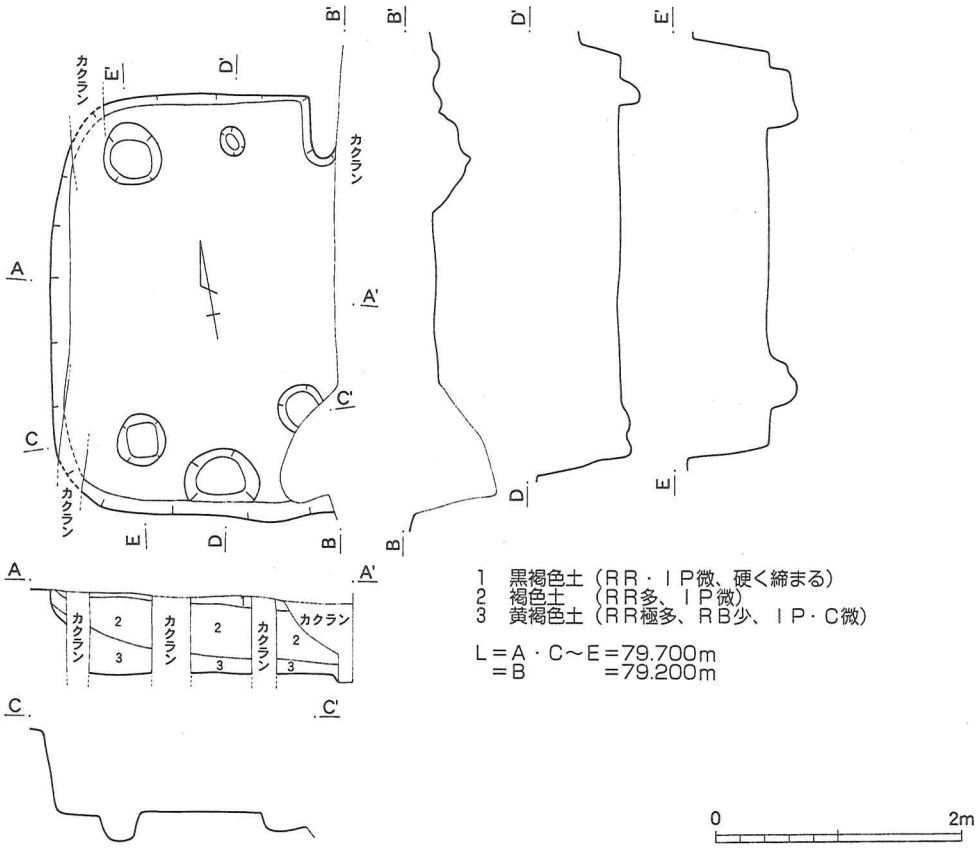
L＝A　＝77.100m
＝B～G＝76.300m
＝H・I＝75.900m

0　2m

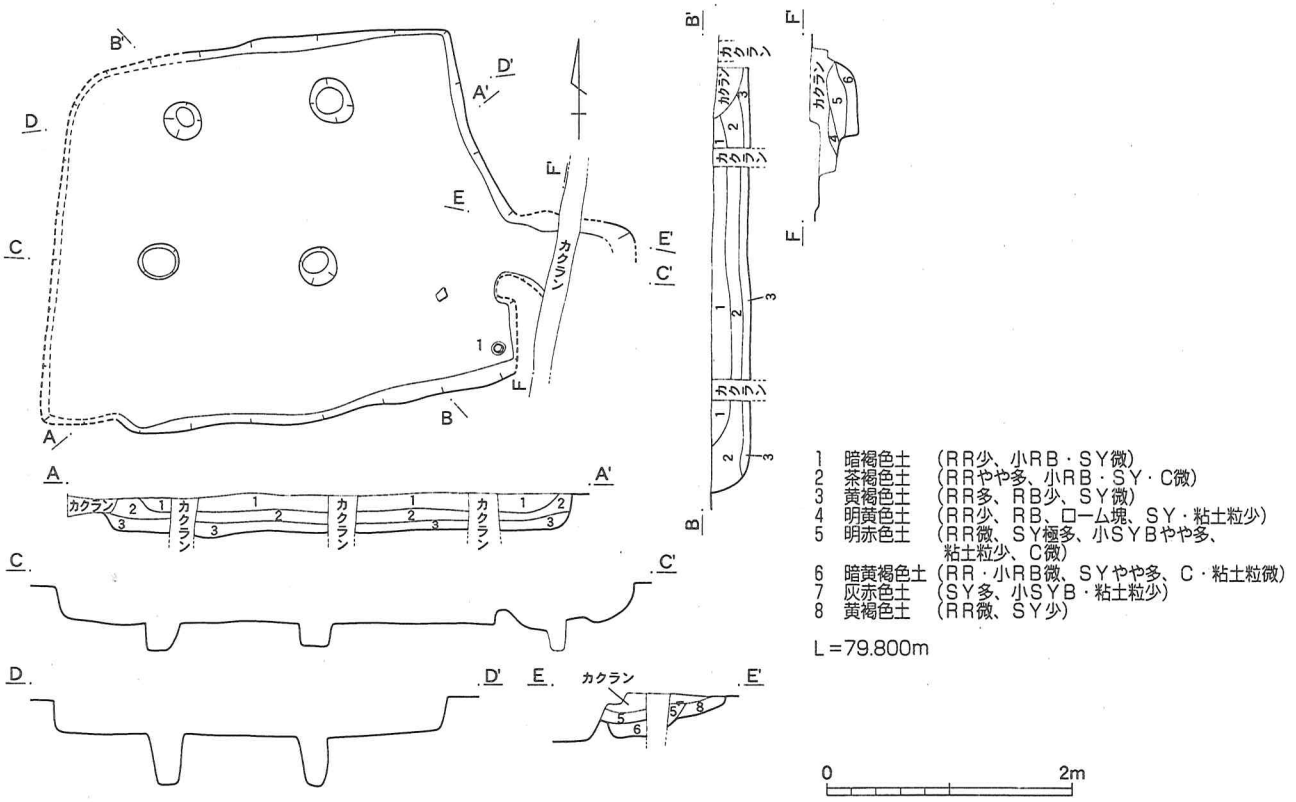
第20図　SI90・91平・断面図



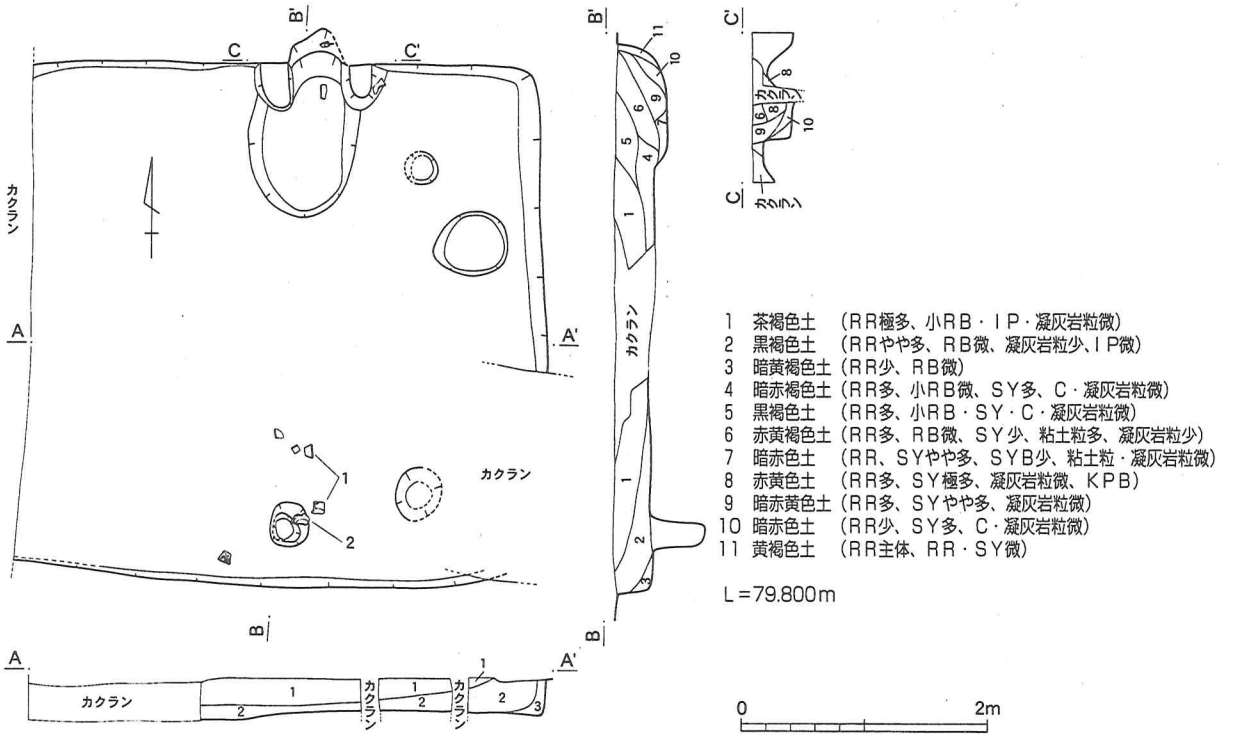
第21図　SI92平・断面図



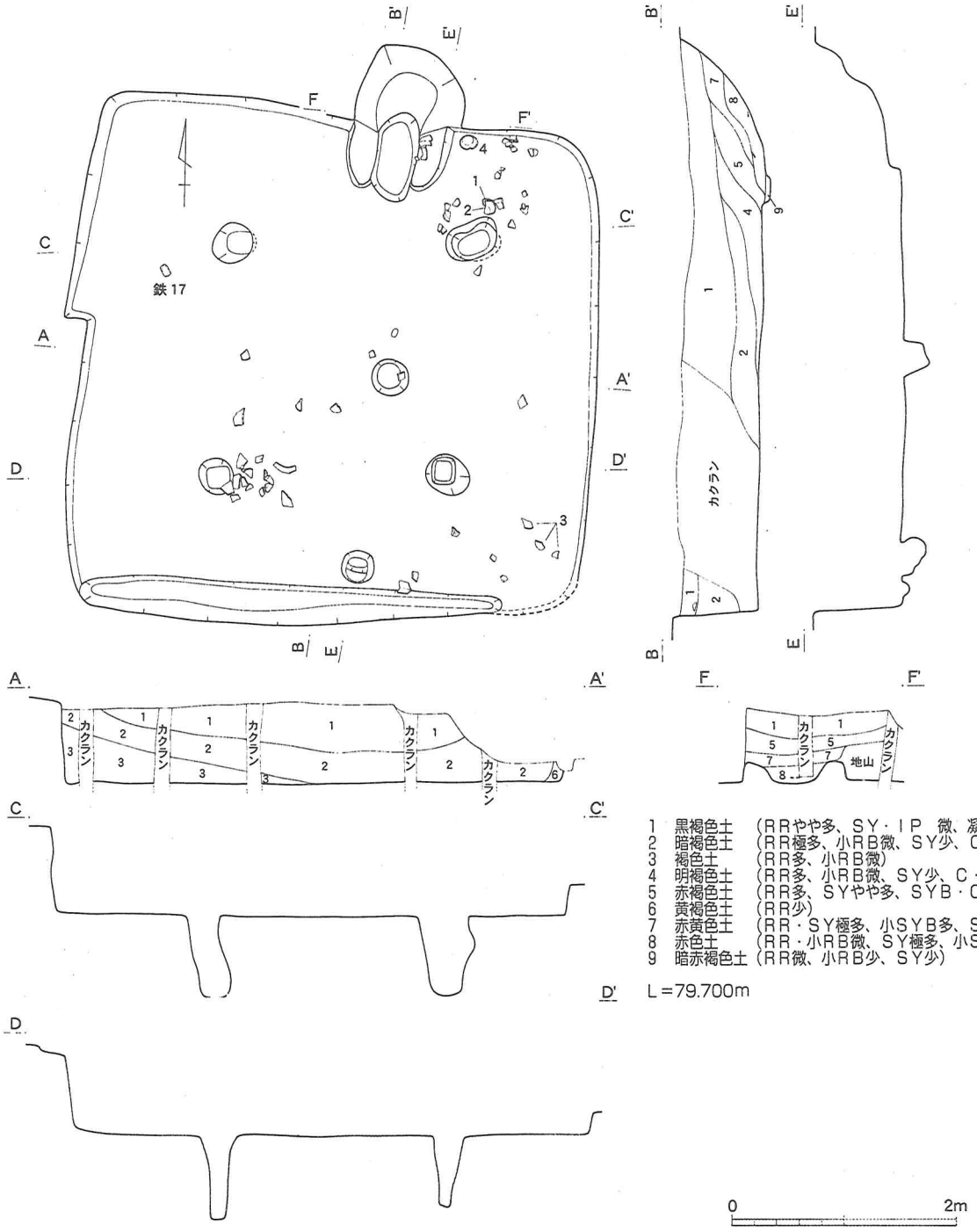
第22図　SI93平・断面図



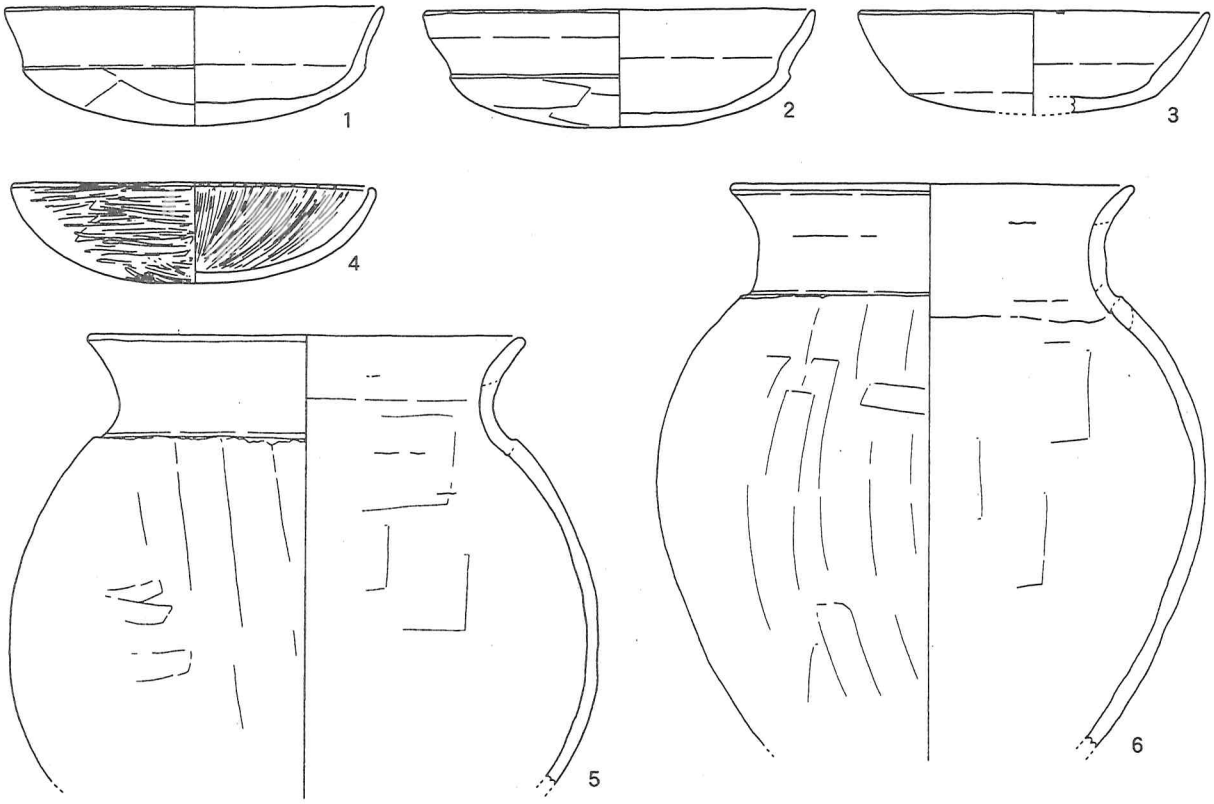
第23図　SI94平・断面図



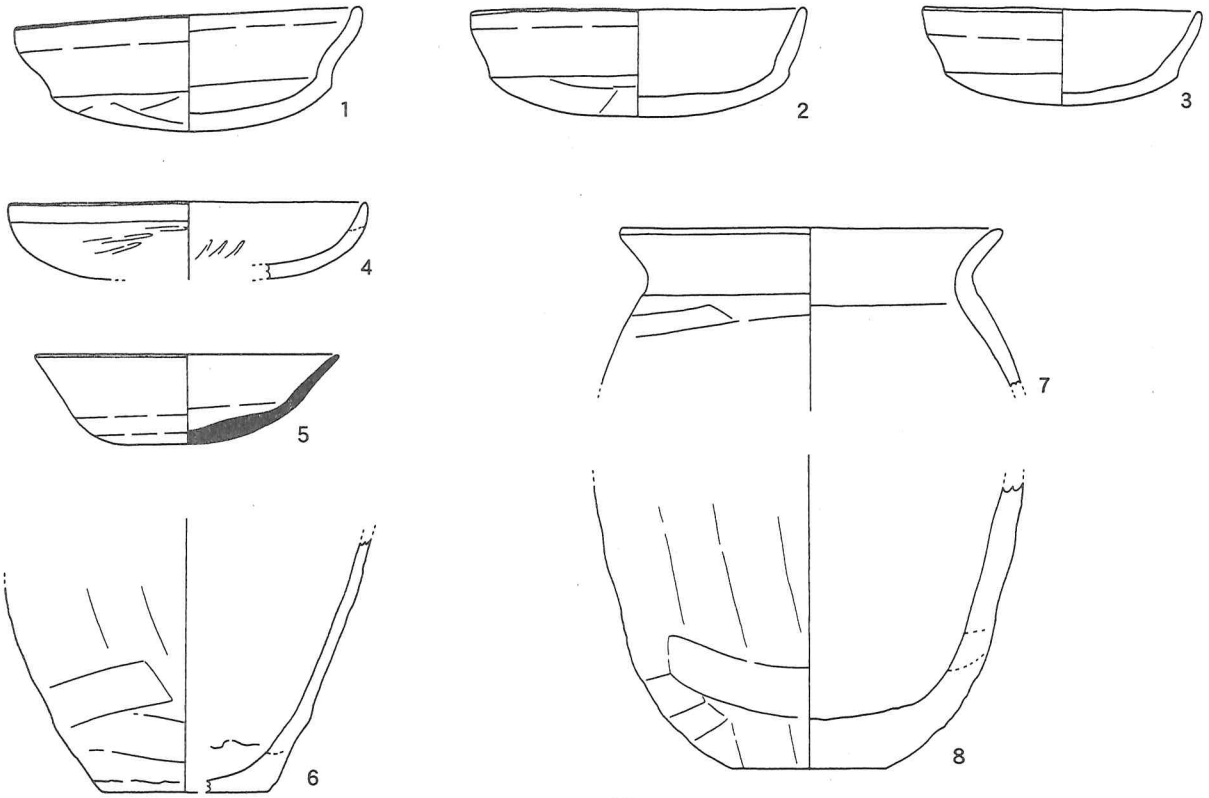
第24図　SI96平・断面図



第25図　SI97平・断面図



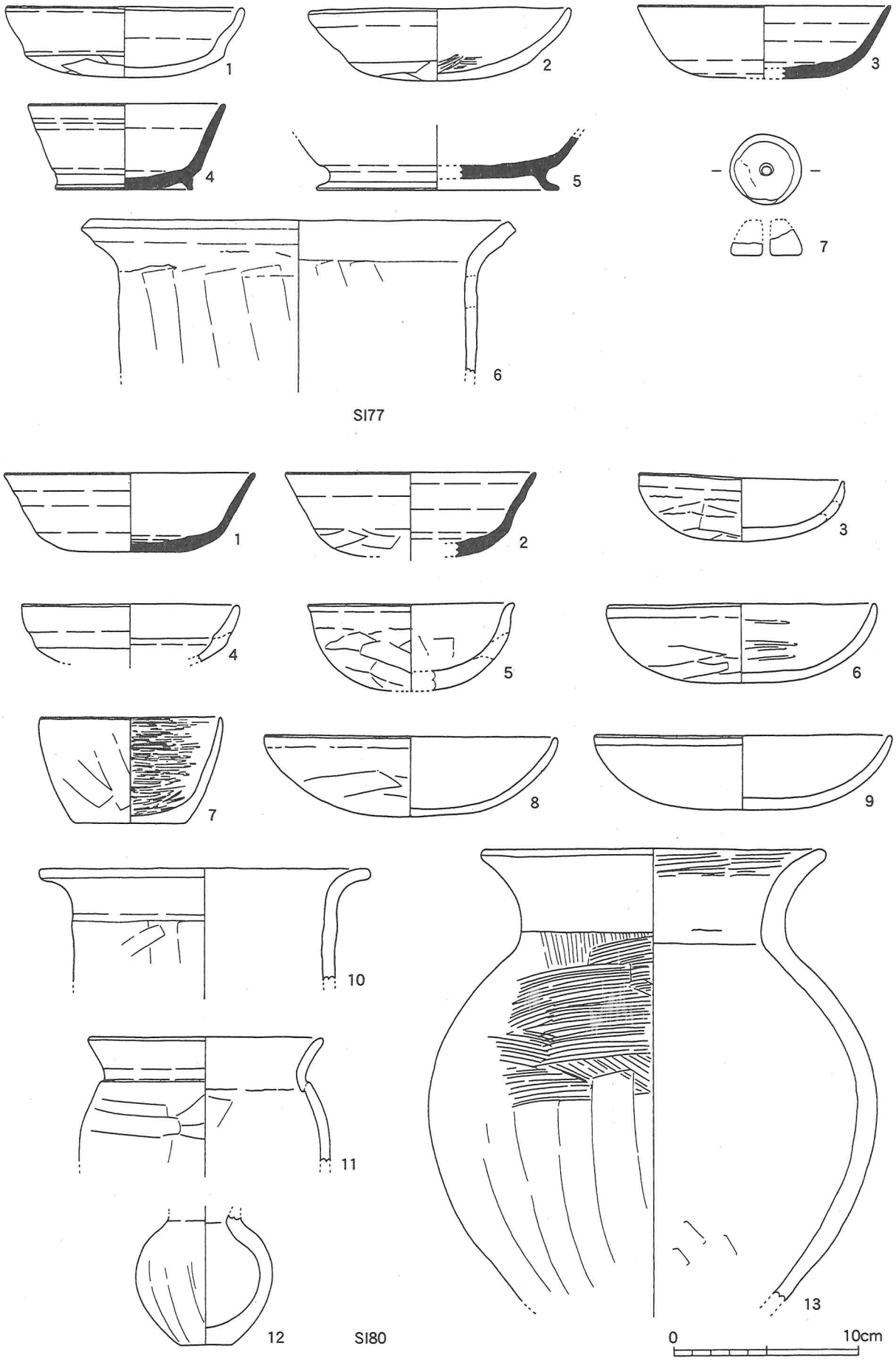
SI65



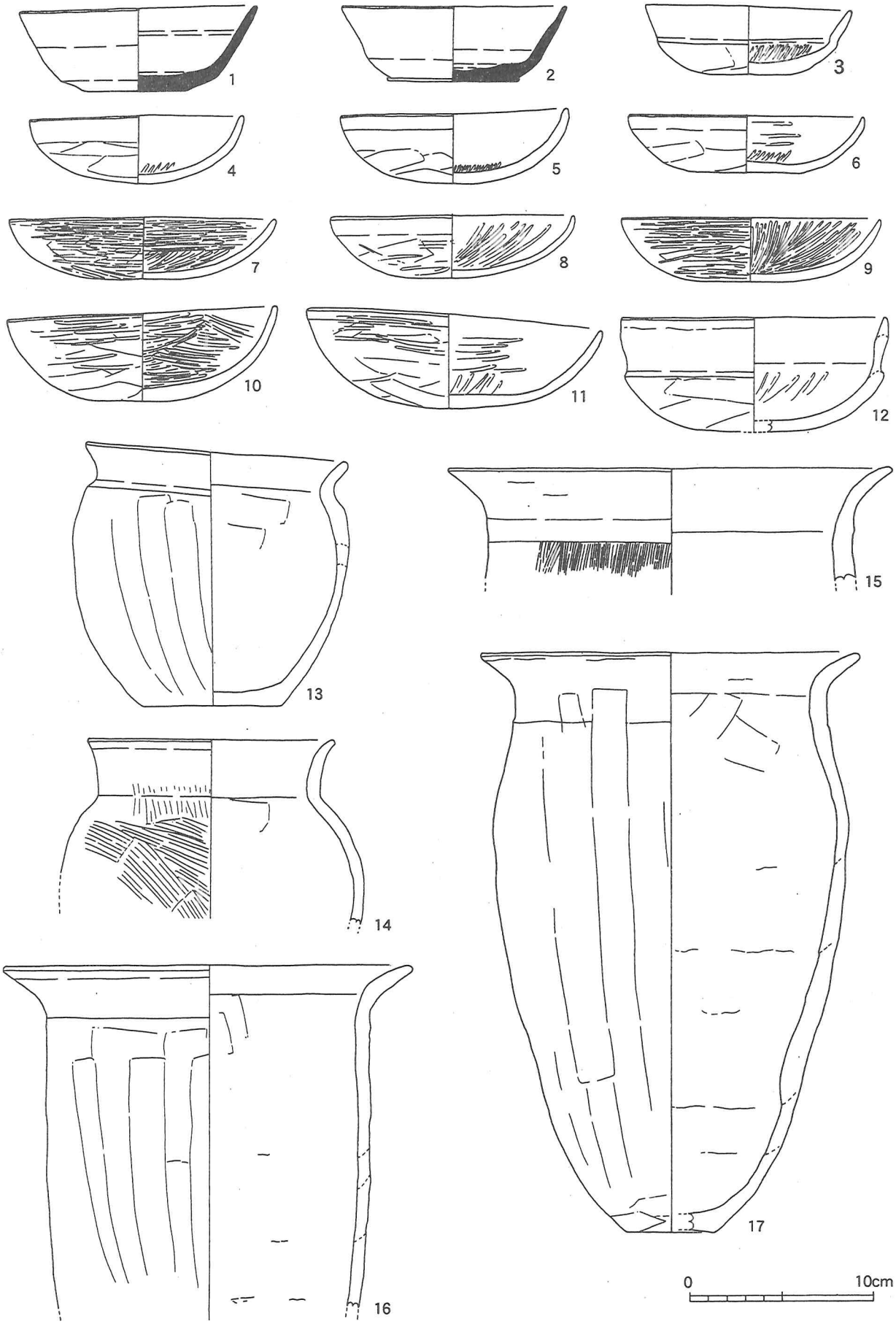
SI66

0 10cm

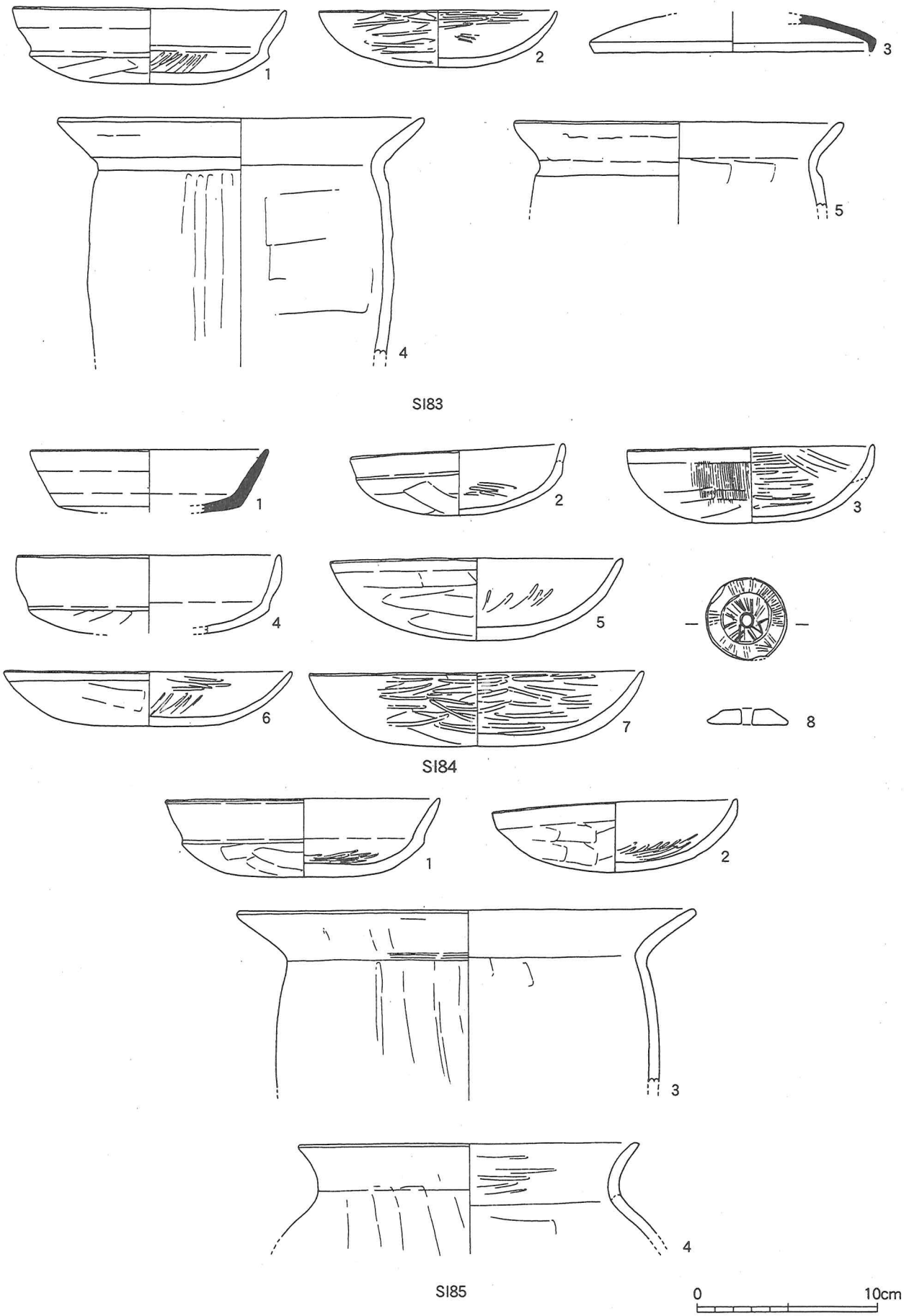
第26図　SI65・66出土遺物実測図



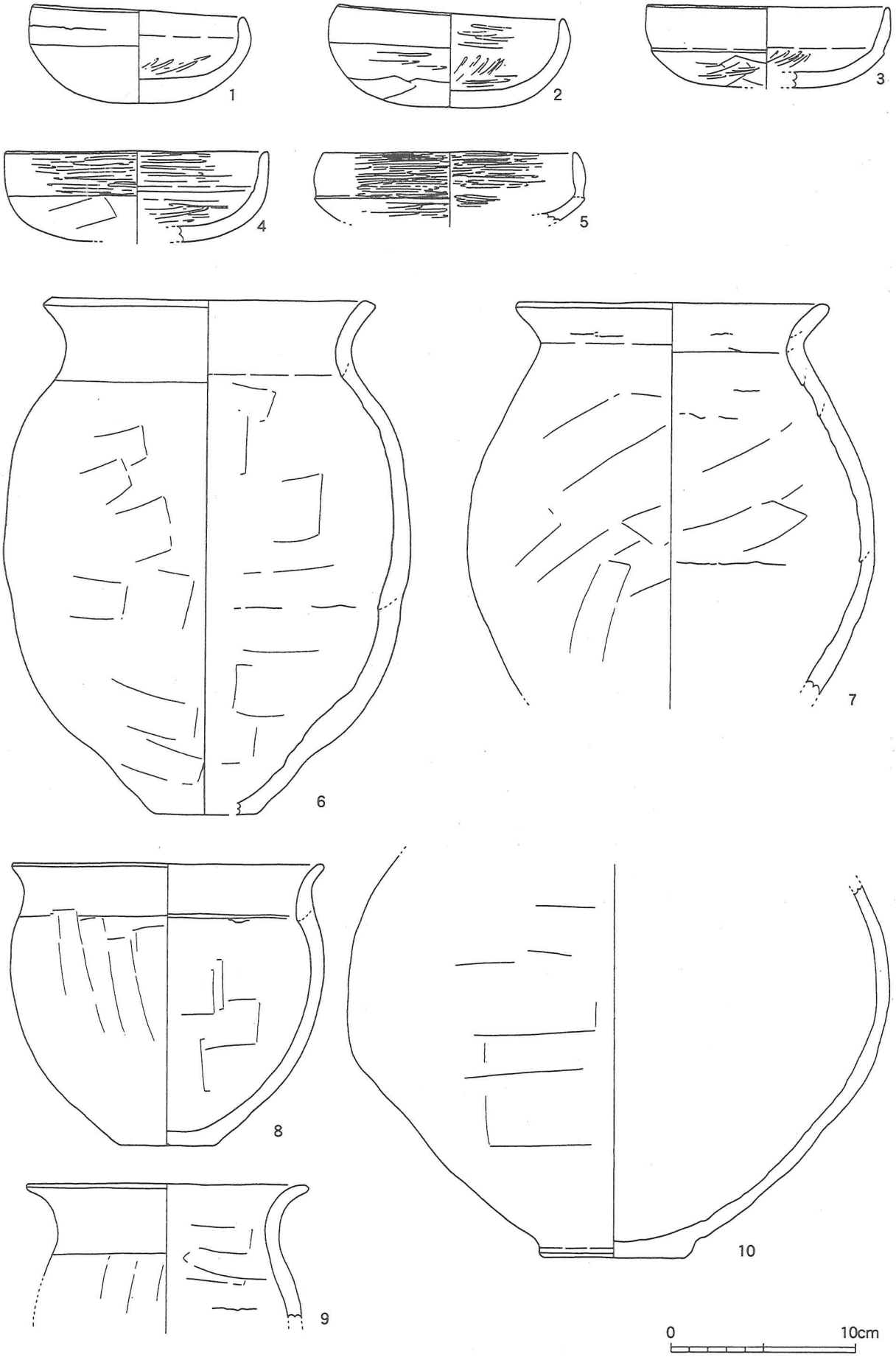
第27図　SI77・80出土遺物実測図



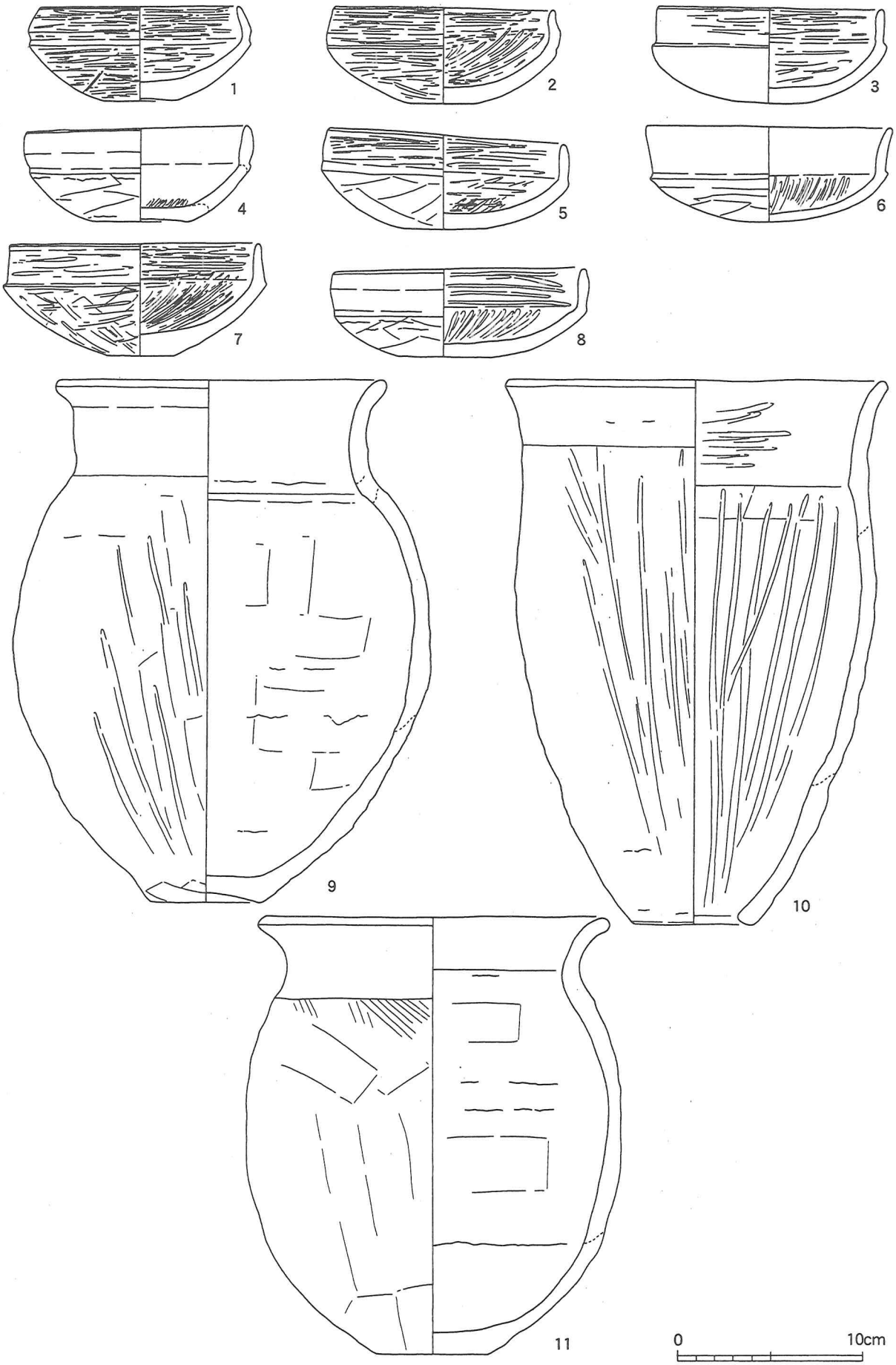
第28図　SI81出土遺物実測図



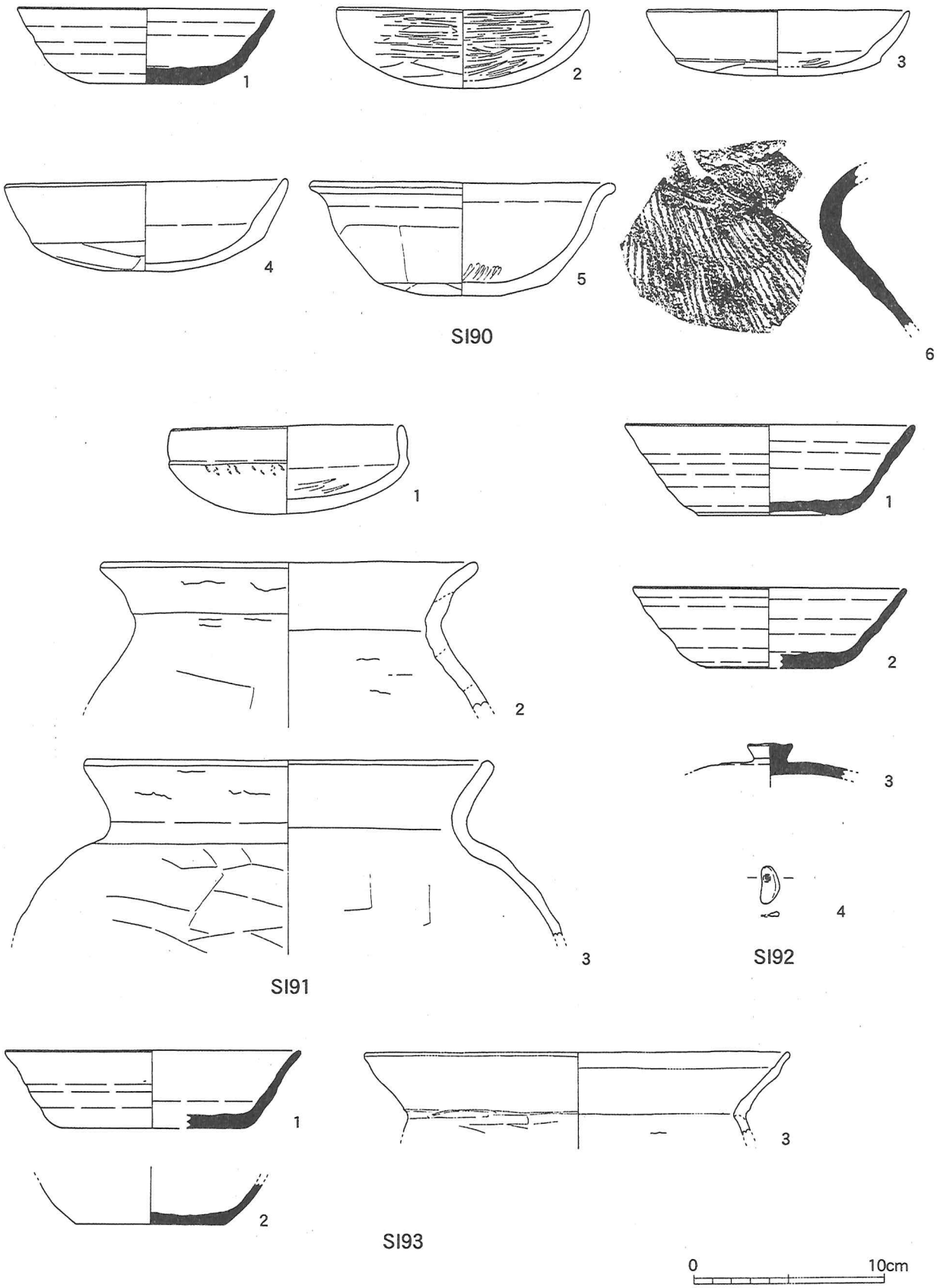
第29図　SI83・84・85出土遺物実測図



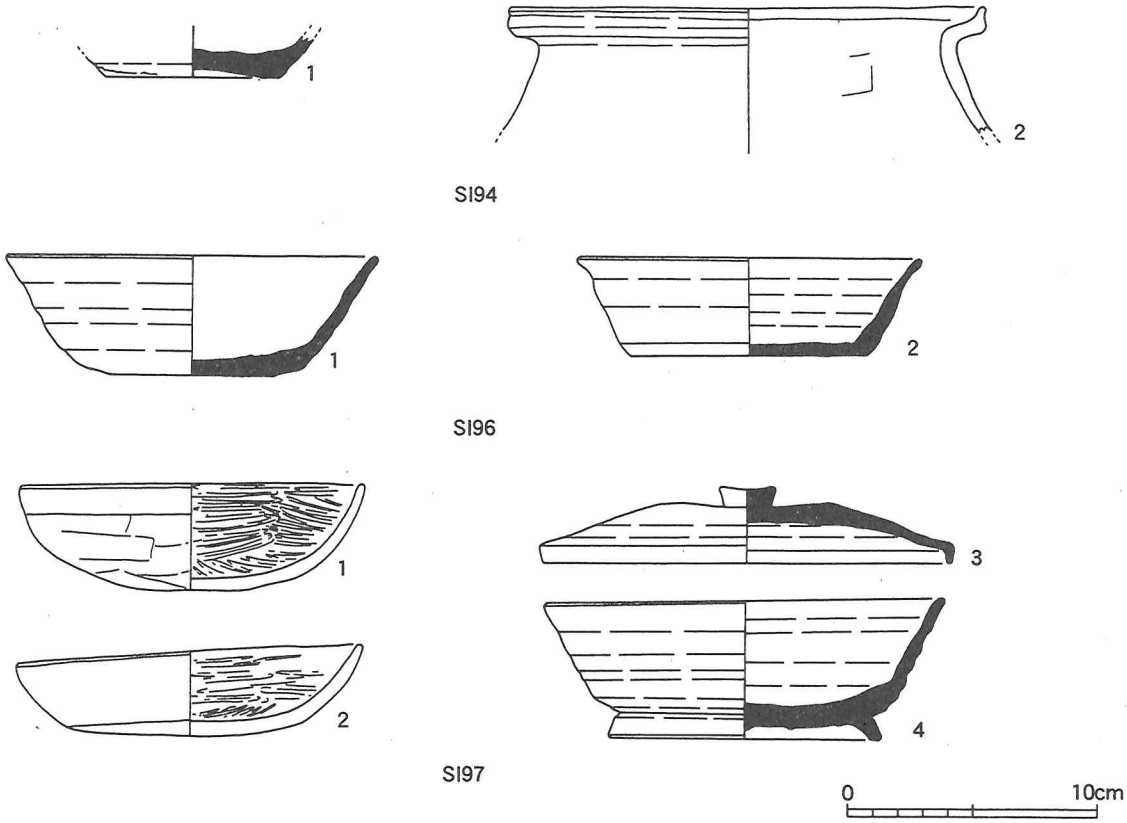
第30図　SI87出土遺物実測図



第31図　SI89出土遺物実測図



第32図　SI90・91・92・93出土遺物実測図



第33図　SI94・96・97出土遺物実測図

遺構番号	番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	器高	底径							
SI65	1	土師器坏	15.0	4.7		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ、外面ヘラ削り。	暗灰色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/4残
SI65	2	土師器坏	15.4	4.6		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ、外面ヘラ削り。	暗灰色	砂粒	良好	埋土下層	1/2残。
SI65	3	土師器坏	14.0	4.0	4.8	平底。	内外面ヨコナデ。	淡褐色	砂粒	良好	埋土中	破片。内外面剥離目立つ。
SI65	4	土師器坏	14.4	4.0		半球形。	内面放射状のヘラミガキ、外面ヘラ削り後横位のヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	3/4残。
SI65	5	土師器甕	17.2			「く」の字口縁。	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	暗褐色	小石、砂粒	良好	埋土下層	破片。焼き色ムラ。
SI65	6	土師器甕	16.0			「く」の字口縁。	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	床直	1/2残。焼き色ムラ。外面煤付着。
SI66	1	土師器坏	13.7	4.9		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ、外面ヘラ削り。	淡褐色	砂粒	良好	床直	ほぼ完形。
SI66	2	土師器坏	13.3	4.2	7.6	丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ、外面ヘラ削り。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/2残。内面及び口縁部外面に漆付着。
SI66	3	土師器坏	11.0	3.8		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ、外面ヘラ削り。	乳白色	砂粒	良好	埋土中	1/3残、口縁部内外面に漆付着。
SI66	4	土師器坏	14	3.2		丸底で、内湾気味に立ち上がる。	口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ、外面ヘラ削り後ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	1/3残、口縁部内外面に漆付着。
SI66	5	須恵器坏	12	3.5		丸底で、体部がやや外反する。	ロクロ成形。底部外面回転ヘラ削り。	灰褐色	白色砂粒、小石	良好	埋土中層	3/4残。焼き色ムラ。
SI66	6	土師器甕			6.5	長胴。	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	暗赤褐色	白色砂粒多、金ウンモ	良好	埋土中層	破片。焼き色ムラ。内外面剥離目立つ。
SI66	7	土師器甕	15.0			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	破片。内面剥離目立つ。内面灰付着。
SI66	8	土師器甕			6.0	平底、長胴。	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒、小石多	良好	床直	破片。
SI77	1	土師器坏	12.6	3.8		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、内面ナデ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	3/4残。内外面漆付着。
SI77	2	土師器坏	14.0	4.0		丸底で、口縁部が外傾する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	ほぼ完形。
SI77	3	須恵器坏	13.6	4.0	6.0	丸底気味で、口縁部外傾する。	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り。	灰白色	白色砂粒、小石	良好	埋土中層	1/2残。
SI77	4	須恵器高台付坏	10.5	4.6	7.2	体部は外傾し、高台を付す。	ロクロ成形。	灰色	白色砂粒	良好	埋土中層	完形。
SI77	5	須恵器高台付坏			13.0	高台を付す。	ロクロ成形。	灰白色	砂粒	良好	埋土中層	1/4残。
SI77	6	土師器甕	22.4			長胴。	口縁部ヨコナデ。胴部縦位ヘラ削り。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土上層	破片。
SI77	7	石製紡錘車	径（3.9）							良好	埋土下層	石製。
SI80	1	須恵器坏	13.4	4.2	6.0	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り。	灰色	白色砂粒	良好	埋土上層	1/2残。
SI80	2	須恵器坏	13.4	4.5		丸底で体部が外傾する。	ロクロ成形。底部手持ちヘラ削り。	灰色	砂粒	良好	埋土中層	破片。
SI80	3	土師器坏	11.1	3.7		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。	灰褐色	砂粒	良好	埋土中	3/4残。内外面漆付着。
SI80	4	土師器坏	11.6			口縁部外面に稜を有する。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。	乳白色	砂粒	良好	埋土中	破片。内面漆付着。
SI80	5	土師器椀	11.0	4.7		丸底で、口唇部が外反する。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラ削り。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/4残。焼き色ムラ。
SI80	6	土師器坏	14.4	4.2		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	1/4残。内外面漆付着。
SI80	7	土師器椀	9.7	5.6	6.0	平底で、外傾気味に立ち上がる。	外面ヘラ削り、内面ヘラミガキ。	淡褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/4残。内外面漆付着。

第3表　出土遺物観察表（1）

遺構番号	番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	器高	底径							
SI80	8	土師器坏	15.6	4.3		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	3/4残。内外面漆付着。
SI80	9	土師器坏	(16.0)	4.0		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラナデ。	乳白色	砂粒	良好		3/4残。内外面漆付着。口縁歪んでいる。
SI80	10	土師器甕	17.6			口縁部は外反する。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラナデ後ヘラケズリ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	破片。
SI80	11	土師器甕	12.4			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	破片。煤付着。
SI80	12	土師器小型壺			2.8	球胴。	体部外面ヨコナデ、ヘラケズリ。	淡褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	口縁部欠損。断面が厚い作り。
SI80	13	土師器甕	18.2			「く」の字口縁で、球胴。	口縁部ヨコナデ，体部外面上半タテハケ後ヨコハケ。体部外面下半縦方向のヘラケズリ。体部内面口縁部横方向のハケ後ヨコナデ、体部ヘラナデ。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒小石	良好	埋土中層	破片。焼き色ムラ。
SI81	1	須恵器坏	12.9	4.6	5.3	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。回転ヘラ切り。	灰白色	緻密	良好	埋土中層	ほぼ完形。
SI81	2	須恵器坏	12.2	4.1	7.0	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。回転ヘラ切り。	灰白色	白色砂粒、小石	良好	埋土下層	完形。
SI81	3	土師器坏	11.2	3.8		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	暗赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	ほぼ完形。内外面漆付着。
SI81	4	土師器坏	11.5	3.8		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	ほぼ完形。内外面漆付着。
SI81	5	土師器坏	12.3	4.1		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ナデ、ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	暗灰色	砂粒	良好	埋土下層	完形。内面漆付着。
SI81	6	土師器坏	12.8	3.1	6.0	平底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラミガキ。底部に木葉痕残る。	橙褐色	砂粒	良好	埋土下層	1/2残。内外面漆付着。
SI81	7	土師器坏	14.4	3.4		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。内面ヘラミガキ。	暗赤褐色	砂粒	良好	床直	ほぼ完形。内外面漆付着。
SI81	8	土師器坏	13.2	3.5		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ，体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。体部内面放射状のヘラミガキ。底部に木葉痕残る。	赤褐色	砂粒	良好		完形。内外面漆付着。
SI81	9	土師器坏	14.0	3.5		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ後，ヘラミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。体部内面放射状の細かいヘラミガキ。底部に木葉痕残る。	赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	完形。内外面漆付着。
SI81	10	土師器坏	14.4	5.2		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。体部内面ヘラミガキ。	外面　橙褐色 内面　黒色	砂粒	良好	埋土下層	完形。内面黒色処理。
SI81	11	土師器坏	15.9	5.4		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ後，ヘラミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。底部にかけてヘラケズリ。体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	3/4残。内外面漆付着。
SI81	12	土師器坏	14.4	6.2		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラミガキ。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/2残。内外面漆付着。
SI81	13	土師器甕	14.0	14.3	7.5	「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ。体部外面縦方向のヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	褐色	砂粒、小石多	良好	埋土中層	ほぼ完形。内面体部下半から剥離目立つ。
SI81	14	土師器甕	13.2			口縁部が直立気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ後、縦方向のハケ目。体部外面斜め横方向のハケ目。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	淡褐色	砂粒，赤色スコリア粒	良好	埋土中層	1/3残。
SI81	15	土師器甕	24.0			口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、輪積み痕あり。体部外面縦方向のハケ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	淡褐色	砂粒	良好	埋土中層	破片。煤付着。
SI81	16	土師器甕	22.0			長胴で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	褐色	砂粒	良好	埋土中層	破片。
SI81	17	土師器甕	20.4	31.3	4.8	長胴で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。輪積痕有り。	褐色	砂粒、小石多、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	3/4残。
SI83	1	土師器坏	15.0	4.1		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	淡褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/2残。
SI83	2	土師器坏	13.0	3.1		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	体部外面ヘラケズリ後ミガキ。体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/2残。内外剥離目立つ。
SI83	3	須恵器蓋	15.4				ロクロ成形。	外面　灰色 内面　暗灰褐色	緻密	良好	埋土中	破片。
SI83	4	土師器甕	20.0			長胴で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、輪積み痕あり。体部外面ヘラナデ。灰付着。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	赤褐色	砂粒、金雲母・多、小石	良好	埋土上層	破片。長胴形。

第４表　出土遺物観察表（２）

遺構番号	番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	器高	底径							
SI83	5	土師器甕	18.0			長胴で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、輪積み痕あり。体部外面灰付着。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	褐色	砂粒、金雲母・多。小石	良好	埋土上層	破片。焼き色ムラ。
SI84	1	土師器坏	13.0			体部が外傾する。	ロクロ成形。回転ヘラケズリ。	青灰色	白色小石、砂粒	良好	埋土上層	破片。
SI84	2	土師器坏	11.5	4.0		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は外傾する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	完形。内外面漆付着。
SI84	3	土師器坏	13.6	4.1	5.0	丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ後、ヘラ状の工具で調整を止める？ヘラミガキ？体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	1/2残。内外面漆付着。
SI84	4	土師器坏	14.4			丸底で、口縁部と体部の境に稜を有する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	破片。内外面漆付着。
SI84	5	土師器坏	16.0	4.6		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土下層	3/4残。内外面漆付着。焼き色ムラ。
SI84	6	土師器坏	15.6	3.0		平底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒，赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/3残。
SI84	7	土師器坏	18.2	4.0		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ。体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	破片。
SI84	8	紡錘車	径4.4					黒色		良好	埋土下層	石製。使用痕あり。
SI85	1	土師器坏	13.5	4.0		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は外傾する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	褐色	砂粒	良好	埋土下層	完形。内面漆付着。
SI85	2	土師器坏	15.0	4.3	5.5	丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	淡褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	破片。内面漆付着。
SI85	3	土師器甕	25.0			長胴で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、輪積み痕あり。体部外面ヘラケズリ後、縦方向のヘラミガキ。口縁部内面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	赤褐色	砂粒、石英	良好	床直	破片。
SI85	4	土師器甕	18.6			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	破片。
SI87	1	土師器坏	11.3	5.2		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ナデ、輪積み痕有り。口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	淡褐色	砂粒	良好	埋土中層	完形。断面が非常に厚い作り。
SI87	2	土師器坏	12.2	5.4		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、ヘラケズリ、体部内面ヘラミガキ。	暗赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土上層	2/3残。
SI87	3	土師器坏	13.0	4.4		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は内湾する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土上層	1/4残。
SI87	4	土師器坏	14.0	4.9		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/4残。
SI87	5	土師器坏	13.6			丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は内傾する。	体部外面ヘラミガキ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒	良好	埋土中	破片。
SI87	6	土師器甕	17.0	27.4	5.5	「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ、輪積み痕有り。。	暗褐色	砂粒、小石多い	良好	埋土上層	1/2残。スス付着。
SI87	7	土師器甕	16.6			「く」の字口縁、胴部最大径を中位に有す。	口縁部ヨコナデ、輪積み痕有り。体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ後ヘラナデ、輪積み痕有り。	暗褐色	砂粒、小石多い	良好	埋土中層	1/3残。
SI87	8	土師器甕	16.6	15.0	5.0	球胴で口縁部は外反する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、小石、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/3残。
SI87	9	土師器甕	15.0			口縁部は外反する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土上層	破片。
SI87	10	土師器甕			7.6	球胴。	体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、小石	良好	埋土上層	1/3残。焼き色ムラ。
SI89	1	土師器坏	10.6	5.0	4.0	丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は内傾する。	体部外面ヘラナデ後ヘラミガキ、底部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	暗橙褐色土	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	3/4残。内外面漆付着。作りが厚い。
SI89	2	土師器坏	11.7	5.1	3.5	丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は内傾する。	口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、底部外面ヘラケズリ。内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	完形。内外面漆付着。
SI89	3	土師器坏	12.0	5.1		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ヘラミガキ、体部外面ヘラナデ。内面ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	完形。内外面剥離目立つ。
SI89	4	土師器坏	11.8	5.1	4.9	平底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒	良好	埋土中層	完形。

第5表　出土遺物観察表（3）

遺構番号	番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	器高	底径							
SI89	5	土師器坏	12.7	5.3	4.5	平底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ミガキ、体部外面ヘラケズリ、内面ミガキ。	橙褐色	砂粒	良好	埋土下層	完形。内外面剥離自立つ。
SI89	6	土師器坏	13.2	5.1		丸底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は外傾する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒多大	良好	埋土下層	完形。
SI89	7	土師器坏	13.3	6.0	3.5	平底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、口縁部内面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部内面放射状のヘラミガキ。	橙褐色	砂粒	良好	埋土下層	ほぼ完形。
SI89	8	土師器坏	13.5	4.7	5.0	平底で、口縁部と体部の境に稜を有し、口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	完形。
SI89	9	土師器甕	17.4	27.8	6.0	口縁部は直立で外反する。	口縁部ヨコナデ、胴部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒、小石	良好	埋土下層	ほぼ完形。
SI89	10	土師器甑	20.2	28.9	6.4	筒型。	口縁部ヨコナデ、胴部外面ナデ後ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	小石、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	完形。内外面漆付着。
SI89	11	土師器甕	18.0	23.3	6.0	球胴で、「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ、肩部ナナメのハケ後ヘラケズリ、以下縦位のヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	砂粒多、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	ほぼ完形。
SI90	1	須恵器坏	13.4	3.9	6.0		ロクロ成形、底部ヘラケズリ、ヘラ記号有り。	灰色	小石、白色砂粒	良好	埋土下層	1/2残。内面煤付着。
SI90	2	土師器坏	13.1	4.1		丸底。	口縁部ヘラケズリ後ミガキ、体部外面ヘラケズリ、内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒	良好	埋土中	2/3残。
SI90	3	土師器坏	13.8	3.4	5.0		口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、底部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中	破片。内外面漆付着。
SI90	4	土師器坏	12.0	4.6		丸底。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	ほぼ完形。外面にヘラ状による刺突文有り。
SI90	5	土師器坏	12.0				口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ後ヘラミガキ。	橙褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	破片。
SI90	6	土師器坏	14.7	4.8		丸底。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中	2/3残。内外面漆付着。
SI90	7	土師器鉢	15.6	5.8	4.0		口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、底部ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、底部内面ヘラミガキ。	暗褐色	緻密、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/4残。内外面漆付着。
SI90	8	須恵器甕					外面タタキ。	黒灰色	砂粒、小石多	良好	埋土中	破片。
SI91	1	土師器甕	19.4				口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	暗褐色	砂粒、小石	良好	床直	破片。口縁部付近漆付着。
SI91	2	土師器甕	21.0				口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	褐色	砂粒	良好	埋土中	破片。口縁部付輪積み痕有り。
SI92	1	須恵器坏	15.0	4.8	7.5		ロクロ成形。回転糸切り。	灰色	白色砂粒、小石	良好	埋土下層	3/4残。
SI92	2	須恵器坏	14.2	4.1	6.6		ロクロ成形。回転糸切り。	灰白色	砂粒	良好	埋土下層	1/4残。内面油煙付着。
SI92	3	須恵器蓋					ヘラケズリ。	灰色	白色砂粒	良好	埋土中	破片。
SI92	4	石製垂飾	長さ：2.0幅：0.1～0.3					オリーブ黄色			埋土中	両側からロート式に孔をあけている。
SI93	1	須恵器坏	15.4	4.0	9.4		ロクロ成形。回転ヘラケズリ。。	灰黄色	砂粒	良好	埋土中	1/4残。外面煤付着。
SI93	2	須恵器坏			7.8		ロクロ成形。回転ヘラキリ。	灰色	砂粒、小石	良好	埋土中	破片。
SI93	3	土師器甕	22.0			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナデ，外面ヘラケズリ、口縁部内面ヨコナデ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	破片。外面煤付着。
SI94	1	須恵器坏			7.0	平底。	ロクロ成形。回転糸切り。	灰白色	砂粒	良好	埋土下層	破片。焼き色ムラ。
SI94	2	土師器甕	19.0			受け口状の口縁。	口縁部ヨコナデ、内面ヨコナデ。	褐色	砂粒、ウンモ	良好	埋土中	破片。
SI96	1	須恵器坏	14.6	4.7	6.4	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。	灰色	砂粒、小石	良好	床直	3/4残。内外面底部剥離。

第６表　出土遺物観察表（４）

遺構番号	番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	器高	底径							
SI96	2	須恵器坏	13.6	4.0	9.4	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。体部外面下半ヘラケズリ。底部外面手持ちヘラケズリ。	灰色	白色砂粒	良好	床直	3/4残。
SI97	1	土師器坏	13.6	4.2		丸底で体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラミガキ。	暗赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	1/2残。
SI97	2	土師器坏	13.7	3.6	4.5	平底で、体部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	3/4残。
SI97	3	須恵器蓋	16.2	3.0		ボタン状の摘み。	回転ヘラケズリ、回転糸切り。	灰色	白色砂粒	良好	埋土下層	3/4残。
SI97	4	須恵器高台付坏	15.8	5.6	10.6	高台を付す。	ロクロ成形。回転ヘラ切り。	青灰色	白色砂粒多	良好	埋土下層	ほぼ完形。

第７表　出土遺物観察表（５）

2　掘立柱建物跡

Ⅲ次調査で３棟の掘立柱建物跡、Ⅳ次調査で１棟の掘立柱建物跡が確認された。以下、それぞれの遺構について記す。

SB21（第34図）

位置　Ⅲ次調査区。**平面形**　南北5.6m×東西4.0mのほぼ長方形。**間数**　３間×２間。**方位**　N-2°-E　**遺物**　無。**備考**　ＳＤ３８と切り合う。

SB22（第35図）

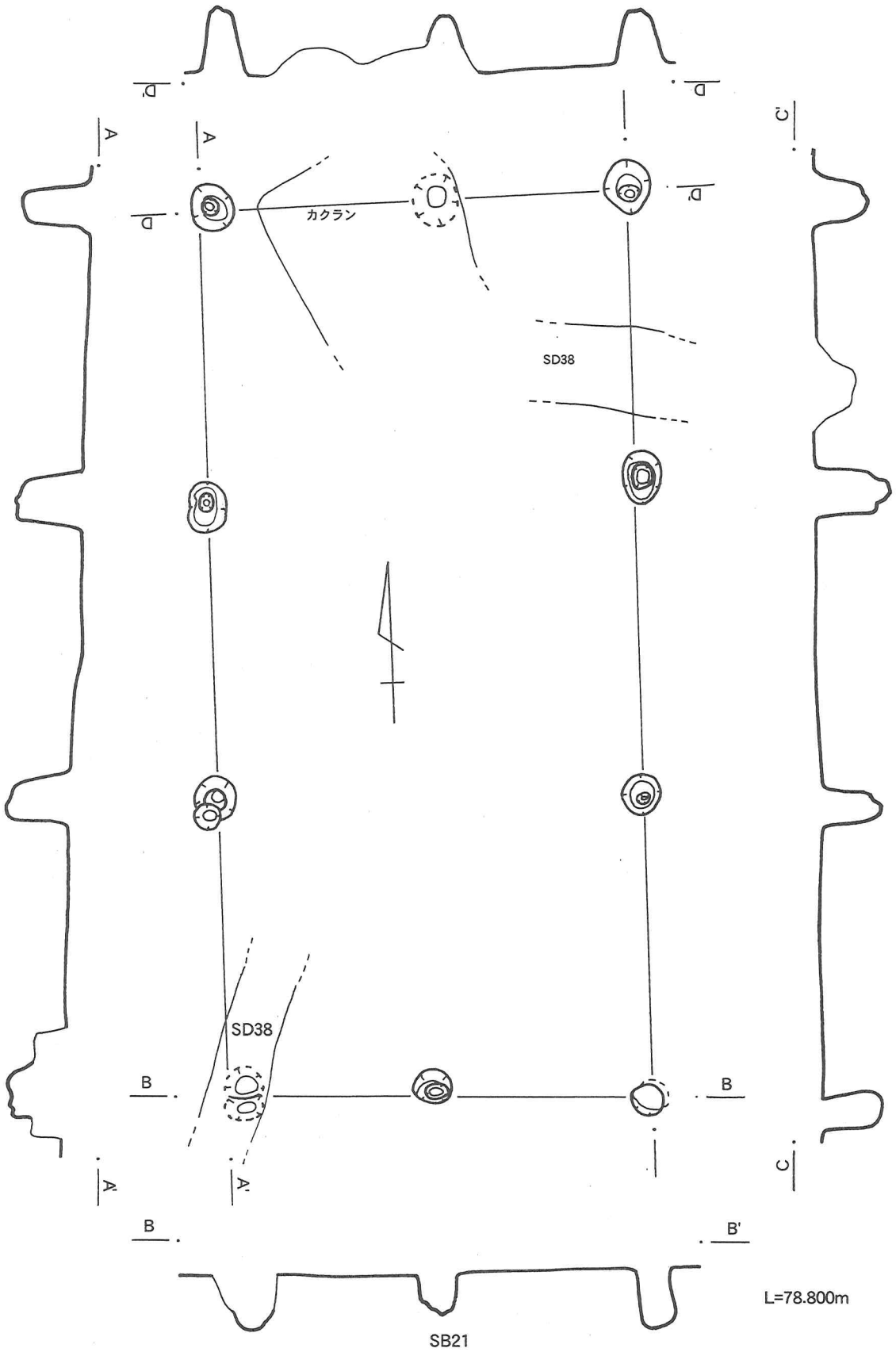
位置　Ⅲ次調査区。**平面形**　南北3.4m×東西4.2mのやや不整な長方形。**間数**　２間×２間。**方位**　N-10°-W　**遺物**　無。**備考**　５本の柱穴内で柱痕を確認。

SB24（第35図）

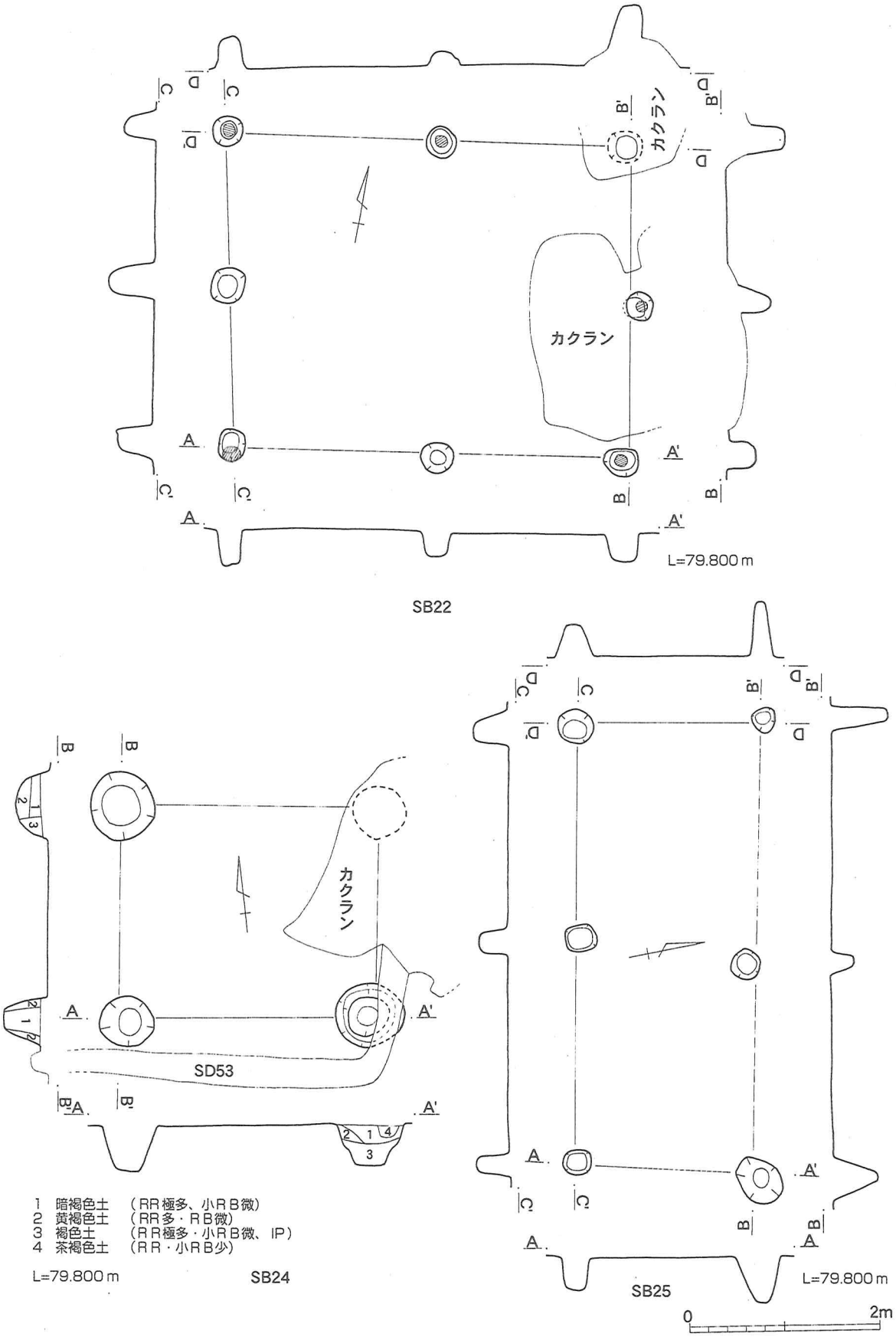
位置　Ⅲ次B区調査区。**平面形**　南北2.4m×東西2.4mの方形。**間数**　１間×１間。**方位**　N-7°-E　**遺物**　無。**備考**　ＳＤ５３と切り合う。

SB25（第35図）

位置　Ⅳ次調査区。**平面形**　南北1.9m×東西4.6mの長方形。**間数**　１間×２間。**方位**　N-12°-E　**遺物**　無。



第34図　Ⅲ・Ⅳ次調査区SB平・断面図（1）



第35図　Ⅲ・Ⅳ次調査区SB平・断面図(2)

3．溝状遺構

溝状遺構は、Ⅰ次調査で７条、Ⅱ次調査で16条、Ⅲ次調査で18条（Ⅱ次調査SD21は重複）が確認された。以下、各遺構について記す。

SD01（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　北東から南西方向に約53m、直線的にのびる。一部６mほど途切れる部分がある。**方位**　N-23°-E　**規模**　上幅１.0m、下幅0.2mの逆台形。　**深さ**　確認面から深さ30cm。**備考**　SD02とほぼ平行する。

SD02（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　北東から南西方向に約57m、直線的にのびるが、SD04との交差付近で一度クランクする。**方位**　N-23°-W　**規模**　上幅2.5m×下幅0.35mの薬研状を呈する。セクションの観察等から新旧２時期あることがわかる。**深さ**　確認面から深さは古い時期のものが1.1m、新しい時期のものが1.4mを測る。**遺物**　埋土中より鉄砲の玉が１点（第45図６）出土している。直径が1.2cm。

備考　SI01・SI03を切る。

SD03（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　北東から南西方向に約20m、直線的にのびるが、SD03 に切られているため、その前後は不明である。**方位**　N-18°-W　**規模**　上幅0.9mのU字形。**深さ**　確認面から深さ20cm。**備考**　SI02・SI03を切る。

SD04（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　東西方向に約30m直線的にのびる。**方位**　N-78°-W　**規模**　新しい時期の上幅0.3m×下幅0.15mのU字形のものと、古い時期の推定上幅0.4m×下幅0.2mのものがある。**深さ**　確認面から新しい時期のものが20cm、古い時期のものが10cmである。

SD05（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　SI03の南側でほぼ直角に曲がる。**規模**　上幅0.8m～1.0m。

SD09（第36図）

位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　南北方向に約13m直線的にのびる。**方位**　N-３°-W　**規模**　上幅0.5m。

SD10（第36図）

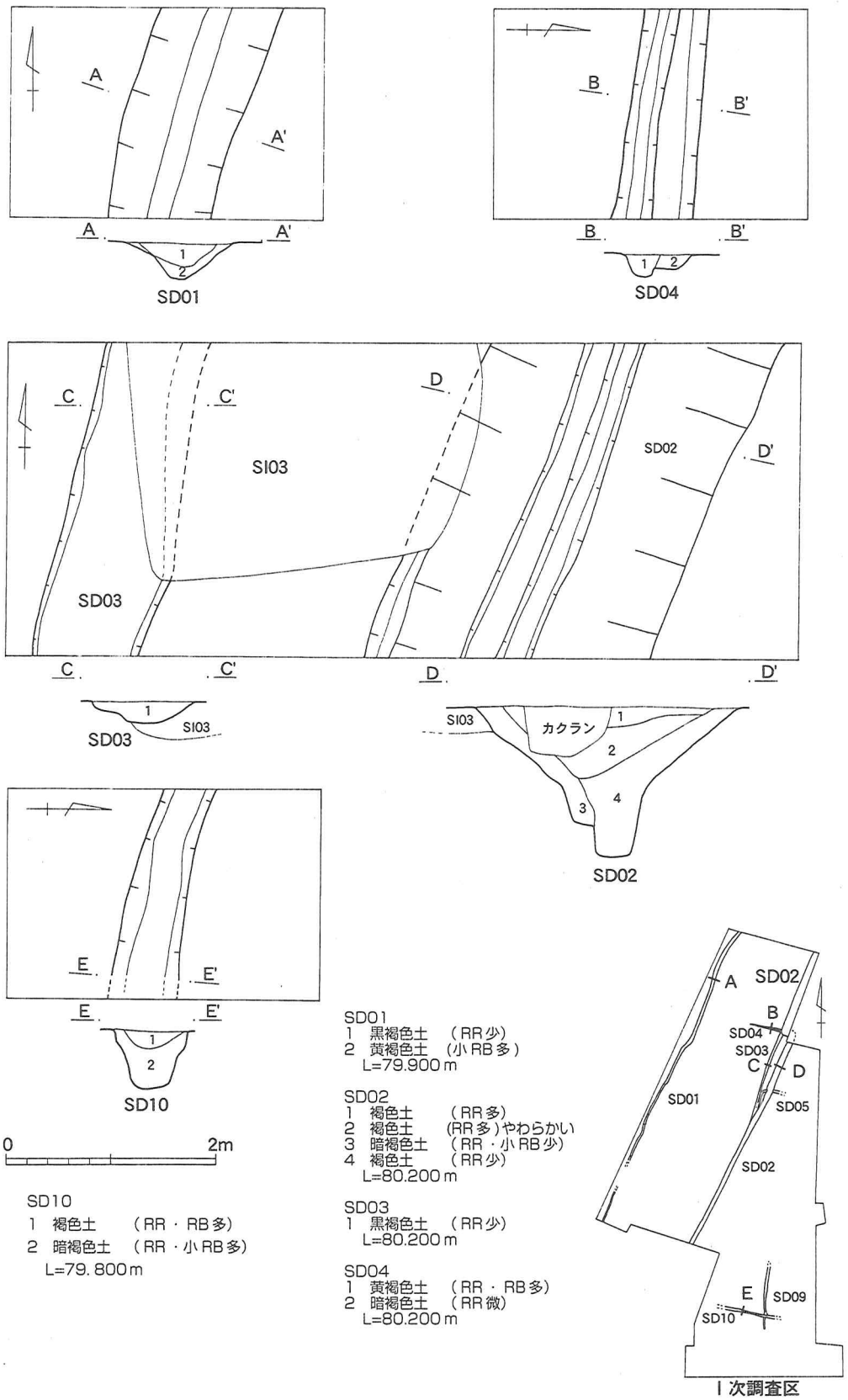
位置　Ⅰ次調査区。**平面形**　東西方向に約８m直線的にのびる。**方位**　N-80°-W　**規模**　上幅0.7m×下幅0.3mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ25cm。

SD20（第37図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-20°-W　**規模**　上幅2.0mのV字形。**深さ**　確認面から深さ40cm。**備考**　SD21とほぼ平行。

SD21（第37・43図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-6°-W　**規模**　上幅1.2m×下幅0.5mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ50cm。**遺物**　埋土中より土師器小型甕が１点（第45図３）出土している。寸法は底径が5.6cmで、器面の調整は、外面ヘラケズリ、内面ナデ。色調は淡褐色で胎土に砂粒、赤色スコリア粒を含む。



第36図 I次調査区SD平・断面図

SD22（第37図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-16°-W　**規模**　上幅0.35mのU字形。**深さ**　確認面から深さ10cm。

SD23（第38図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　東西方向に約30m直線的にのびる。**方位**　N-80°－E　**規模**　上幅0.5m×下幅0.2mのU字形。**深さ**　確認面から深さ30cm。**備考**　SD21を切る。

SD24（第38図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-14°-W　**規模**　上幅0.8m×下幅0.6mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ20cm。

SD25（第38図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-9°-W　**規模**　上幅0.4m×下幅0.2mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ30cm。

SD27（第40図）

位置　Ⅱ次C調査区。**平面形**　南北方向に約20m直線的にのびる。**方位**　N-5°-E　**規模**　上幅0.6m×下幅0.2mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ70cm。

SD28（第40図）

位置　Ⅱ次C次調査区。**平面形**　南北方向に約15m直線的にのびる。**方位**　N-5°-W　**規模**　上幅1.3m×下幅0.7mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ40cm。

SD30（第40図）

位置　Ⅱ次C次調査区。**平面形**　南北方向に約18m直線的にのびる。**方位**　N-18°－E　**規模**　上幅0.6m×下幅0.3mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ50cm。**備考**　SD31と平行する。

SD31（第40図）

位置　Ⅱ次C次調査区。**平面形**　南北方向に約12m直線的にのびる。**方位**　N-18°－E　**規模**　上幅0.8m×下幅0.2mの逆台形。**深さ**　確認面から深さ60cm。**備考**　SD30と平行する。

SD32（第37図）

位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　東西方向に約50m直線的にのびる。**方位**　N-18°－E　**規模**　上幅1.0m

SD33（第38図）

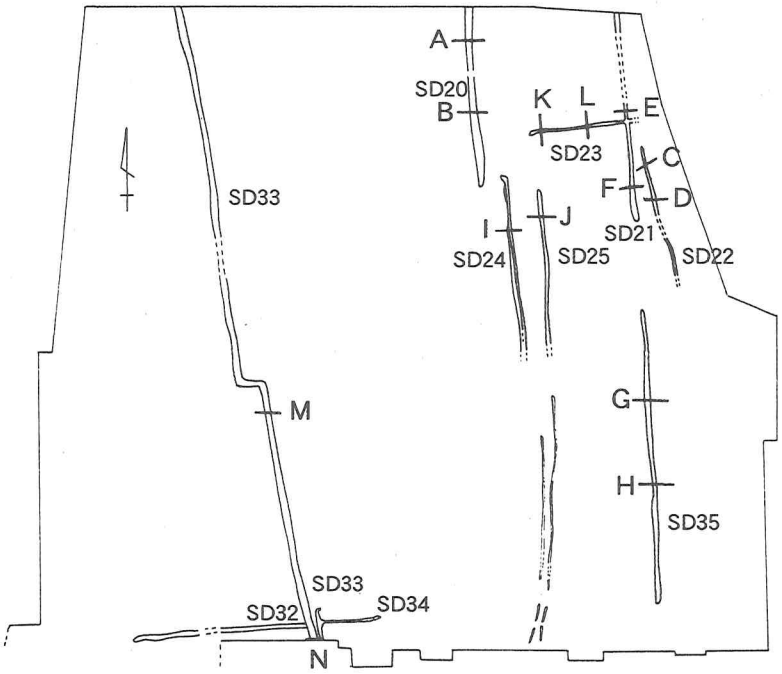
位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　北西から南東方向に約105m直線的にのび、調査区中央付近で一度クランクし、さらに南に約70mのびる。**方位**　N-11°-W　**規模**　上幅1.5～2.1のU字形。**深さ**　確認面から深さ30～50cm。　**遺物**　埋土中よりカワラケが1点出土している。寸法は、口径5.9cm、器高0.8cm、底径4.0cmでロクロ成形。底部の切り離しは回転糸切り。色調は褐色で胎土に砂粒を含む。ほぼ完形。

SD35（第37図）

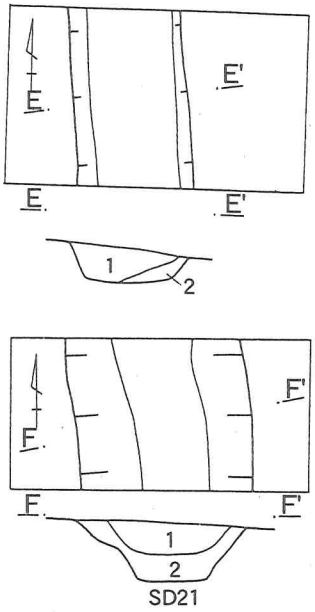
位置　Ⅱ次調査区。**平面形**　南北方向に約81m直線的にのびる。**方位**　N-4°-W　**規模**　上幅0.6～1.8mのU字形。**深さ**　確認面から深さ10～30cm。

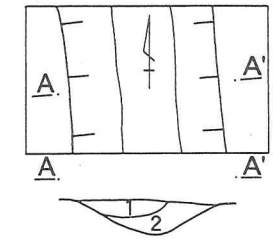
SD36（第39図）

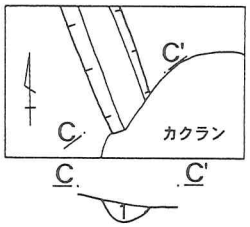
位置　Ⅱ次B調査区。**平面形**　南北方向に約15m直線的にのび、その後クランクし東に12m、さらにクランクし南に10mで途切れる。**方位**　N-11°-W　**規模**　上幅1.1～1.4m、下幅0.2～の0.6m。**深さ**　確認面から深さ30～50cm。

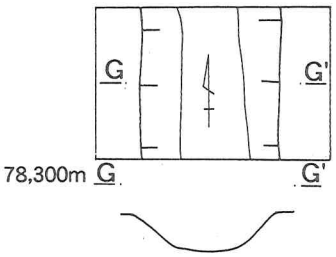


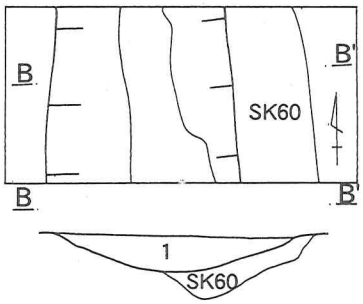
Ⅱ次調査区



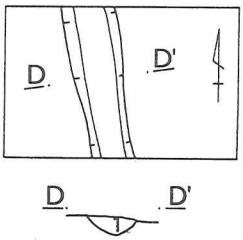




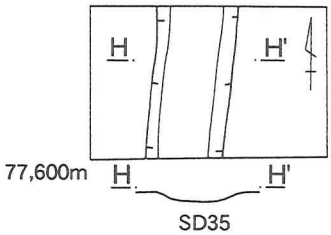




SD20



SD22



SD35

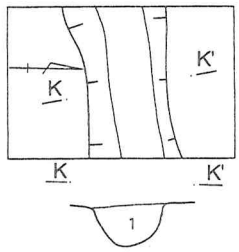
SD20
1　茶褐色土　（RR多）
2　黒褐色土　（RR多）
L=78.800 m

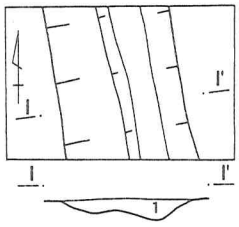
SD21
1　暗褐色土　（RR少）
2　暗黄褐色土（RR・RB少）
L=78.300 m

SD22
1　褐色土　（RR、RB微）
L=78.000 m

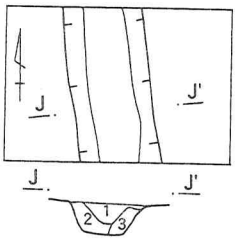
第37図　Ⅱ次調査区SD平・断面図(1)

0　2m

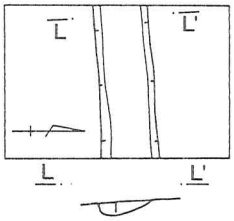




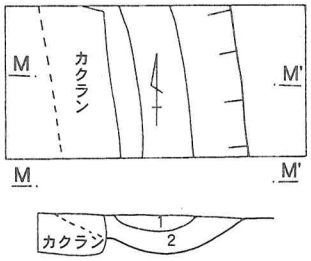
SD24

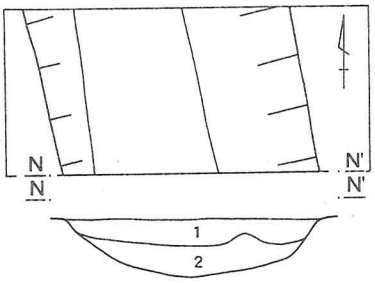


SD25



SD23





SD33

SD23
1　暗褐色土　（RR 極少・RB 少）
　L=78.500 m

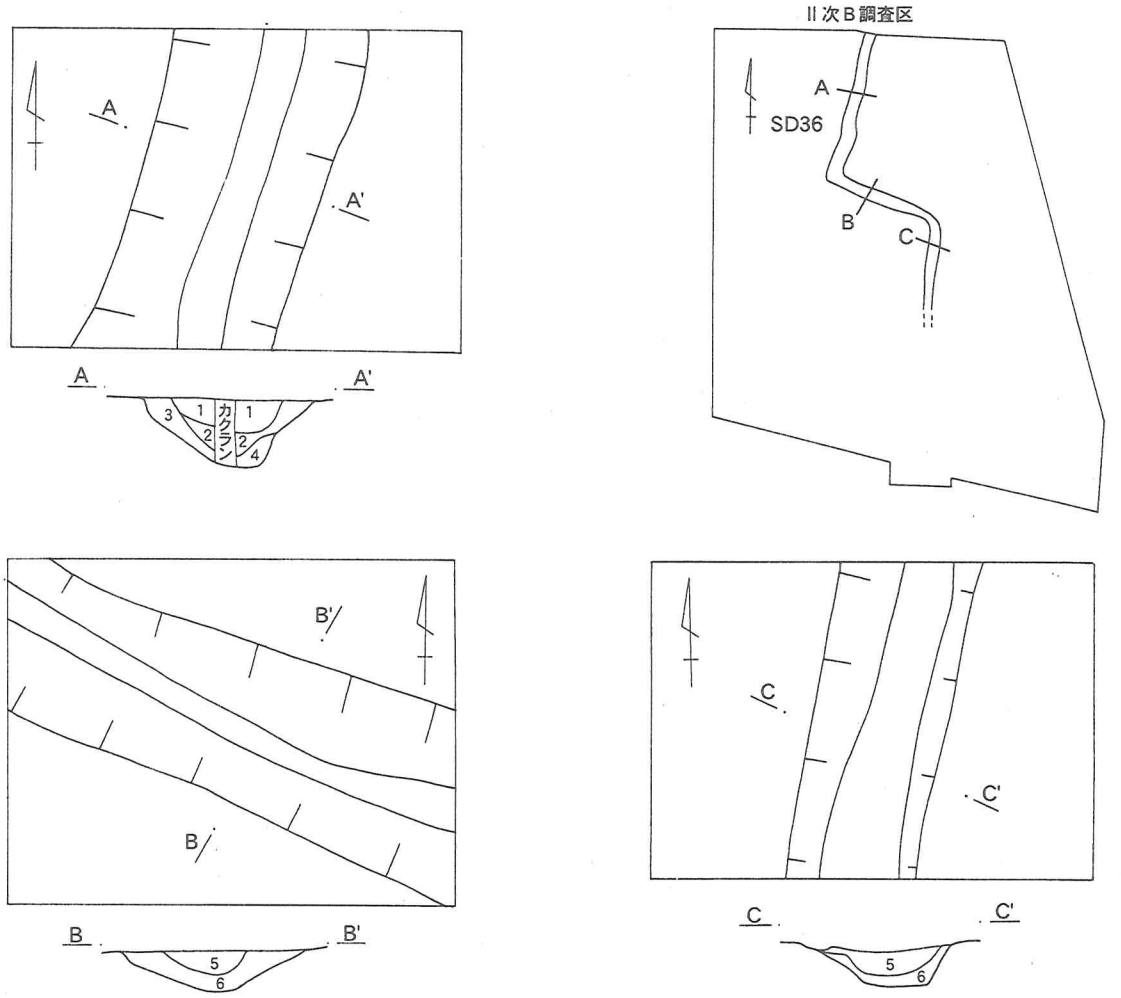
SD24
1　茶褐色土　（RR 多・RB 少）
　L=78.600 m

SD25
1　暗褐色土　（RR 少）
2　褐色土　　（RR やや多）
3　暗黄褐色土（RR 多・RB 少）
　L=78.600 m

SD33
1　明褐色土　（RR 少）
2　明褐色土　（RR やや多）
　L=78.800m

0　2m

第 38 図　II 次調査区 SD 平・断面図 (2)

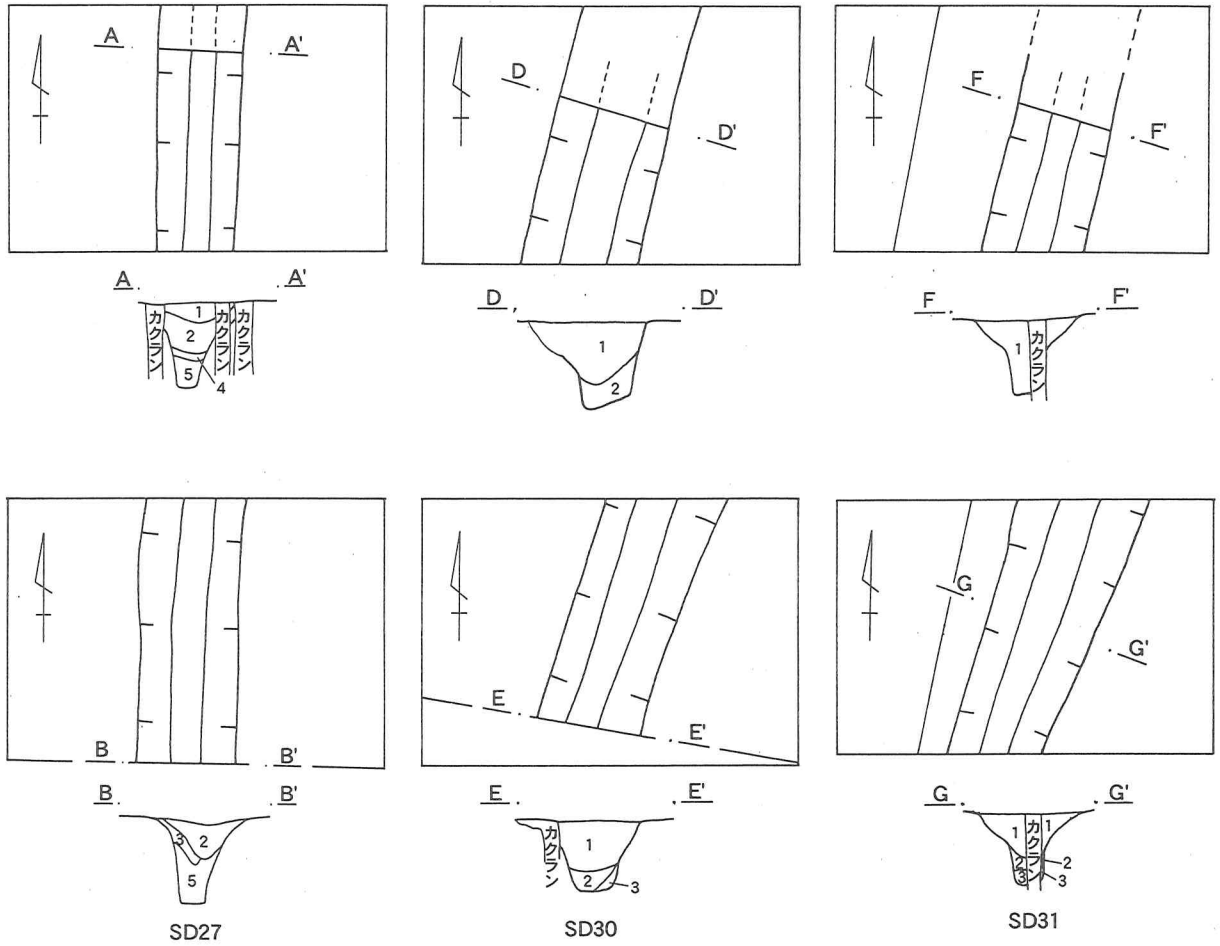


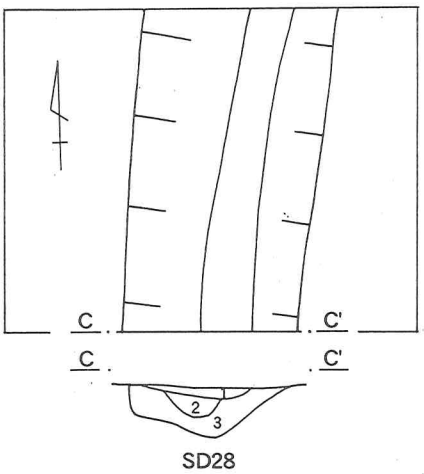
SD36

0　2m

SD36
1　茶褐色土　（RR微）
2　黒褐色土　（RR多・RB多）
3　茶褐色土　（RR多・RB少）
4　黒褐色土　（RR多・RB多）
5　赤褐色土　（RR多）
6　赤褐色土　（RR・RB少）
7　明褐色土　（RR多）
8　暗褐色土　（RRやや多）
L=71.100m

第39図　II次B区SD平・断面図





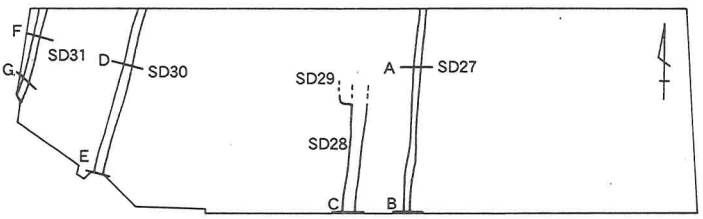
SD27
1　暗褐色土　（RR少・RB少）
2　黒褐色土　（RR多・IP微）
3　黒色土　（RR多）
4　黄褐色土　（RR主体）
5　黒褐色土　（RR極多・RB少）
L=79.700 m

SD28
1　暗褐色土　（RR多）
2　暗褐色土　（RR少）
3　褐色土　（RR極多・RB少）
L=80.100 m

SD31
1　暗淡褐色土（RR少・RB微・IP極微）
2　淡褐色土　（RR）
3　暗褐色土　（RR少）
L=79.700 m

SD30
1　暗淡褐色　（RR・RB少・IR極微）
2　暗淡褐色　（RR少・RB微）
3　淡褐色土　（RR少・RB微）
L=79.800 m

0　2m



Ⅱ次C調査区

第40図　Ⅱ次C区SD平・断面図

SD38（第41図）

位置　Ⅲ次調査区。平面形　東西方向に約60m直線的にのび、クランクして南北方向に約15mのびる。方位　N-20°-E　規模　上幅0.4～0.6m、下幅0.3mの逆台形。深さ　確認面から深さ20～30cm。備考　SD39に切られる。

SD39（第41図）

位置　Ⅲ次調査区。平面形　南北方向に約12m直線的にのびる。方位　N-16　°-E　規模　上幅1.5のU字形。深さ　確認面から深さ20～25cm。備考　SD38を切る。

SD41（第43図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　南北方向に約80m直線的にのびる。方位　N-5°-E　規模　上幅0.7～0.8mの逆台形。深さ　確認面から深さ60～80cm。遺物　埋土中より土師器坏が1点（第45図1）と須恵器高台付坏1点（第45図2）が出土している。1は、口径15.0cm、器高5.0cm、底径7.0cmで、器面の調整は、内面ヘラミガキで内面黒色処理。色調は褐色で胎土に砂粒を含む。2は底径15.8cmで、ロクロ成形後高台を付す。色調は灰褐色で胎土に砂粒を含む。備考　SD27と同一。SD21を切る。

SD43（第44図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　南北方向に約80m湾曲気味にのびる。方位　N-12°-E　規模　上幅0.5～0.7mのU字形。深さ　確認面から深さ10cm。

SD45（第44図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　東西方向に約20m直線的にのびる。方位　N-10°-W　規模　上幅0.4m、下幅0.3mのU字形。　深さ　確認面から深さ45cm。

SD46（第44図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　東西方向に約15m直線的にのびる。方位　N-0°-E　規模　上幅0.2mのU字形。深さ　確認面から深さ10cm。

SD47（第43図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　東西方向に約20m直線的にのびる。方位　N-5°-W　規模　上幅0.7～0.9mの逆台形。深さ　確認面から深さ30cm。

SD49（第43図）

位置　Ⅲ次B調査区。平面形　南北方向に約30m直線的のびる。方位　N-5°-W 規模 上幅1.6～1.8m、下幅0.5～の0.8m。深さ　確認面から深さ30cm。

SD50（第43図）

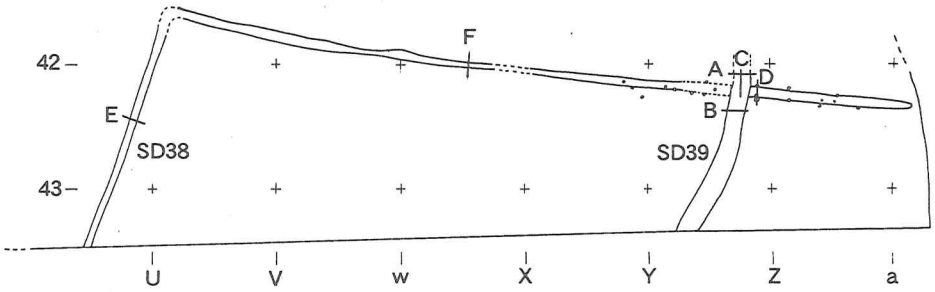
位置　Ⅲ次B調査区。平面形　東西方向に約10m、南北方向に約40mのL字形。方位　N-5°-W　規模　上幅0.9mのU字形。　深さ　確認面から深さ30cm。

SD51（第42・43図）

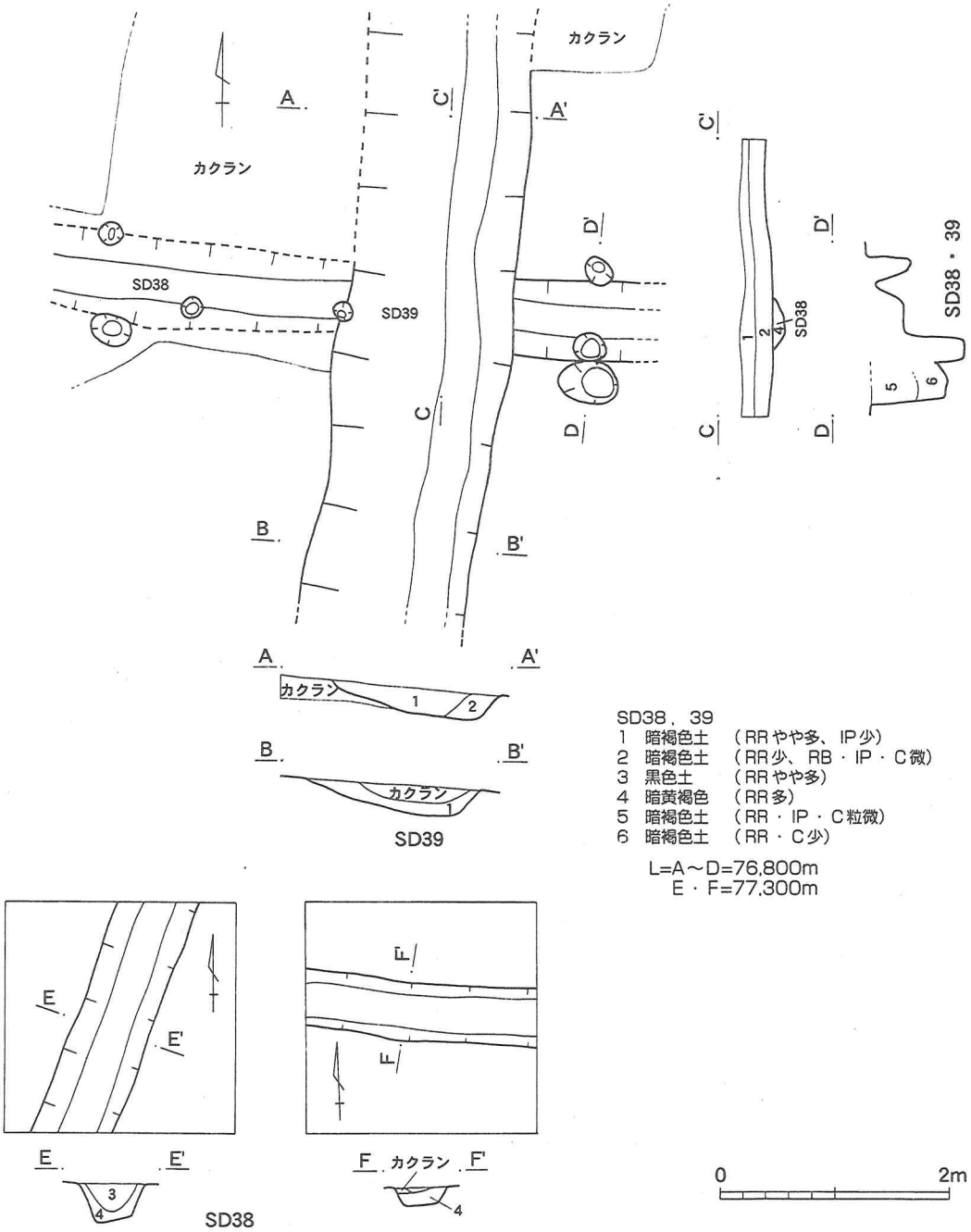
位置　Ⅲ次B調査区。平面形　南北方向に約50m直線的にのび、クランクし東に約40mのびる。方位　N-5°-W　規模　上幅1.2～2.2のU字形。深さ　確認面から深さ30～50cm。　遺物　埋土中より須恵器壺が1点（第45図4）出土している。寸法は底径10.8cmで、高台を付す。胴部外面下位に横方向のヘラケズリ。色調は暗灰色で胎土に砂粒を含む。備考　4号墳の周溝を切る。

SD52（第42図）

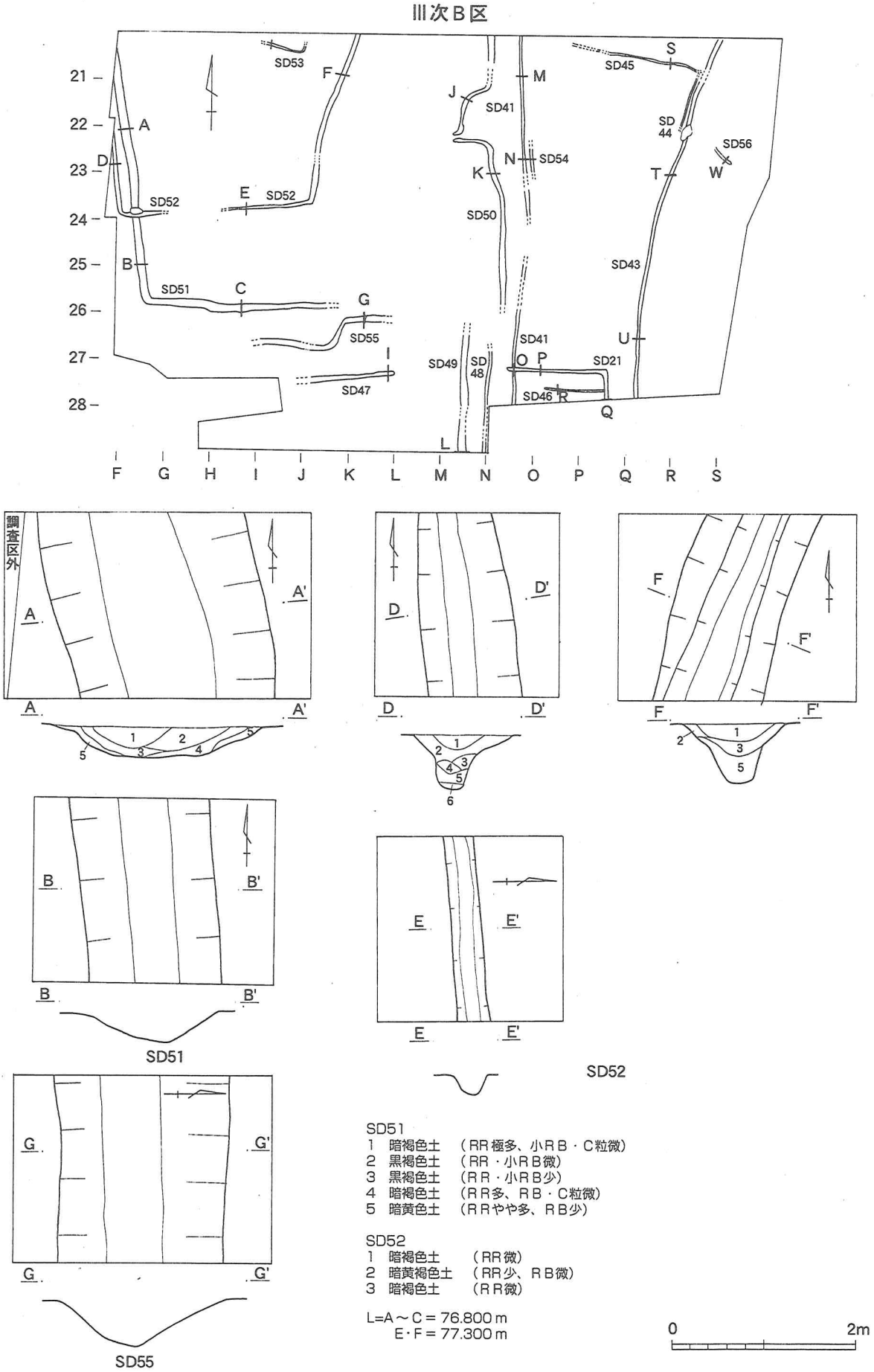
位置　Ⅲ次B調査区。平面形　北側が開放するコの字形の区画。南側の一部が途切れる。方位　N-5°-W 規模 上幅0.3～1.2m、下幅0.2mの逆台形。深さ　確認面から深さ20～60cm。



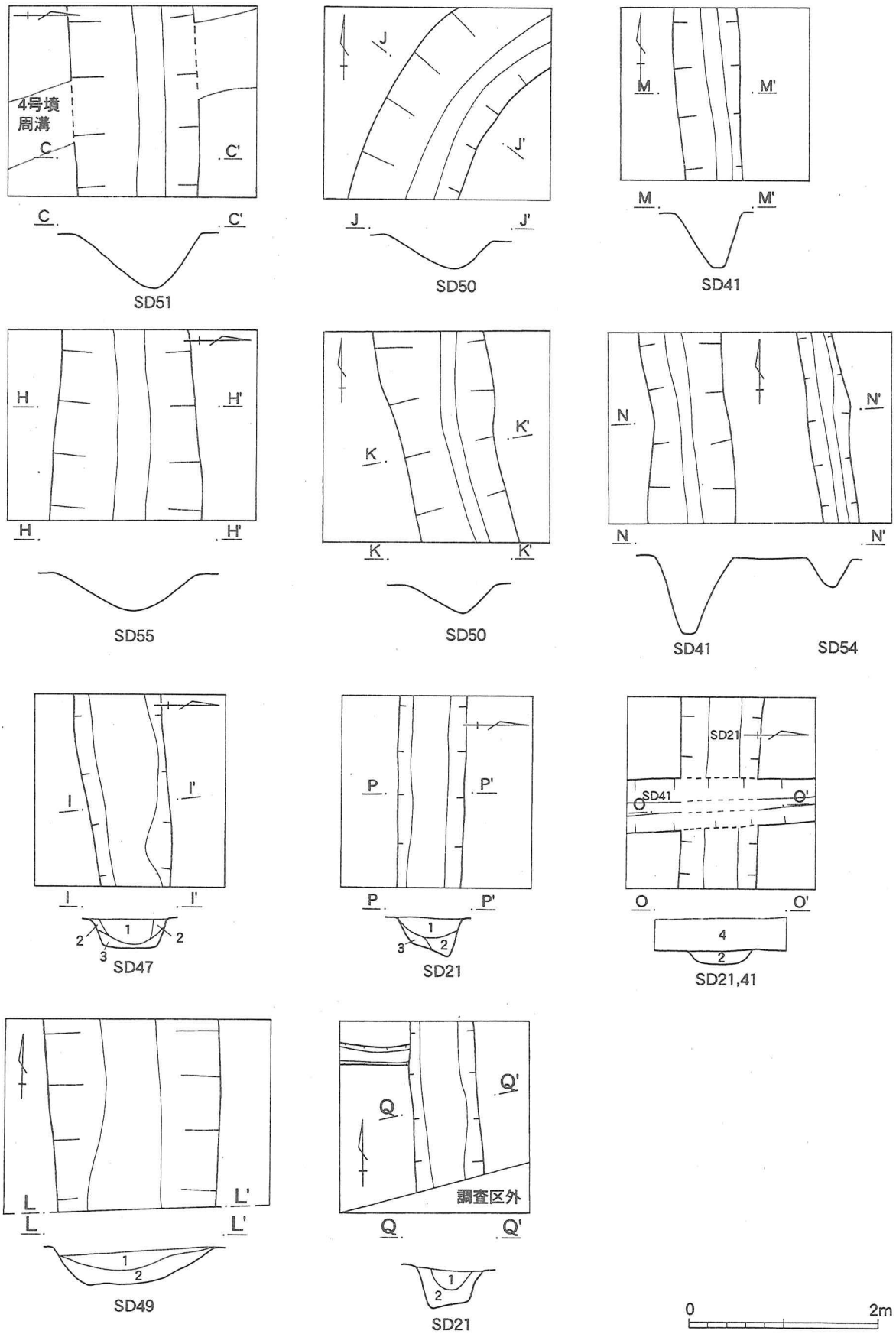
Ⅲ次調査 SD 全体図



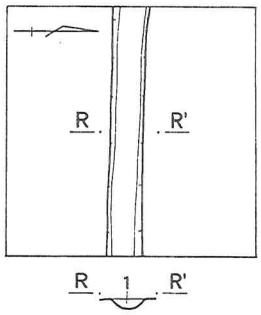
第 41 図　Ⅲ次調査区 SD 平・断面図



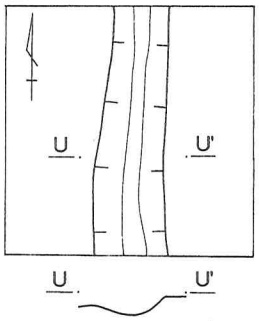
第42図　Ⅲ次B区SD平・断面図(1)



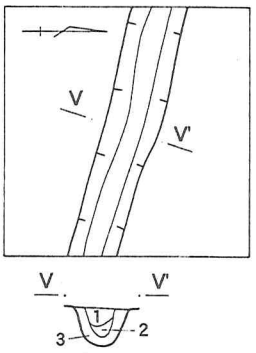
第43図　Ⅲ次B区SD平・断面図(2)



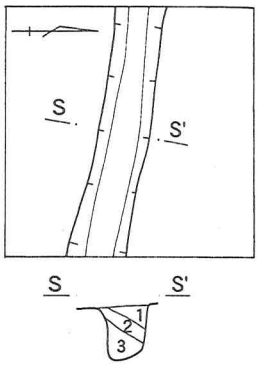
SD46



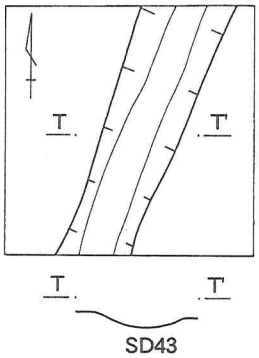
SD43



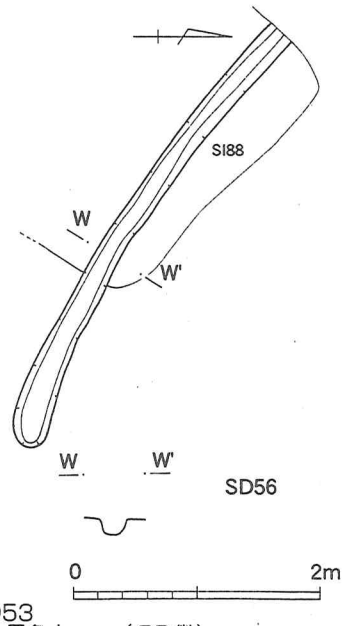
SD53



SD45



SD43



SD56

SD21、SD41
1　褐色土　（RR少、ＩＰ微）
2　黄褐色土　（RRやや多、ＲＢ微）
3　褐色土　（RRやや多、ＲＢ微）
4　暗褐色土　（RR多、小ＲＢやや多）
4　黒褐色土　（ＲＲ微）
5　暗黄褐色土　（ＲＲ多、ＲＢ少）
6　茶褐色土　（ＲＲ微）

SD45
1　黄褐色土　（RR多、ＫＰ微）
2　暗褐色土　（RR・ＫＰ微）
3　黄褐色土　（ＲＲ多、ＲＢ・ＫＰ少）

SD46
1　暗褐色土　（RRやや多ＲＢ微）

SD47
1　黒褐色土　（RR微）
2　暗褐色土　（RR少）
3　黒黄色土　（ＲＲ多、小ＲＢ微）

SD49
1　暗褐色土　（RR微）
2　黒色土　（RR多）

SD53
1　黒色土　（RR微）
2　黒褐色土　（RR極多、小ＲＢ微）
3　黒黄色土　（ＲＲ極多、ＲＢ少）

L＝R＝78.900ｍ
S＝78.700ｍ
T～V＝79.800ｍ
W＝75.700ｍ

第44図　Ⅲ次Ｂ区SD平・断面図(3)

SD53（第44図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区。平面形　東西約10m、南北約５ｍのＬ字形。方位　N-15°-E　規模　上幅0.4mのＵ字形。深さ　確認面から深さ30cm。

SD54（第43図）

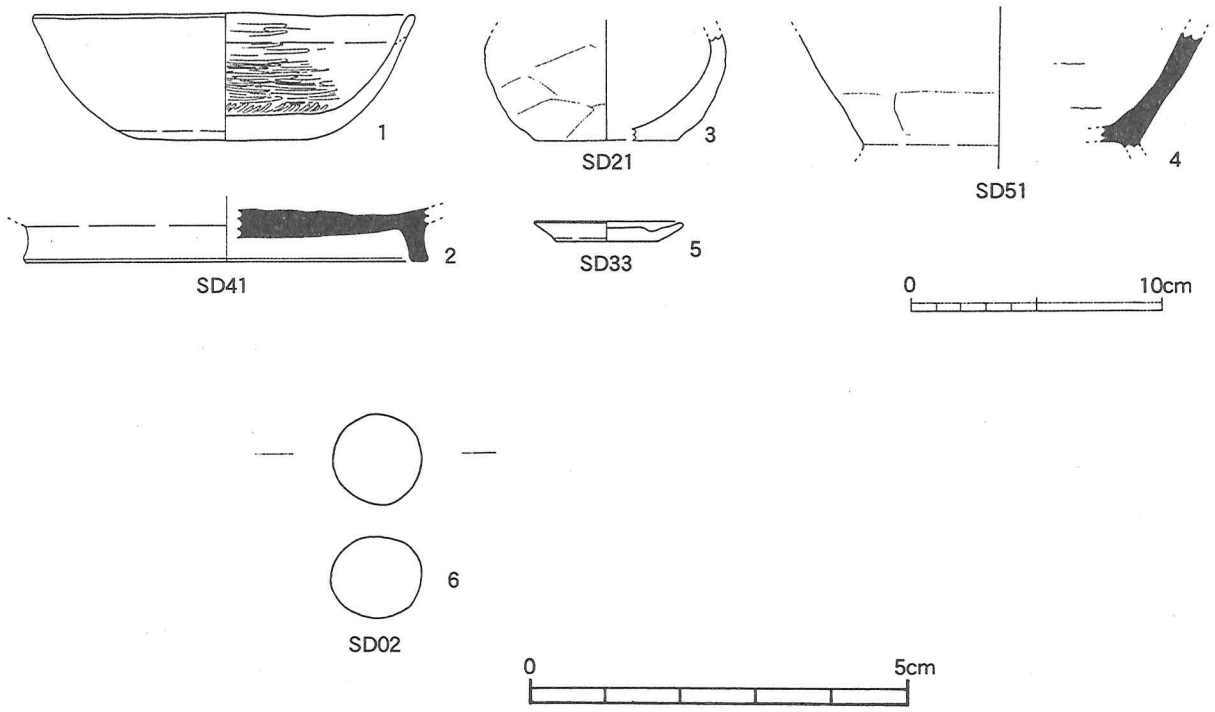
位置　Ⅲ次Ｂ調査区。平面形　南北方向に約10m直線的にのびる。方位　N-5°-E　規模　上幅0.4mのＶ字形。深さ　確認面から深さ30cm。

SD55（第42・43図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区。平面形　東西方向に約20m直線的にのび、2度クランクし約10m東にのびる。方位　N-５°-W　規模　上幅1.7m、下幅0.5m。深さ　確認面から深さ50cm。

SD56（第44図）

位置　Ⅲ次Ｂ調査区。平面形　北西から南東の方向に約10m。方位　N-60°-W　規模　上幅0.2mのＵ字形。深さ　確認面から深さ10cm。　備考　SI88を切る。



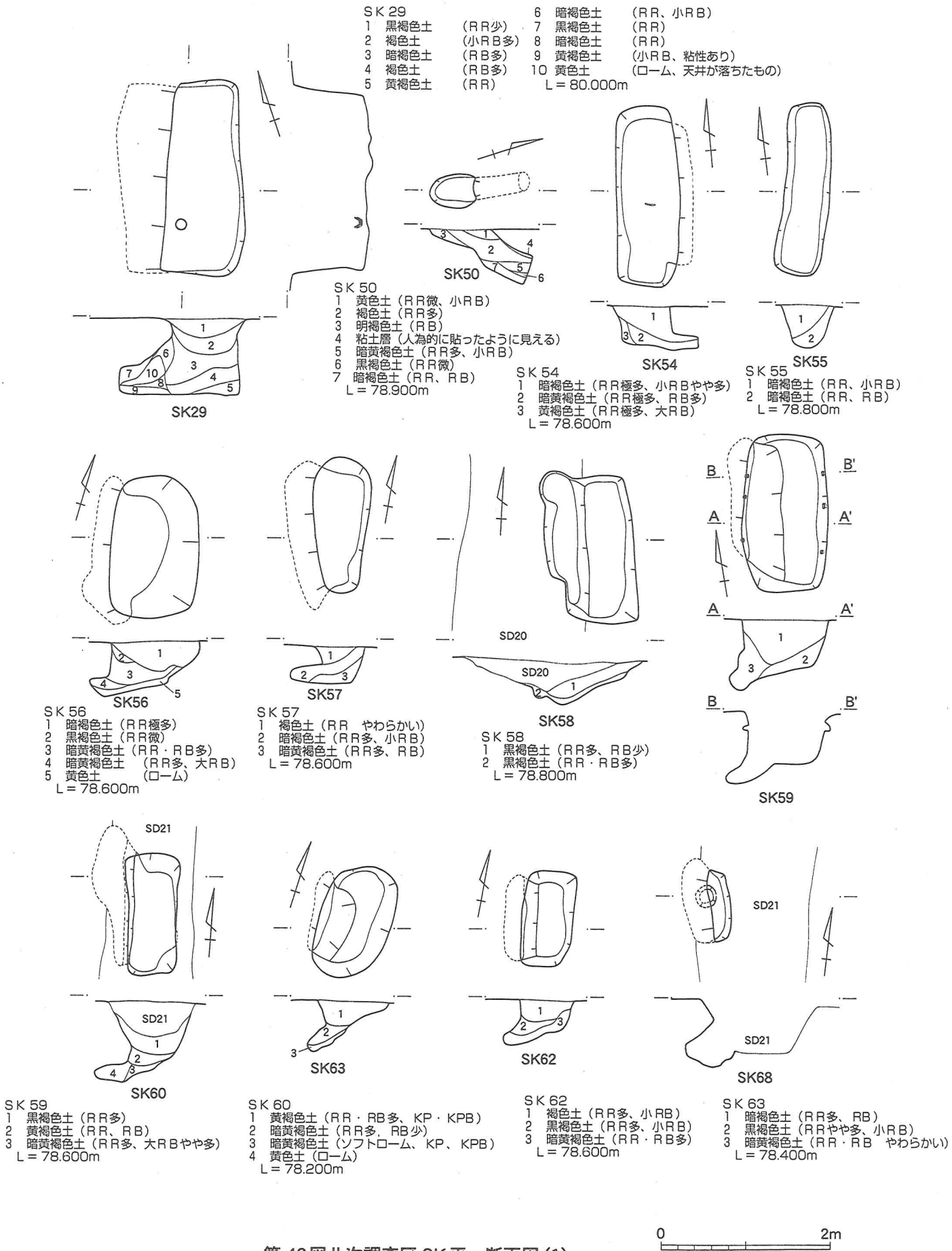
第45図　溝出土遺物実測図

4．土坑

土坑は、Ⅰ次調査区で１基、Ⅱ次調査区で24基、Ⅲ次調査区で23基が確認できた。その内、側壁抉込土坑が24基あり、出土遺物の中に須恵器の坏が含まれることから平安時代の墓坑と考えられる。各遺構の規模等については第８表のとおりである。

遺構名	調査次	出土位置	形態	長軸×短軸	深さ	方向	備考
SK29	Ⅰ	K - 35南東	長方形	2.3m × 0.8m	0.90m	N - 22 ° - E	L字土抗 カワラケが2枚重なって出土
SK50	Ⅱ	L - 35東	楕円形	0.8m × 0.46m	0.60m	N - 19 ° - E	
SK54	Ⅱ	L - 35南	長方形	2.1m × 0.75m	0.50m	N - 4 ° - E	
SK55	Ⅱ	N - 30北東	隅丸長方形	2.0m × 0.54m	0.50m	N - 12 ° - E	
SK56	Ⅱ	N - 31北	隅丸長方形	2.0m × 1.0m	0.56m	N - 13 ° - W	L字土抗
SK57	Ⅱ	O - 31西	隅丸長方形	1.6m × 0.6m	0.40m	N - 8 ° - W	L字土抗
SK58	Ⅱ	N - 32西	長方形	1.8m × 0.5m	0.55m	N - 8 ° - W	L字土抗 SD20に切られている
SK59	Ⅱ	O - 35北	長方形	1.8m × 1.0m	0.85m	N - 10 ° - E	L字土抗
SK60	Ⅱ	Q - 33北	長方形	1.4m × 0.6m	0.90m	N - 4 ° - W	L字土抗 SD21に切られている
SK61	Ⅱ	N - 31東	隅丸長方形	1.1m × 0.56m	0.50m	N - 5 ° - W	L字土抗
SK63	Ⅱ	P - 31東	楕円形	1.4m × 0.8m	0.60m	N - 3 ° - E	L字土抗
SK68	Ⅱ	N - 34北	楕円形	0.85m × 0.24m	0.85m	N - 18 ° - E	L字土抗 SD21に切り合い関係
SK87	Ⅱ	F - 41西	隅丸長方形	1.6m × 1.2m	1.00m	N - 8 ° - E	L字土抗
SK453	Ⅱ	L - 40南東	楕円形	1.4m × 1.3m	0.90m	N - 3 ° - E	SI36を切っている
SK455	Ⅱ	Q - 43北東	円形	1.3m × 1.2m	-	-	
SK456	Ⅱ	R - 41南西	隅丸長方形	1.4m × 1.0m	0.70m	N - 5 ° - E	L字土抗 SD35に切られている
SK601	Ⅱ	T - 40西	円形	0.9m × -	0.30m	-	
SK602	Ⅱ	T - 40西	円形	1.0m × 1.0m	0.20m	-	
SK603	Ⅱ	T - 40西	円形	0.92m × 0.9m	0.20m	-	
SK604	Ⅱ	F - 35北東	円形	1.1m × 1.0m	0.18m	-	
SK605	Ⅱ	F - 35東	円形	1.06m × 1.06m	0.25m	-	
SK607	Ⅱ	F - 35東	楕円形	1.2m × 1.0m	0.20m	N - 2 ° - E	
SK609	Ⅱ	F - 36南	楕円形	2.5m × 1.8m	0.60m	N - 1 ° - W	
SK610	Ⅱ	E - 36南東	円形	1.0m × 1.0m	0.20m	-	
SK801	Ⅱ	F - 40南東	隅丸長方形	1.8m × 1.1m	0.84m	N - 0 ° W	L字土抗 遺物有り
SK726	Ⅲ	S - 22南	隅丸長方形	0.6m × 1.44m	0.42m	N - 10 ° - W	L字土抗 1号墳周溝と切り合い関係
SK730	Ⅲ	N - 25西	隅丸長方形	1.18m × 2.04m	1.00m	N - 6 ° - W	L字土抗
SK731	Ⅲ	L - 38北西	隅丸長方形	0.73m × 1.36m	0.56m	N - 5 ° - W	L字土抗
SK732	Ⅲ	L - 27南東	隅丸長方形	1.6m × 2.64m	0.90m	N - 8 ° - E	L字土抗
SK733	Ⅲ	N - 28北東	隅丸長方形	0.99m × 1.88m	0.80m	N - 28 ° - E	L字土抗 SD48に切られている
SK734	Ⅲ	N - 24東	円形	1.3m × 1.25m	0.34m	-	
SK735	Ⅲ	N - 26北	隅丸長方形	1.12m × 5.28m	0.82m	N - 4 ° - E	L字土抗
SK737	Ⅲ	N - 20北	円形	4.2m × 3.84m	2.14m	-	有段土抗
SK738	Ⅲ	O - 22北東	楕円形	0.96m × 1.24m	0.70m	N - 11 ° - E	L字土抗
SK739	Ⅲ	L - 212西	隅丸長方形	0.72m × 1.6 m	0.64m	N - 13 ° - E	L字土抗
SK740	Ⅲ	L - 21北	円形	1.0m × 1.15m	0.30m	-	L字土抗
SK741	Ⅲ	M - 21北東	円形	0.9m × 0.86m	0.14m	-	
SK746	Ⅲ	L - 23北東	円形	0.88m × 0.76m	0.48m	-	
SK747	Ⅲ	J - 24南	長方形	0.8m × 1.76m	0.54m	N - 11 ° - E	L字土抗
SK748	Ⅲ	K - 26北東	隅丸長方形	0.64m × 2.21m	0.56m	N - 7 ° - W	L字土抗
SK751	Ⅲ	I - 29北東	楕円形	0.86m × 1.76m	0.48m	N - 22 ° - W	L字土抗
SK755	Ⅲ	L - 29北西	隅丸長方形	0.76m × 1.6m	0.34m	N - 16 ° - W	
SK769	Ⅲ	S - 21南	円形	1.88m × 1.86m	0.36m	-	
SK770	Ⅲ	S - 22北	長方形	2.04m × 2.12m	0.94m	N - 30 E	SK776と切り合い関係
SK771	Ⅲ	S - 22南	円形	1.13m × 1.28m	0.20m	-	
SK772	Ⅲ	R - 24南東	円形	0.55m × 0.65m	0.40m	N - 10 E	遺物有り
SK775	Ⅲ	R - 24北	楕円形	0.7m × 1.4m	0.75m	N - 21 E	
SK776	Ⅲ	S - 22北	円形	0.52m × 0.52m	2.24m	-	SK770と切り合い関係

第８表　SK一覧表（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ次調査区）



SK29
1 黒褐色土 (RR少)
2 褐色土 (小RB多)
3 暗褐色土 (RB多)
4 褐色土 (RB多)
5 黄褐色土 (RR)
6 暗褐色土 (RR、小RB)
7 黒褐色土 (RR)
8 暗褐色土 (RR)
9 黄褐色土 (小RB、粘性あり)
10 黄色土 (ローム、天井が落ちたもの)
L = 80.000m

SK50
1 黄色土 (RR微、小RB)
2 褐色土 (RR多)
3 明褐色土 (RB)
4 粘土層 (人為的に貼ったように見える)
5 暗黄褐色土 (RR多、小RB)
6 黒褐色土 (RR微)
7 暗褐色土 (RR、RB)
L = 78.900m

SK54
1 暗褐色土 (RR極多、小RBやや多)
2 暗黄褐色土 (RR極多、RB多)
3 黄褐色土 (RR極多、大RB)
L = 78.600m

SK55
1 暗褐色土 (RR、小RB)
2 暗褐色土 (RR、RB)
L = 78.800m

SK56
1 暗褐色土 (RR極多)
2 黒褐色土 (RR微)
3 暗黄褐色土 (RR・RB多)
4 暗黄褐色土 (RR多、大RB)
5 黄色土 (ローム)
L = 78.600m

SK57
1 褐色土 (RR やわらかい)
2 暗褐色土 (RR多、小RB)
3 暗黄褐色土 (RR多、RB)
L = 78.600m

SK58
1 黒褐色土 (RR多、RB少)
2 黒褐色土 (RR・RB多)
L = 78.800m

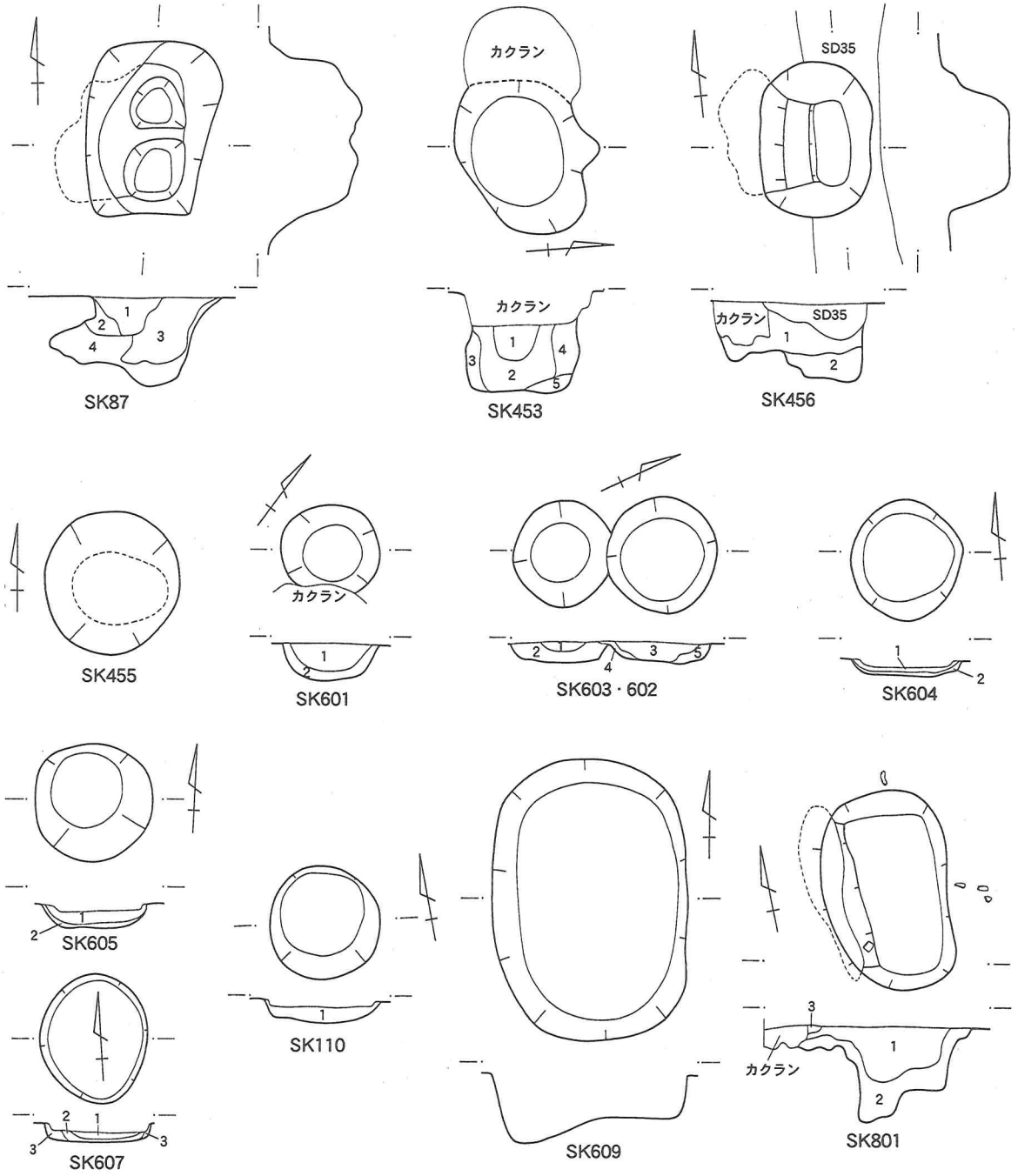
SK59
1 黒褐色土 (RR多)
2 黄褐色土 (RR、RB)
3 暗黄褐色土 (RR多、大RBやや多)
L = 78.600m

SK60
1 黄褐色土 (RR・RB多、KP・KPB)
2 暗黄褐色土 (RR多、RB少)
3 暗黄褐色土 (ソフトローム、KP、KPB)
4 黄色土 (ローム)
L = 78.200m

SK62
1 褐色土 (RR多、小RB)
2 黒褐色土 (RR多、小RB)
3 暗黄褐色土 (RR・RB多)
L = 78.600m

SK63
1 暗褐色土 (RR多、RB)
2 黒褐色土 (RRやや多、小RB)
3 暗黄褐色土 (RR・RB やわらかい)
L = 78.400m

第46図 II 次調査区 SK 平・断面図 (1)



SK 87
1 明褐色土（RRやや多）
2 黄褐色土（RR，小RB）
3 明褐色土（RR極多大RB少）
4 黄色土 （ローム主体）
L＝79.000m

SK 453
1 黒褐色土（SY、炭化物）
2 暗褐色土（RRやや多，RB少）
3 褐色土（RB小）
4 暗黄褐色土（RR極多、RB）
5 黒褐色土（RR、RB）
6 暗茶褐色土（RRやや多）
L＝78.500m

SK 456
1 黒褐色土（RR・RB少、IP微）
2 黒褐色土（RR、RB多、IP微）
3 黄褐色土（RB主体、RR・黒色土少）
L＝77.700m

SK 601
1 黒褐色土（RRやや多、RBやや少）
2 黒褐色土（RR多、RBやや多）
L＝77.800m

SK 602・603
1 黒褐色土（RR微）
2 黒褐色土（RR、RBやや多）
3 黒褐色土（RR・RB少、IP微）
4 黒褐色土（RR・RB少）
5 黄褐色土（RB主体、黒褐色土少）
L＝77.800m

SK 604
1 暗褐色土（RR・小RB少）
2 黄褐色土（RR微、RB多）
L＝79.300m

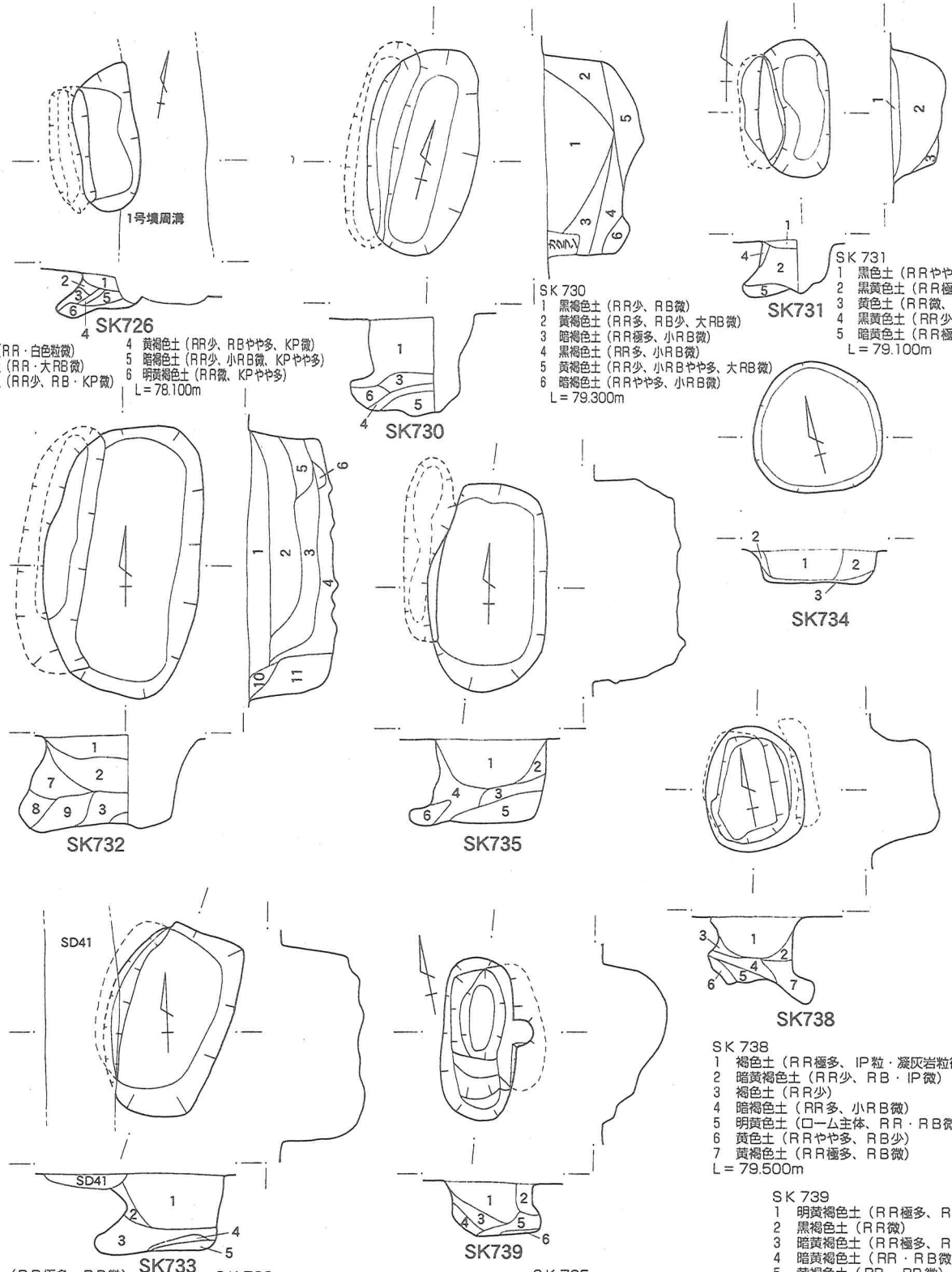
SK 605
1 暗褐色土（RR少、RB）
2 暗黄褐色土（RRやや多、RB）
L＝79.300m

SK 610
1 褐色土（RR多、IP微）
L＝79.300m

SK 801
1 黒褐色土（RR多、IP微）
2 黄褐色土（RR極多、RB少）
3 黒褐色土（RR少）
L＝79.000m

0 2m

第47図　II次調査区SK平・断面図(2)



SK 726
1 暗褐色土（RR・白色粒微）
2 暗黄褐色土（RR・大RB微）
3 暗黄褐色土（RR少、RB・KP微）
4 黄褐色土（RR少、RBやや多、KP微）
5 暗褐色土（RR少、小RB微、KPやや多）
6 明黄褐色土（RR微、KPやや多）
L＝78.100m

SK 730
1 黒褐色土（RR少、RB微）
2 黄褐色土（RR多、RB少、大RB微）
3 暗褐色土（RR極多、小RB微）
4 黒褐色土（RR多、小RB微）
5 黄褐色土（RR少、小RBやや多、大RB微）
6 暗褐色土（RRやや多、小RB微）
L＝79.300m

SK 731
1 黒色土（RRやや多）
2 黒黄色土（RR極多、RB少）
3 黄色土（RR微、RB少）
4 黒黄色土（RR少、RB微）
5 暗黄色土（RR極多、RB微）
L＝79.100m

SK 738
1 褐色土（RR極多、IP粒・凝灰岩粒微）
2 暗黄褐色土（RR少、RB・IP微）
3 褐色土（RR少）
4 暗褐色土（RR多、小RB微）
5 明黄色土（ローム主体、RR・RB微）
6 黄色土（RRやや多、RB少）
7 黄褐色土（RR極多、RB微）
L＝79.500m

SK 739
1 明黄褐色土（RR極多、RBやや多）
2 黒褐色土（RR微）
3 暗黄褐色土（RR極多、RBやや多、）
4 暗黄褐色土（RR・RB微）
5 黄褐色土（RR・RB微）
6 黄色土 （ローム主体）
L＝79.600m

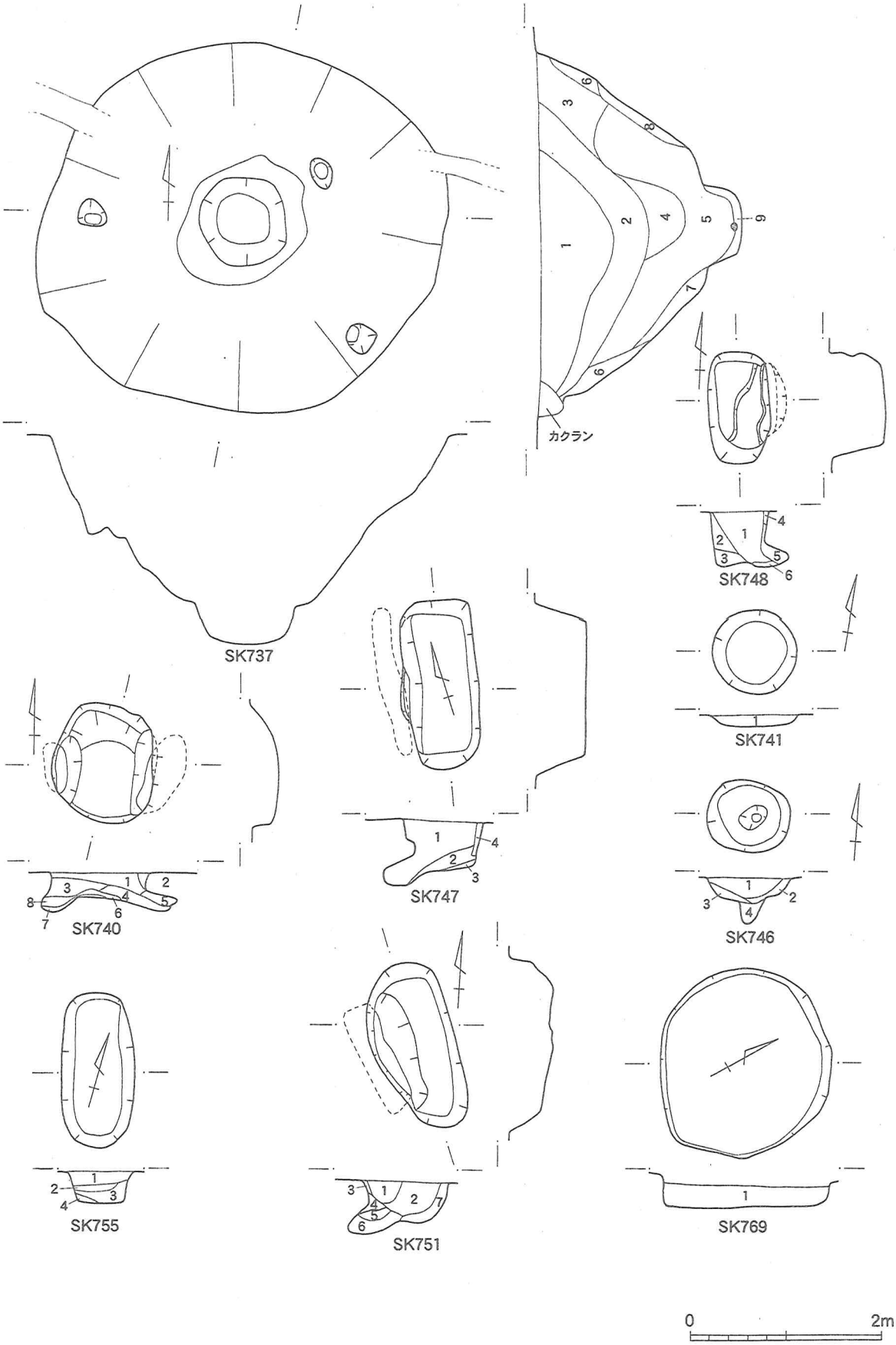
SK 732
1 黒褐色土（RR極多、RB微）
2 黒褐色土（RR多、RB微）
3 黒黄色土（RR極多、小RB少、IP微）
4 暗黄色土（RR多、RBやや多）
5 黒褐色土（RR極多、小RB微）
6 黒黄褐色土（RR多、RB少）
7 黄褐色土（RR多、RB少）
8 黄褐色土（RR多、大RB少）
9 明黄色土（RB極多）
10 暗褐色土（RRやや多、小RB少）
11 明黄色土（ローム主体）
L＝79.100m

SK 733
1 褐色土（RRやや多、小RB少）
2 暗褐色土（RR極多、RB・凝灰岩粒微）
3 暗黄褐色土（RR少、小RB微）
4 暗黄褐色土（RR極多、RB・大RB・IP微）
5 黒黄色土 （RR少、小RB微）
6 暗黄褐色土（RR多、大RB微）
L＝79.100m

SK 734
1 暗褐色土（RR・RB微）
2 褐色土（RRやや多、RB少）
3 黄褐色土（RR・RB微）
L＝79.300m

SK 735
1 暗褐色土（RR極多、凝灰岩粒微）
2 茶褐色土（RRやや多、大RB微）
3 黒黄色土（RR多、大RB微）
4 暗黄褐色土（RR極多、RB微）
5 黄褐色土（RRやや多、RB多）
6 黄色土（ローム主体）
L＝79.100m

第48図　Ⅲ次B区 SK平・断面図(1)



第49図　Ⅲ次B区SK平・断面図(2)

SK737
1　黒褐色土　（RRやや多、凝灰岩粒・C粒微）
2　茶褐色土　（RRやや多、凝灰岩粒・C粒微、KP少）
3　暗褐色土　（RR極多、凝灰岩粒・C粒・IP微）
4　暗褐色土　（RR少、KPやや多、凝灰岩粒微）
5　暗褐色土　（RR少、KPやや多、C粒微）
6　明褐色土　（RR極多、RB・大RB・凝灰岩粒微）
7　暗茶褐色土　（RR微、KP多、C粒微）
8　茶褐色土　（RR多、小RB・KP・C粒微）
9　明褐色土　（RR微、KP多）
L＝79.100m

SK740
1　黒褐色土　（RR・RB微）
2　暗黄褐色土　（RR・IP微）
3　黒黄色土　（RR多、小RB微）
4　黄褐色土　（RR微、小RBやや多、大RB微）
5　暗黄色土　（RR少、RB微）
6　黄褐色土　（RRやや多、RB微）
7　明黄色土　（ローム主体）
8　茶褐色土　（RR・小RB微）
L＝79.600m

SK741
1　黒褐色土　（RRやや多、小RB少）
L＝79.600m

SK746
1　暗褐色土　（RR・IP・KP・凝灰岩粒微）
2　褐色土　（RR・IP微）
3　黄褐色土　（RR・IP微、RBやや多）
4　黄褐色土　（RRやや多、IP微）
L＝79.300m

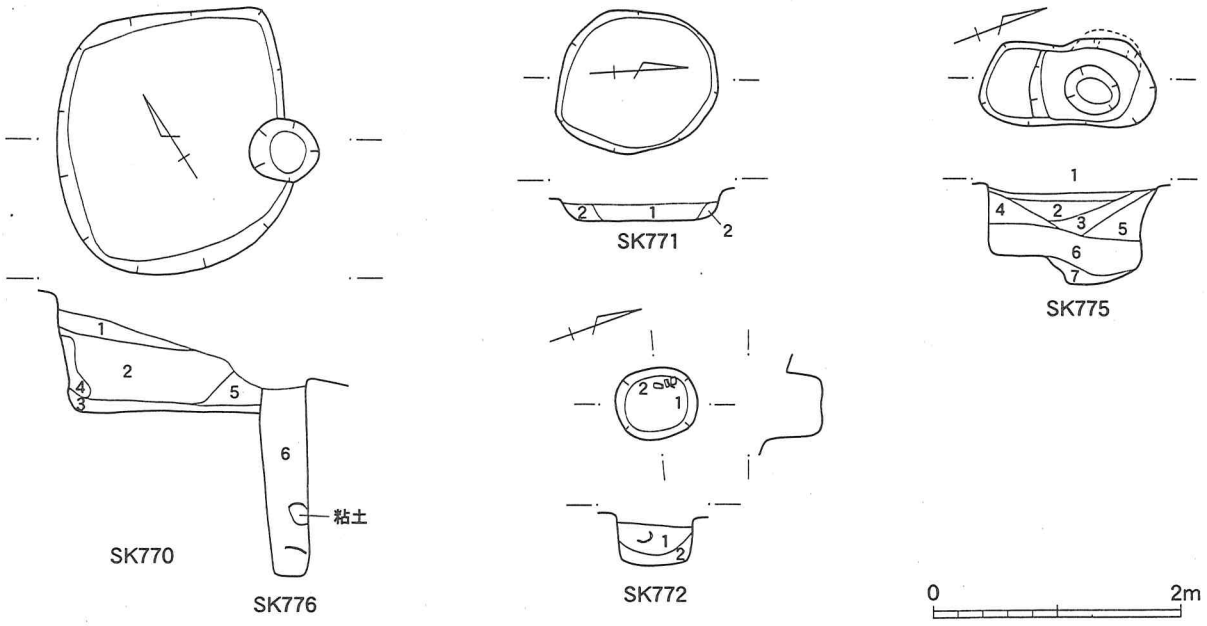
SK747
1　黒褐色土　（RR多、小RB微）
2　明黄褐色土　（ローム主体、RR・小RB少）
3　明黄色土　（ローム主体）
4　黄褐色土　（RRやや多、小RB微）
L＝79.500m

SK748
1　黒色土　（RRやや多、小RB少）
2　暗黄色土　（RRやや多、小RB微）
3　黄褐色土　（RR多、RB少）
4　黄色土　（RR・RB微）
5　黒褐色土　（RR多、小RB微）
6　褐色土　（RRやや多、RB微）
L＝79.200m

SK751
1　黒色土　（RR微）
2　黒褐色土　（RR極多、小RB少）
3　茶褐色土　（RR微）
4　暗黄褐色土　（RR多、RB少）
5　明黄褐色土　（RR微、RB少）
6　暗黄褐色土　（RR極多、RB微）
7　黄褐色土　（RR極多、RB少）
L＝79.300m

SK755
1　茶褐色土　（RR少、RB微）
2　明黄色土　（RR微、大RB少）
3　暗黄褐色土　（RR・RBやや多）
4　明黄色土　（ローム主体）
L＝79.100m

SK769
1　黄褐色土　（RR・RB極多、大RB少、IP微）
L＝76.400m



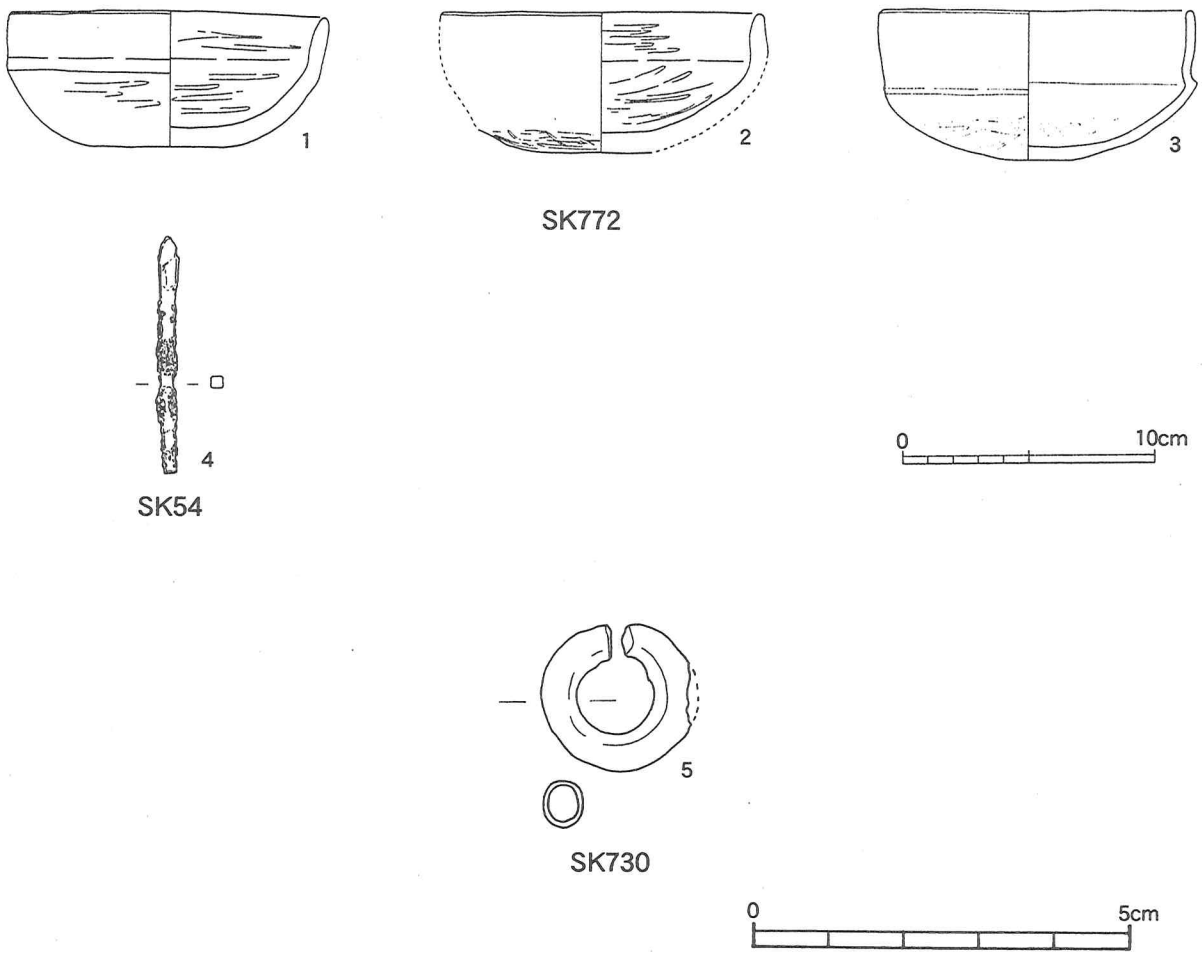
SK770・776
1　暗褐色土　（RRやや多）
2　暗褐色土　（RR極多、小RB・IP微）
3　黒褐色土　（RR少、RB微）
4　暗黄褐色土　（ローム主体）
5　黒褐色土　（RR多）
6　黒色土　（RR・RB微）
L＝76.700m

SK771
1　黒褐色土　（RR・RB・IP・C粒微）
2　黒褐色土　（RR少、KP・IP微）
L＝76.000m

SK772
1　黒色土　（RR微）
2　黒褐色土　（RR・小RB微）
L＝76.000m

SK775
1　褐色土　（RR・IP微）
2　暗褐色土　（RRやや多、小RB微）
3　暗褐色土　（RR極多、小RBやや多）
4　黒黄色土　（RR・RB・大RB少）
5　暗褐色土　（RR・小RB少、大RB・KP微）
6　暗黄褐色土　（RR・RBやや多、大RB・KP微）
7　黄褐色土　（ローム主体、KP少）
L＝77.100m

第50図　Ⅲ次B区SK平・断面図(3)



第51図　土坑出土遺物実測図

番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
		口径	器高	底径							
1	土師器坏	12.4	5.3	5.4		口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	SK772 埋土上層	ほぼ完形。内外面漆付着。
2	土師器坏	12.7	5.5			口縁部ヨコナデ、体部下半ヘラミガキ、体部内面ヘラミガキ。	暗褐色	赤色スコリア粒	良好	SK772 埋土上層	3/4残。内外面漆付着。
3	土師器坏	12.4	5.9		丸底。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、体部内面ヘラミガキ。	赤褐色	砂粒	良好	SK772 埋土中	3/4残。
4	鉄鏃	長さ：9.3　幅：0.5　厚さ：0.45　重さ：8.0						鉄製。		SK54 埋土中層	
5	耳環	幅：2.0　厚さ：0.05　重さ：2.0						青銅製。		SK730 埋土中	ほぼ完形。全体に鍍金。

第9表　土坑出土遺物観察表

5．井戸

井戸は、Ⅱ次調査区で４基、Ⅲ次調査区で１基が確認できた。この中でＳＥ04は最大で、掘立柱の区画施設内に位置する。また、開口部の四方に粘土が使われており、上屋構造との関連が想定される。

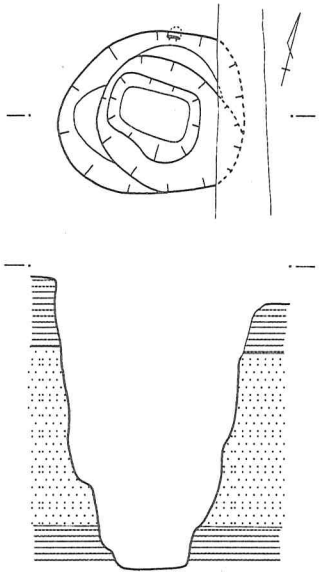
ＳＥ02とＳＥ03は区画外で、他の遺構がない空間地に位置する。尚、ＳＥ02、ＳＥ03、ＳＥ04のそれぞれの間隔は約50ｍである。

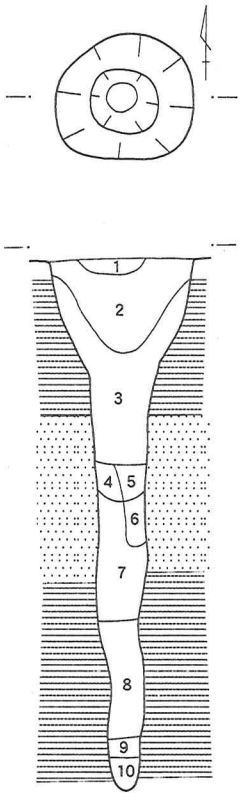
遺構の切り合いは、ＳＥ05がＳＩ90を切り、ＳＥ01がＳＤ22に切られているが、時期を特定する遺物は出土していない。

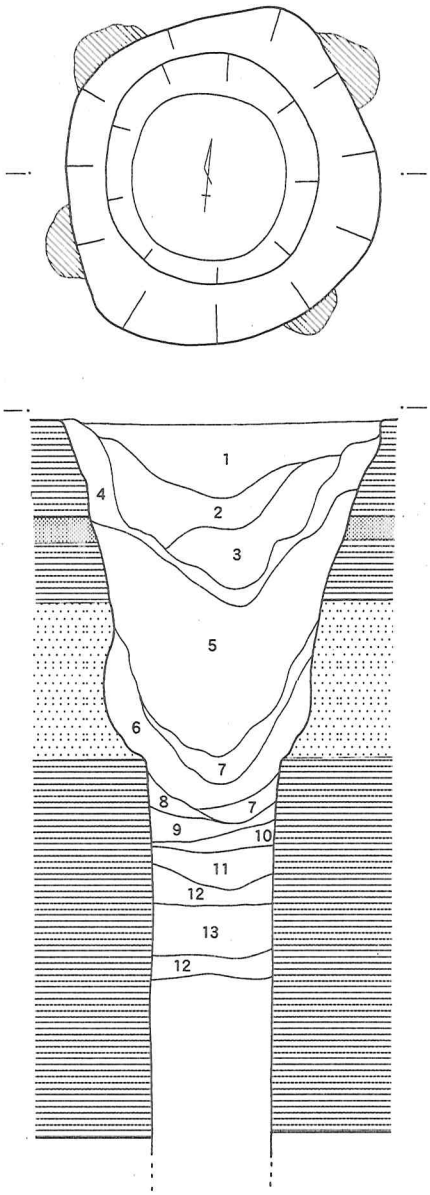
各遺構の規模等については第10表のとおりである。

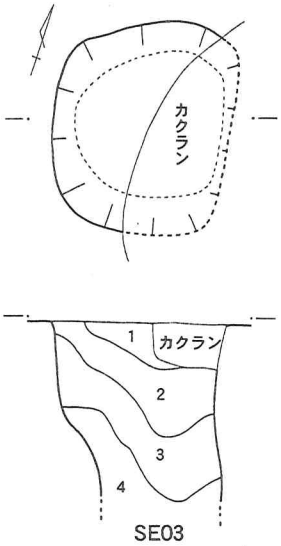
遺構名	調査次	出土位置	形態	長軸×短軸(m)	深さ(m)	方向	備考
SE01	Ⅱ	Q - 33南東	楕円形	(1.5) × 1.3	2.33	N - 15° - W	SD22に切られている
SE02	Ⅱ	J - 8北	円形	1.1 × 1.0	4.26	N - 3° - E	
SE03	Ⅱ	N - 38北北東	楕円形	1.72 × (1.4)	不明	N - 17° - W	撹乱に切られている
SE04	Ⅱ	G - 35南	楕円形	2.8 × 2.5	不明	N - 8° - W	四方に粘土が付着
SE05	Ⅲ	S - 21北東	円形	1.44 × 1.37	2.43	N - 15° - E	SI90を切っている

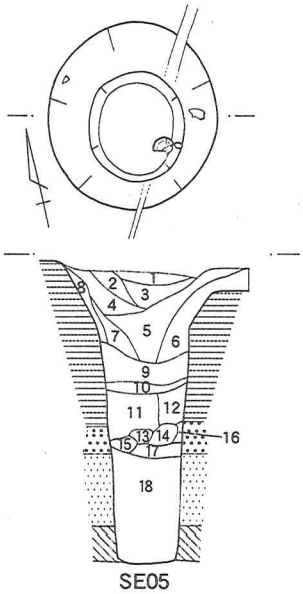
第10表　井戸一覧表











SE01
L=78.100m

SE02
1　暗褐色土　（RR微）
2　暗褐色土　（RR、RB少）
3　暗黄褐色土（RR、RB多）
4　茶褐色土　（KPB少）
5　黒茶褐色土（RRやや多、KPR小）
6　茶褐色土　（KP少）
7　茶褐色土　（KP微）
8　茶褐色土　（R主体、KP少）
9　灰黒褐色土（RR多、KPR少、砂粒含む）
L＝78.800m

SE03
1　黒褐色土（RR少、RB微、）
2　暗褐色土（RR多、RB少、KP微）
3　黄褐色土（RB主体、RR多、KP少）
4　黄褐色土（大RB、RR極多KP少）
L＝78.500m

SE04
1　黒褐色土　（RR少）
2　黒褐色土　（RR多、RB、KP少、IP微）
3　暗黄褐色土（RR、RB、KP多、IP微）
4　暗黄褐色土（RB主体、RR、KP極多）
5　黄褐色土　（RB主体、KP極多）
6　暗燈褐色土（KP主体）
7　茶褐色　（RB主体）
8　暗褐色土　（RR主体）
9　黄褐色土　（KT極多）
10　黄褐色土　（大RB極多）
11　茶褐色土　（粘土質のRB多）
12　黄褐色土　（KP主体）
13　黒褐色土　（粘質のRB黒色土）
L＝79.200m

SE05
1　暗褐色土　（RR多、小RB微）
2　黒褐色土　（RR微、火山灰少）
3　黒褐色土　（RR多、火山灰含む）
4　暗茶褐色土（RR微、小RB微）
5　暗茶褐色土（RR多、小RB少）
6　明黄褐色土（RR極多、小RB少）
7　黒黄色土　（RRやや多、大RB微）
8　黒黄色土　（RR極多、小RBやや多）
9　明黄色土　（ローム主体、RR多、小RBやや多）
10　黒色土　（RR多、RB、小RB微）
11　明黄色土　（ローム主体）
12　暗黄色土　（RR極多、小RB少）
13　黒色土
14　黄色土　（ローム主体）
15　茶褐色土　（RR微）
16　茶褐色土　（RR多、小RB少）
17　黄色土　（ローム主体、粘土少）
18　黄色土　（粘土）
L＝76.200m

…鹿沼層
…ブラックバンド
…ローム層
…粘土
…ローム・KP

0　2m

第52図　II・III次調査区SE平・断面図

6．古墳

古墳は、第Ⅲ次調査地区内で５基の円墳を確認した。何れも横穴式石室を持つことから後期古墳である。

（1）１号墳

位置

本古墳はⅢ次調査区の台地東側の緩斜面に位置する。この古墳群内では一番東に位置する。SD54に周溝西側が切られる。

墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、現状では古墳があることがわからなかった。周溝は円形にめぐるが、南側の墓道と周溝の連結部分が膨らみをみせる。周溝の内側立ち上がり部分で測った墳丘径は最大26.6m、最小26m、周溝外径は、最大33m、最小29mである。周溝の円の中心はほぼ横穴式石室奥壁の位置である。

周溝幅は、最大が南側で５m、最小が東側で0.7m、確認面からの深さは、0.2～0.6mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は、自然堆積で、大きく３層に分けられる。

墓道と周溝の連結部付近では、閉塞石や玄門等に使用されたと思われる凝灰岩や川原石が散乱し出土している。

埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室及び羨道部に川原石を使用しているが、１段～２段しか残存せず、玄門付近と羨道西側側壁が抜き取られている。石室の方位はN－4°－Eで、ほぼ南向きに開口する。

玄室と羨道

掘り方は、南北3.9m、東西3.76mの長方形で、確認面からの深さは約80cmである。石室の全長は2.24m、幅1.1mである。天井石や梱石が抜き取られ、側壁も数段残存する程度で、残りはあまりよくない。羨道西側の石が抜き取られている。

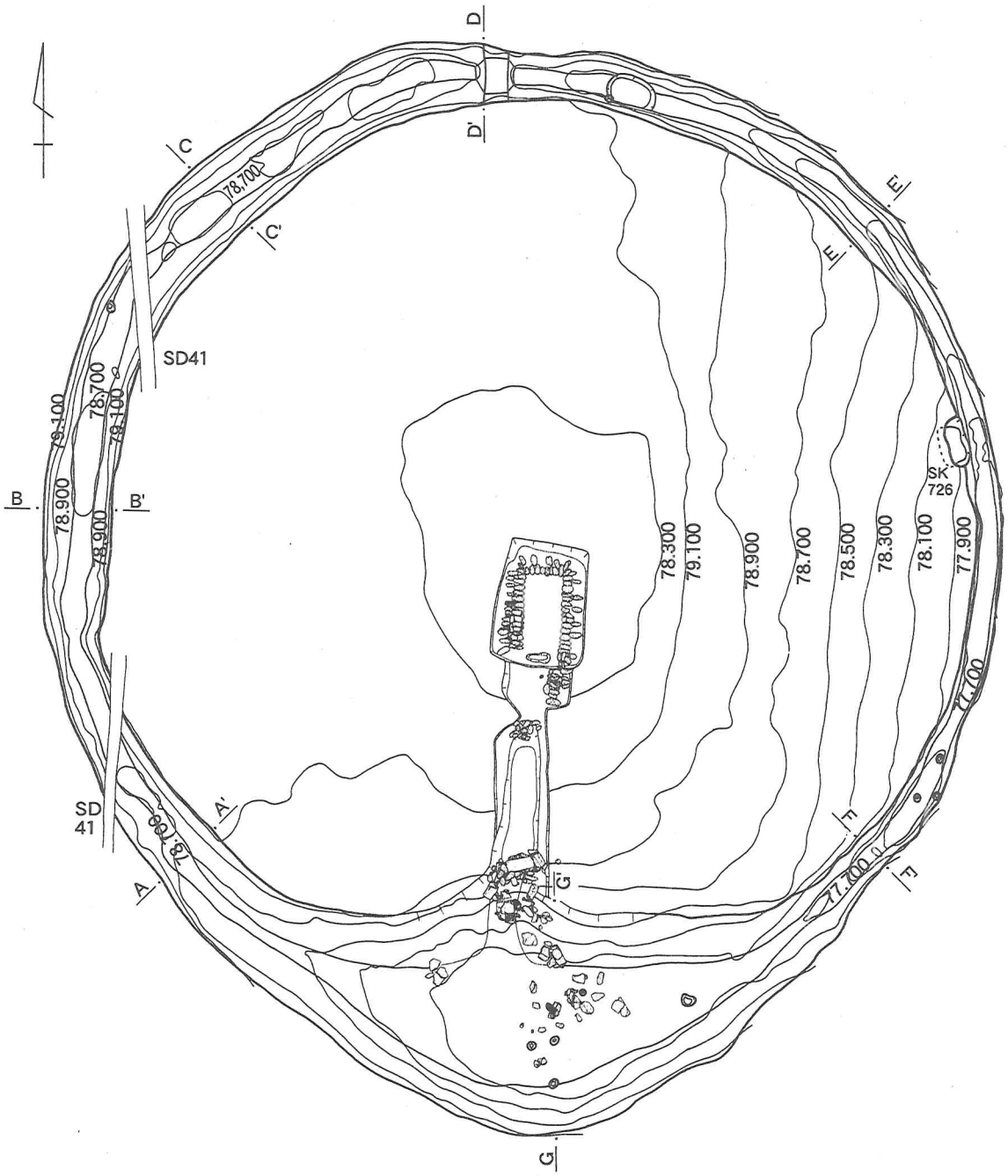
また、玄室と羨道には50cmの段差を有し、確認面からの羨道の深さは30～40cmである。

墓道

墓道は、ほぼ直線的に伸び、南に向かって緩やかに傾斜する。閉塞石は、羨門部と、墓道と周溝部との境に見られるが、後者は川原石の他に、框石や方立石のような凝灰岩が散乱することから、後世に石室の一部が破壊され、投げ捨てられた状態の可能性も考えられる。墓道幅は1.6m、確認面からの深さは約40～50cmである。

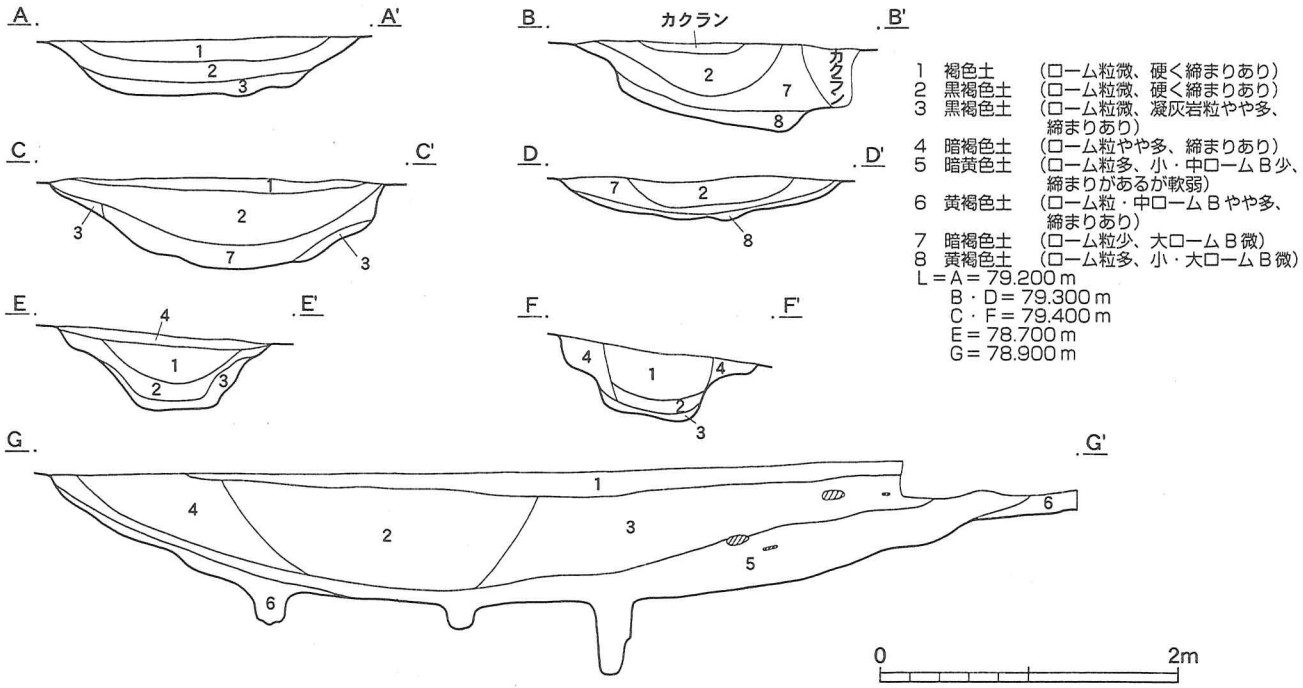
出土遺物

第64図２の灰釉陶器碗１点、３の須恵器短頸壺１点、４の錫杖状鉄製品１点、５の刀子１点、６の鉄鏃１点が出土している。灰釉陶器碗は、口径15.8cm、底径7.2cm、器高4.5cm。ロクロ成形で、体部が内湾気味に立ち上がる。周溝埋土下層より出土しているが、この器形より平安期のものと考えられ、後世の混入もしくは祭礼に関する遺物と思われる。須恵器短頸壺は、口径9.8cmで、口縁部が短く立ち上がる。周溝埋土中より出土し、２号墳及び４号墳出土の破片と接合した。錫杖状鉄製品は、現存長12.5cm、頭部幅5cm、本体部幅1.8cm、厚さ0.15cmで、頭部が左右2つに分かれ、環状になり、羊角状を呈する。断面は扁平で板状である。玄室内、羨道部、周溝内よりバラバラに出土している。刀子は推定長11cm、最大幅1.4cmで、周溝南側埋土中より出土している。鉄鏃は、現存長４cm、鏃身長2.4cm、鏃身幅1.8cmの有茎鏃である。羨道部内より出土している。

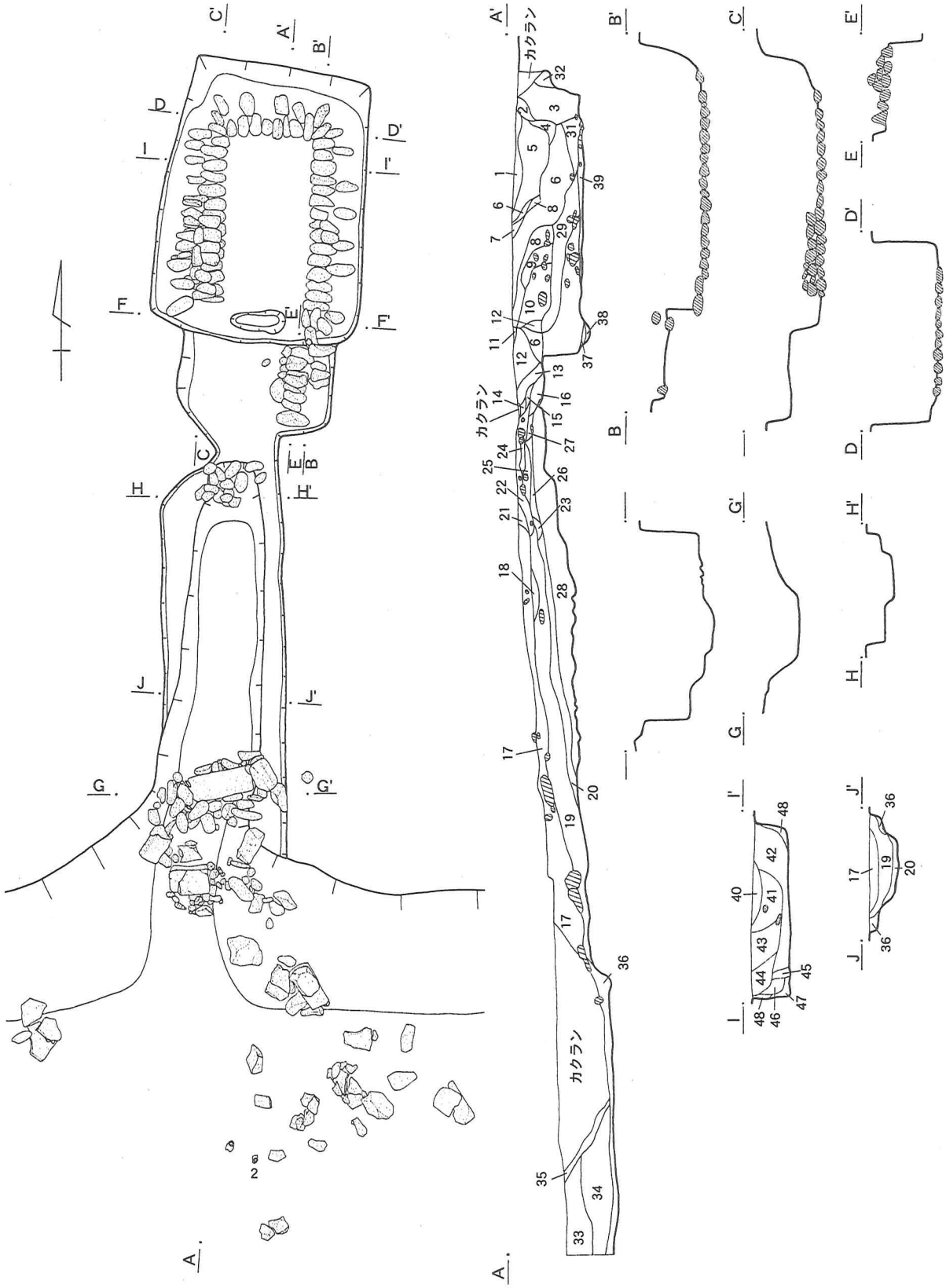


第53図　Ⅰ号墳平面図

0　10m



第 54 図　Ⅰ号墳周溝断面図



第55図　1号墳主体部平・断面図

0　2m

1　黄褐色土　（ローム粒やや多、中・大ロームＢ微）
2　黄色土　（ローム粒・小・中ロームB少、凝灰岩粒）
3　明黄色土　（ローム粒少、小・中ロームB多）
4　暗褐色土　（ローム粒多、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒少）
5　暗黒色土　（ローム粒極多、小ロームB微、凝灰岩粒少、粘土粒多）
6　暗褐色土　（ローム粒極多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒微）
7　褐色土　（ローム粒多、粘土粒・炭化物粒微）
8　灰黄褐色土　（ローム粒極多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒やや多、中ロームB少）
9　明褐色土　（ローム粒多、凝灰岩粒・炭化物粒微、粘土粒少）
10　暗褐色土　（ローム粒少、凝灰岩粒微、粘土粒やや多）
11　褐色土　（ローム粒極多、凝灰岩粒・粘土粒微）
12　明灰褐色土　（ローム粒少、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多）
13　明灰褐色土　（ローム粒・小・中粘土B少、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒極多）
14　暗灰褐色土　（ロームB粒・凝灰岩粒・粘土粒微）
15　灰黒褐色土　（ローム粒・小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒・粘土B微）
16　灰黄褐色土　（ローム粒・小ロームB少、粘土粒多）
17　褐色土　（ローム粒・粘土粒微、凝灰岩粒少）
18　暗褐色土　（凝灰岩粒やや多）
19　暗褐色土　（ローム粒・凝灰岩粒微、粘土粒少）
20　暗黄色土　（ローム粒多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒・粘土B微）
21　灰褐色土　（ローム粒微、凝灰岩粒やや多、小凝灰岩粒B・粘土粒少）
22　暗灰褐色土　（小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多）
23　暗黄色土　（ローム粒・小ロームB少、凝灰岩粒微）
24　灰黄色土　（小ロームB微、粘土粒・小粘土B少）
25　暗灰黄色土　（ローム少、粘土粒微、粘土塊含）
26　暗褐色土　（ローム粒・小ロームB微）
27　灰黄色土　（ローム主体、粘土B含）
28　暗褐色土　（ローム粒微）
29　暗黄褐色土　（ローム粒・粘土粒・小粘土B・凝灰岩粒少、小ロームBやや多）
30　灰黒色土　（ローム粒・粘土B少、小ロームB微、凝灰岩粒・粘土粒やや多）
31　暗灰黄色土　（ローム粒・粘土粒・小中粘土B少、小ロームBやや多、凝灰岩粒微）
32　暗褐色土　（小ロームB微、やや軟弱）
33　暗褐色土　（ローム粒多、粒が非常に細かい、締まりあり）
34　黒褐色土　（ローム粒多、粒が非常に細かい、締まりあり）
35　褐色土　（ローム粒少）
36　暗黄色土　（ローム粒・中ロームB少、やや軟弱）
37　暗灰褐色土　（ローム粒・小粘土ブロック微、小ロームBやや多、粘土粒少）
38　灰黄色土　（ローム主体、粘土粒やや多、やや粘りあり）
39　灰黄色土　（ローム主体、粘土粒やや多、粘土B・凝灰岩少、締まりあり）
40　茶褐色土　（ローム粒少、小ロームB・粘土粒微、５ｃｍ大ロームB含）
41　黄褐色土　（ローム粒極多、小・中ロームB・黒色土粒やや多、大ロームB・粘土粒少、凝灰岩微）
42　明褐色土　（ローム粒多、小ロームBやや多、中ロームB・粘土粒多、凝灰岩粒微）
43　灰褐色土　（ローム粒極多、小・中ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多）
44　明灰褐色土　（ローム粒極多、中ロームB・小粘土B微、粘土粒多、黒色土粒やや多）
45　暗褐色土　（ローム粒多、粘土粒やや多、黒色土粒微）
46　暗黄褐色土　（ローム粒・小ロームBやや多、中ロームB少、黒色土粒微）
47　暗黄褐色土　（ローム粒やや多、小・中ロームB・粘土粒・黒色土粒微）
48　黄褐色土　（ローム主体、ローム粒少、凝灰粒微）

L＝Ａ・Ｆ・Ｉ＝79.500m
　Ｂ～Ｄ＝79.400m
　Ｅ・Ｇ・Ｈ・Ｊ＝79.200m

（2）２号墳

位置

本古墳は１号墳の北西方約10mに位置する。古墳の東側と中央部の一部がSD41とSD50により切られる。

墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、１号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。周溝はほぼ円形にめぐる。周溝の内側立ち上がり部分で測った墳丘径は最大20.5m、最小19.5m、周溝外径は、最大23.4m、最小21.8mである。周溝の円の中心はほぼ横穴式石室奥壁の位置である。

周溝幅は、最大が前庭部分で３m、最小が西側から北側にかけて0.5m、確認面からの深さは、0.1～0.8mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用しているが、１段～２段しか残存していない。石室の方位はN－2°－Eで、ほぼ南向きに開口する。

玄室と羨道

掘り方は、南北3.3m、東西2.4mの長方形で、確認面からの深さは約10～20cmである。石室の全長は2.2m、幅0.96mである。羨道部の側壁が残っておらず、羨道部の規模は不明である。また、玄室と羨道には10cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、奥壁と同様に縦長に使用した川原石を一列に並べている。

墓道

墓道は、ほぼ直線的に伸び、南に向かって緩やかに傾斜する。墓道幅は0.8～1.4m、確認面からの深さは羨道部付近で約10cm、周溝との接続部分で40cmである。

出土遺物

第64図１の土師器埦１点が周溝埋土中より出土している。寸法は、口径11cm、底径3.5cm、器高5.3cm。平底で、体部が内湾気味に立ち上がる。器面の調整は、外面ナデで、内面は剥離が目立ち荒れている。

（3）３号墳

位置

本古墳は１号墳の西方約30mに位置する。古墳の西側がSD52により切られる。

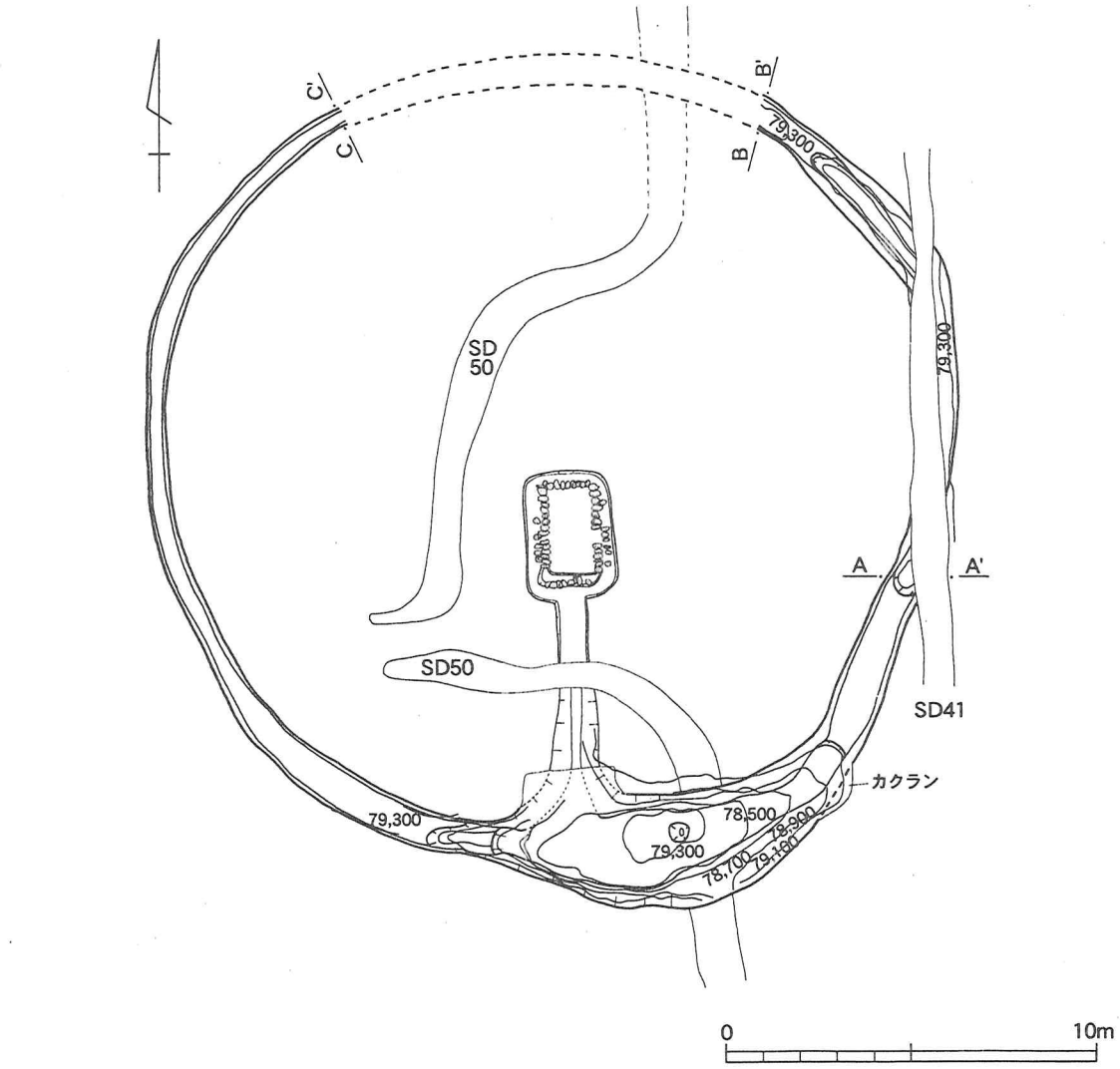
墳丘と周溝

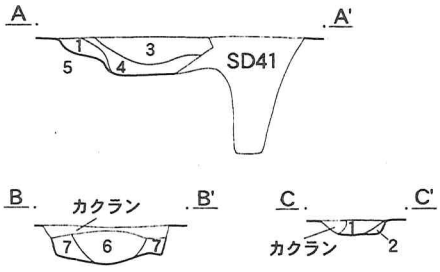
墳丘部分は削平され、１号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。また、周溝も掘り込みが浅いせいか、西側の一部及び東側が確認できなかったが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径は15m、周溝外径は16.5mである。

周溝幅は、0.8m、確認面からの深さは、0.4mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。周溝南側の墓道脇に土坑状の掘り込みと隣接してピットが確認され、周溝内埋葬の可能性がある。土坑の規模は、長軸80cm、短軸40cm、周溝底よりの深さが20cmである。

埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室及び羨道に川原石を使用しているが、１段～２段しか残存していない。石室の方位はN－1°－Eで、ほぼ南向きに開口する。

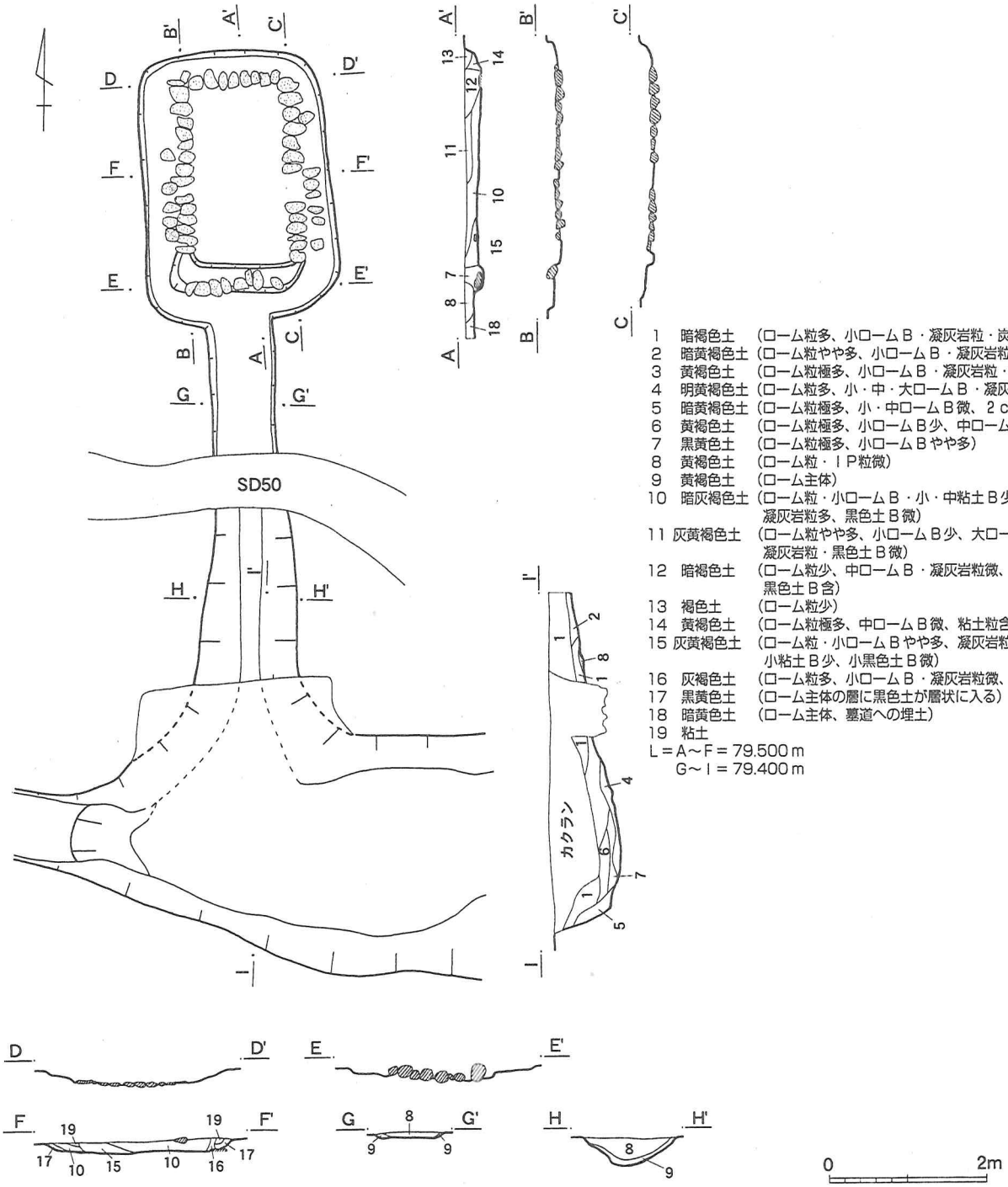




1　暗黄色土　（ローム粒・中ローム B・ＩP粒微）
2　明黄色土　（ローム主体）
3　明褐色土　（ローム粒極多、凝灰岩粒微）
4　茶褐色土　（ローム粒極多、小ローム B・炭化物粒微）
5　黄褐色土　（ローム粒・大ローム B 微）
6　暗黄色土　（ローム粒少、ＩP粒・炭化物微）
7　黄色土　（ローム主体）
L＝A＝81.600 m
B・C＝81.800 m

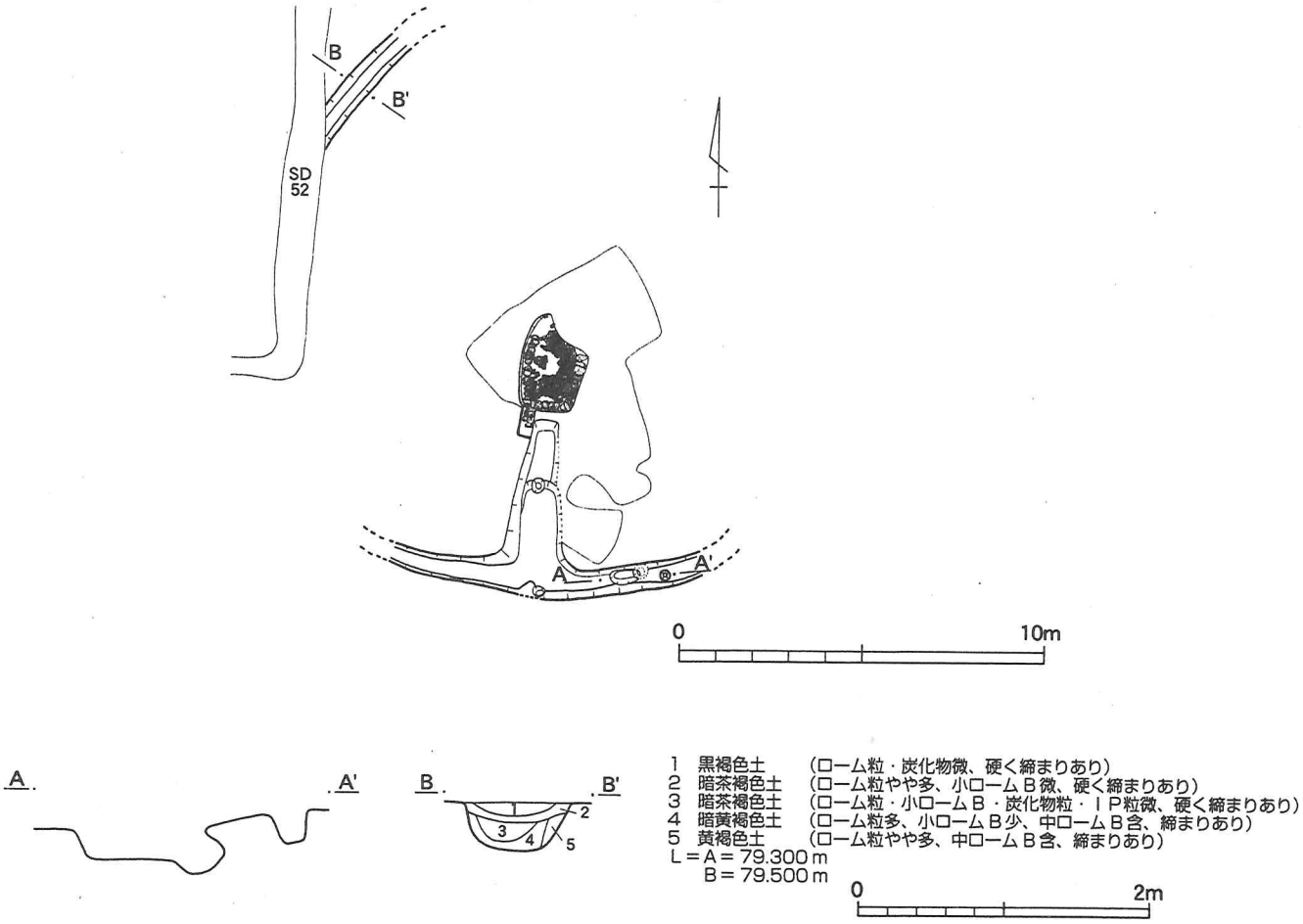
0　2m

第 56 図　2 号墳平・断面図

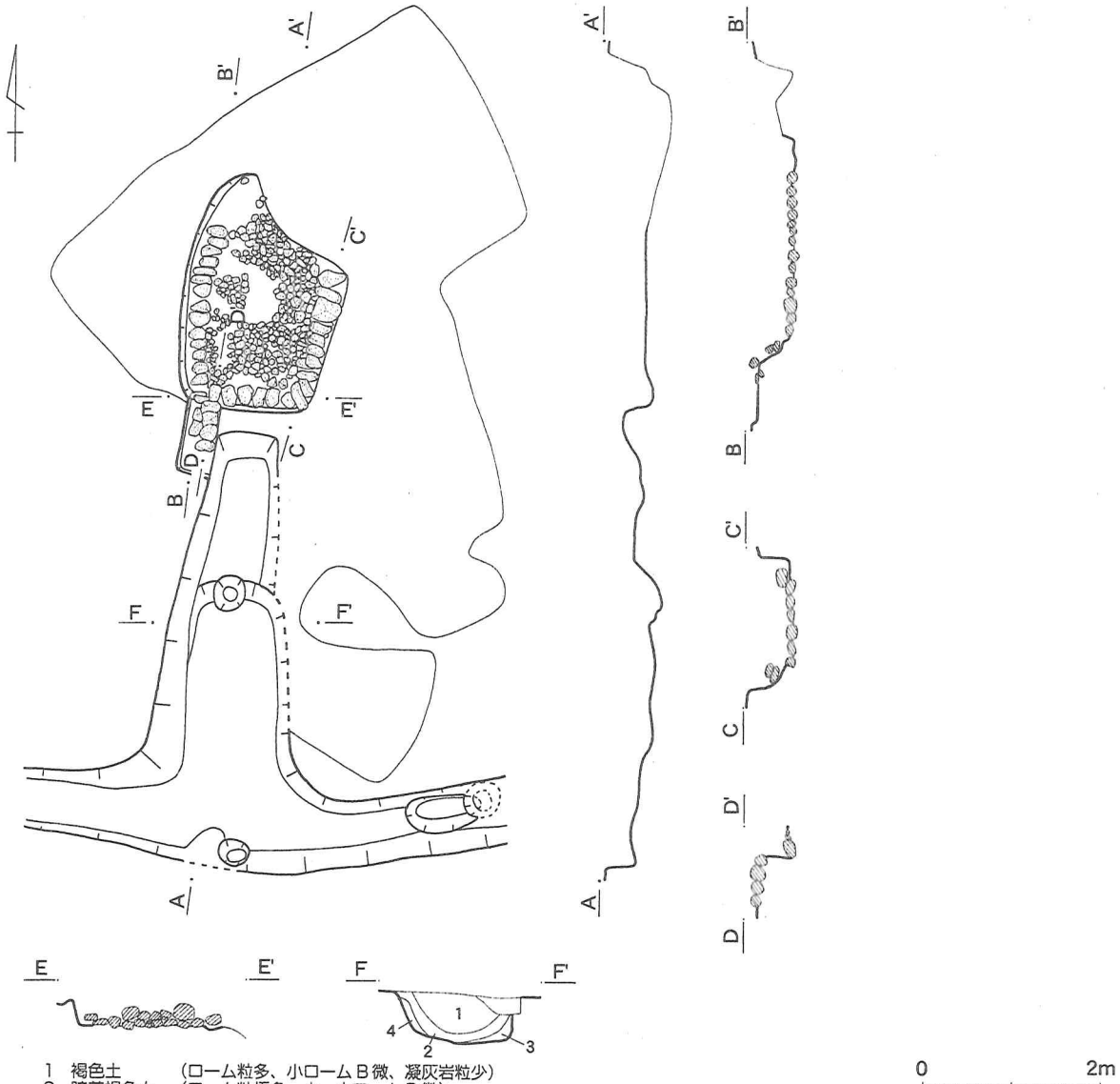


1　暗褐色土　（ローム粒多、小ローム B・凝灰岩粒・炭化物粒微）
2　暗黄褐色土（ローム粒やや多、小ローム B・凝灰岩粒微）
3　黄褐色土　（ローム粒極多、小ローム B・凝灰岩粒・ⅠP粒微）
4　明黄褐色土（ローム粒多、小・中・大ローム B・凝灰岩粒微）
5　暗黄褐色土（ローム粒極多、小・中ローム B 微、2cm大凝灰岩粒含）
6　黄褐色土　（ローム粒極多、小ローム B 少、中ローム B・ⅠP粒微）
7　黒黄色土　（ローム粒極多、小ローム B やや多）
8　黄褐色土　（ローム粒・ⅠP粒微）
9　黄褐色土　（ローム主体）
10　暗灰褐色土（ローム粒・小ローム B・小・中粘土 B 少、粘土粒やや多、凝灰岩粒多、黒色土 B 微）
11　灰黄褐色土（ローム粒やや多、小ローム B 少、大ローム B・粘土粒・凝灰岩粒・黒色土 B 微）
12　暗褐色土　（ローム粒少、中ローム B・凝灰岩粒微、粘土やや多、黒色土 B 含）
13　褐色土　（ローム粒少）
14　黄褐色土　（ローム粒極多、中ローム B 微、粘土粒含）
15　灰黄褐色土（ローム粒・小ローム B やや多、凝灰岩粒微、粘土粒・小粘土 B 少、小黒色土 B 微）
16　灰褐色土　（ローム粒多、小ローム B・凝灰岩粒微、粘土粒少）
17　黒黄色土　（ローム主体の層に黒色土が層状に入る）
18　暗黄色土　（ローム主体、墓道への埋土）
19　粘土
L＝A～F＝79.500m
G～I＝79.400m

第57図　2号墳主体部平・断面図



第 58 図　3 号墳平・断面図



1　褐色土　　（ローム粒多、小ローム B 微、凝灰岩粒少）
2　暗黄褐色土　（ローム粒極多、小・大ローム B 微）
3　黄褐色土　　（ローム粒極多、小ローム B 少、大ローム B 含）
4　明黄色土　　（ローム主体、ローム粒やや多）
L = A～E = 79.400 m
F = 79.500 m

第 59 図　3 号墳主体部平・断面図

玄室と羨道

大きく撹乱を受けており、奥壁及び羨道の一部が不明。掘り方の確認面からの深さは約20～40cmである。羨道部の東側側壁が撹乱のため不明であることから、平面形態は確定できない。玄室床面には拳大の川原石が敷かれている。

また、玄室と羨道には40cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、２号墳と同様に縦長に使用した川原石を２段一列に並べている。

墓道

墓道は、南に向かってやや「ハ」字状に開き、２段に掘り込まれている。墓道幅は0.9～1.6mで、確認面からの深さは、羨道付近が約10cm、周溝との接続部分が約50cmである。

出土遺物

出土遺物は確認されなかった。

（４）４号墳

位置

本古墳は３号墳の南方約15mに位置する。古墳は東西方向のSD47・SD51・SD55の三本の溝により切られる。

墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、１号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。また、周溝も掘り込みが浅いせいか、東側半分の周溝が確認できなかったが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径20m、周溝外径は21mである。

周溝幅は、0.5～1.7m、確認面からの深さは、0.5～1.3mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用していたと思われるが、側壁はほとんど抜き取られている。石室の方位はＮ－2°－Ｅで、ほぼ南向きに開口する。

玄室と羨道

玄室床面には川原石が敷かれていたが、側壁等が抜かれており、平面形態は不明。掘り方の規模は、南北3.4m×東西2.8mで、確認面からの深さは約60cmである。

墓道

墓道は、南に向かってやや「ハ」字状に開く。墓道幅は0.9～1.6m、確認面からの深さは、羨道付近が約20cm、周溝との接続部分が約30cmである。

出土遺物

出土遺物は確認されなかった。

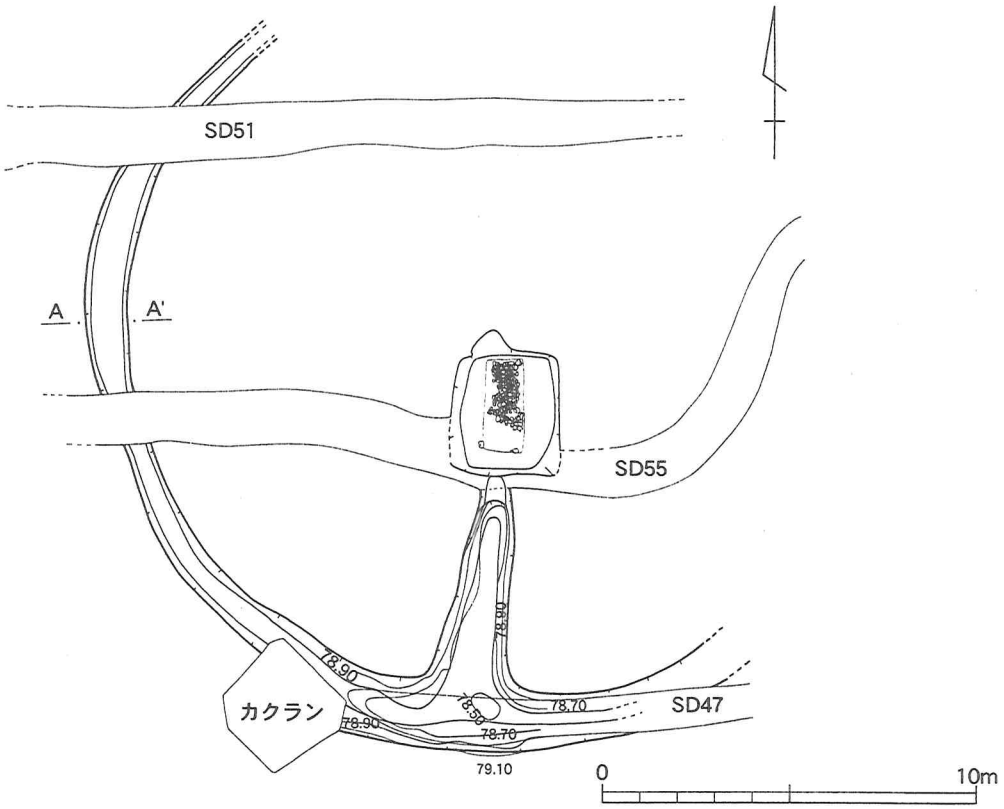
（５）５号墳

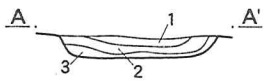
位置

本古墳は４号墳の西側に隣接して位置する。古墳はSD51により切られる。

墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、１号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。周溝南側に大きな撹乱があるが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径は19.5m、周溝外径は20.5mである。



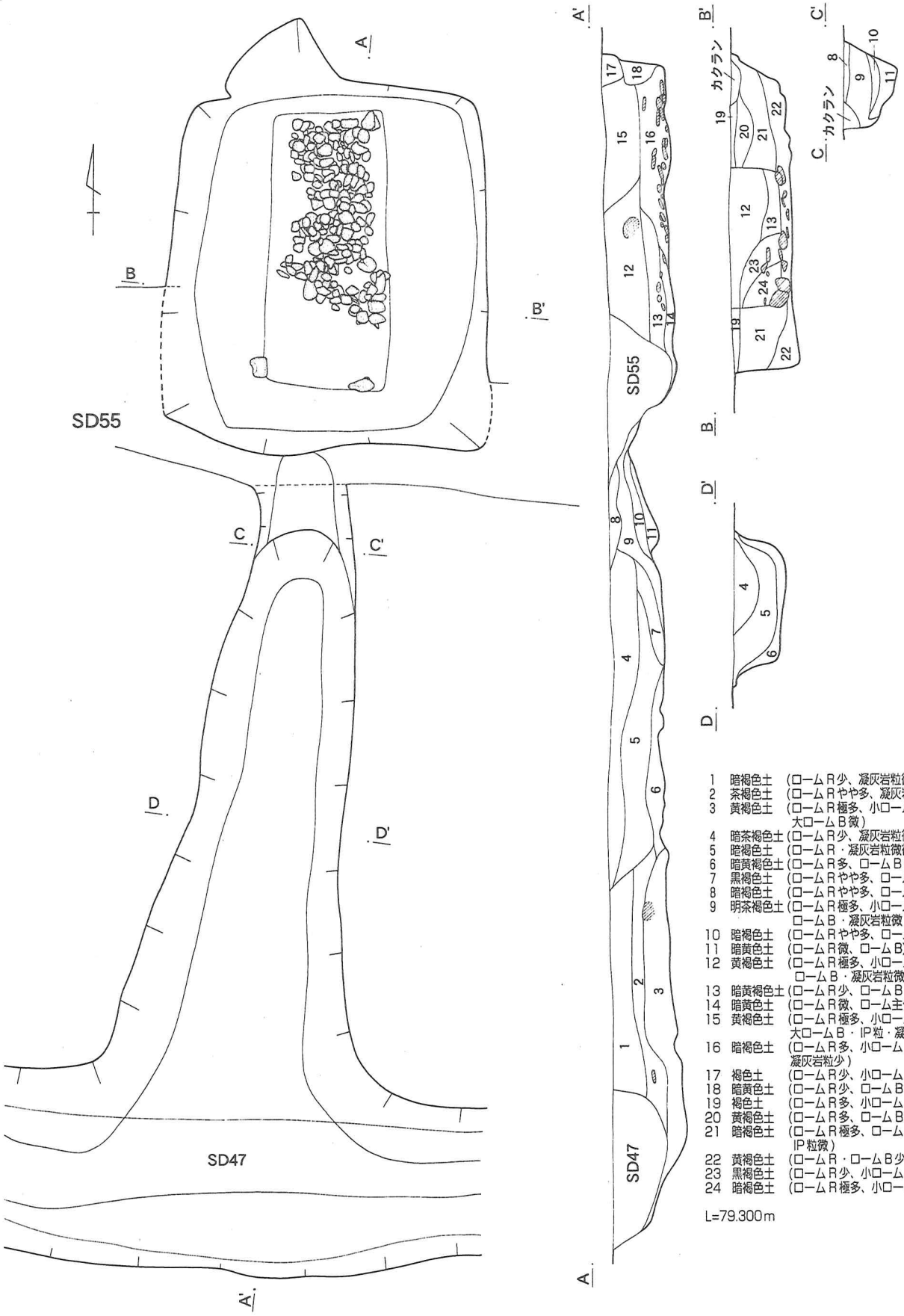


1　黒褐色土　（ロームＲ・小ロームＢ微）
2　暗黄褐色土（ロームＲ極多、ロームＢ微）
3　黄褐色土　（ローム主体、ロームＲ・ロームＢ微）

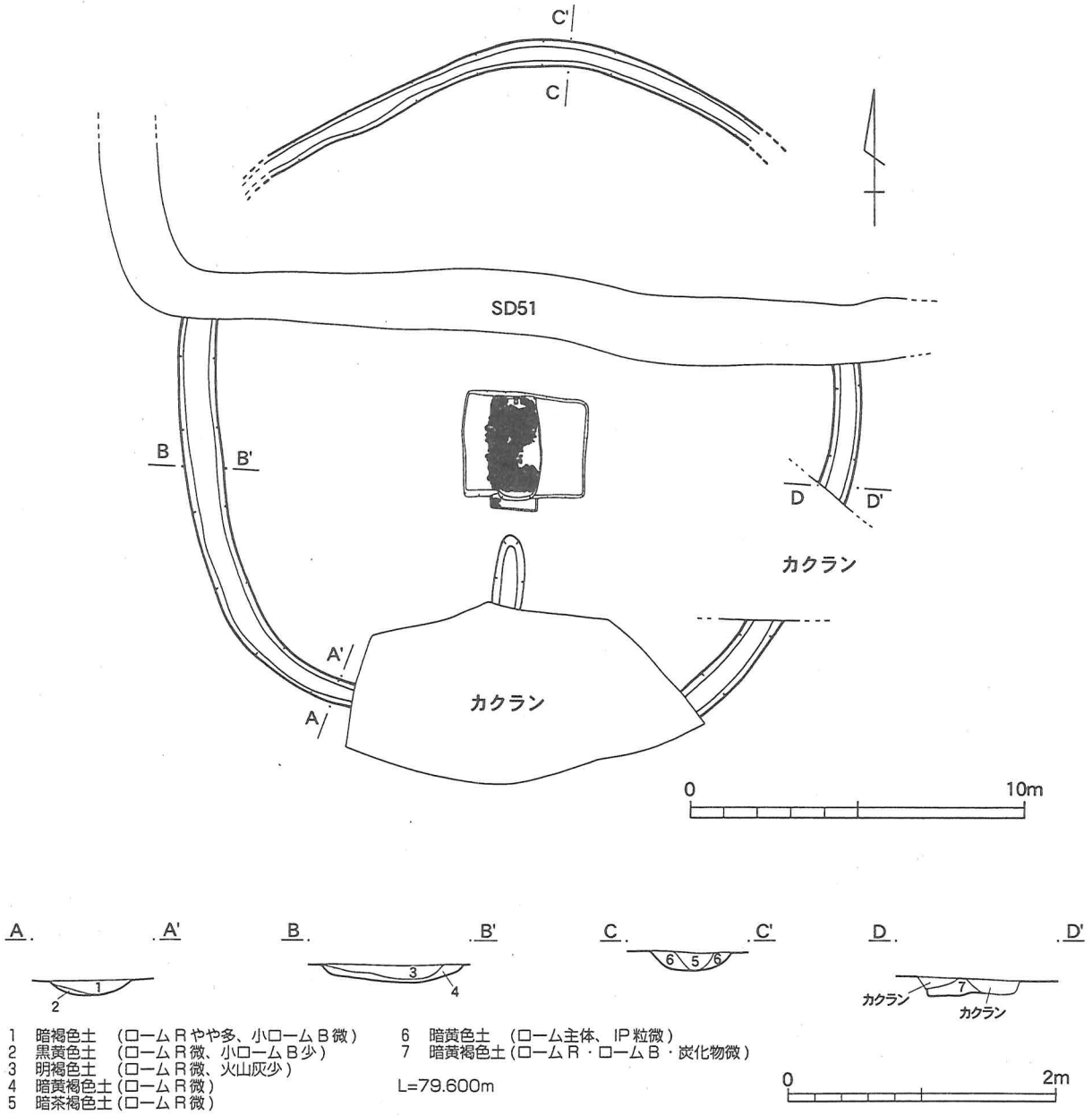
L=79.300m

0　2m

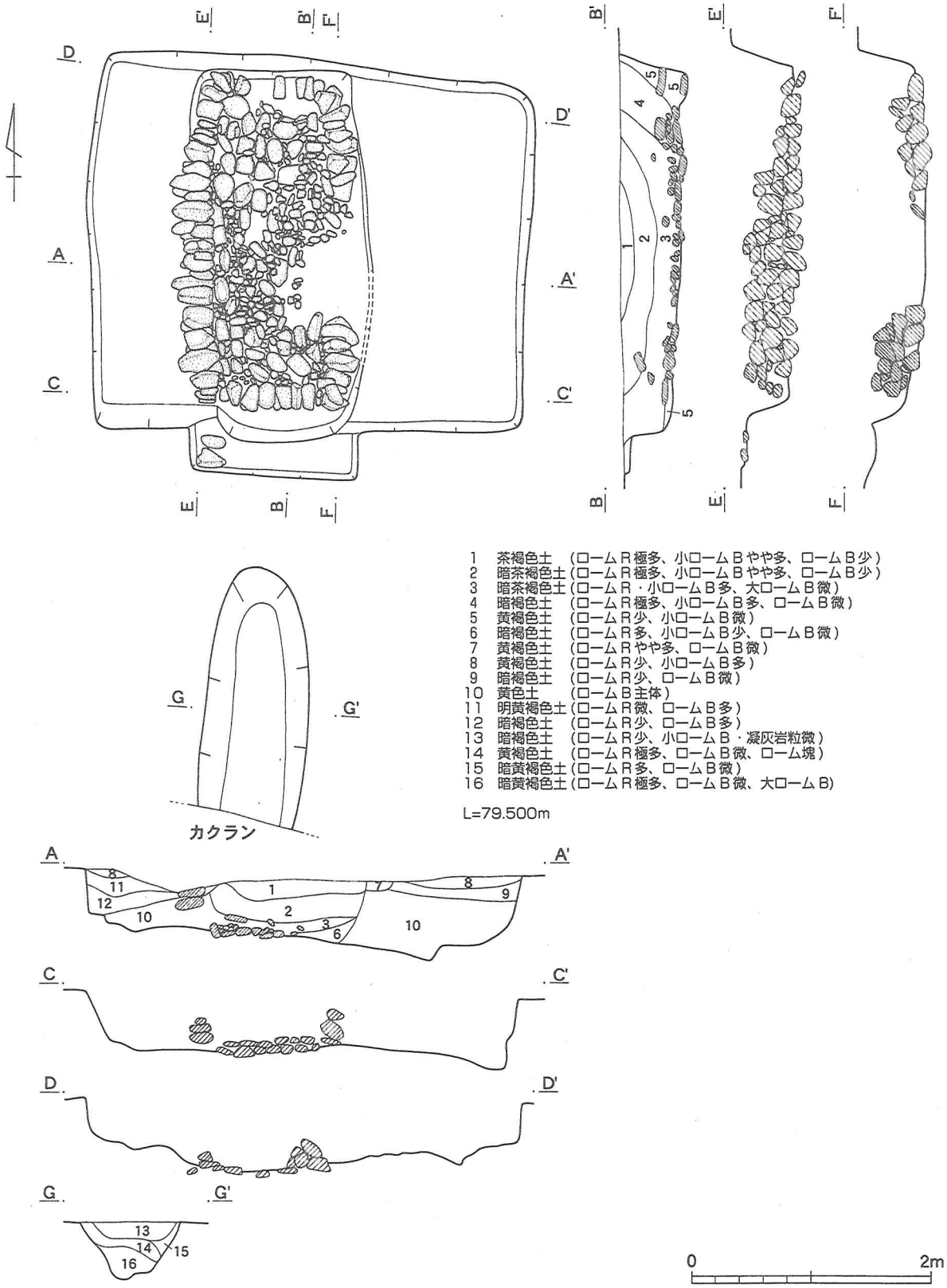
第60図　４号墳平・断面図



第61図　4号墳主体部平・断面図



第 62 図　5 号墳平・断面図



第63図　5号墳主体部平・断面図

周溝幅は、0.6～1.0m、確認面からの深さは、0.5mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用し、床面に拳大の川原石を敷いている。石室の方位はN－0°－Eで、ほぼ南向きに開口する。

玄室と羨道

玄室床面に敷かれた石を確認した。羨道部分東側が抜かれているため平面形態は不確定であるが、無袖形と考えられる。掘り方の規模は、南北3.1m×東西3.5mで、確認面からの深さは約40cmである。石室の全長は2.7m、幅1.4mである。

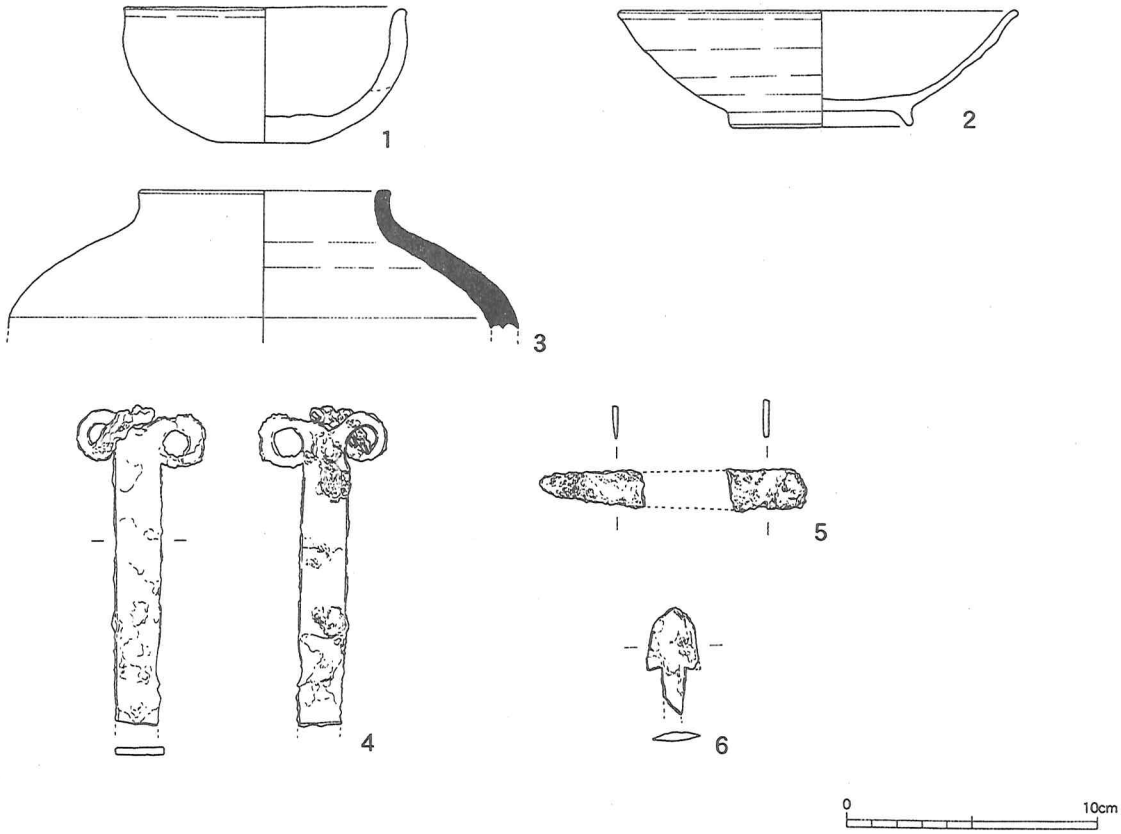
また、玄室と羨道には40cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、3号墳と同様に縦長に使用した川原石を2段一列に並べている。

墓道

墓道は、南側に大きな撹乱があるためその形状は不明であるが、直線的に南側に伸びると考えられる。墓道幅は0.9～1.6m、確認面からの深さは約40cmである。

出土遺物

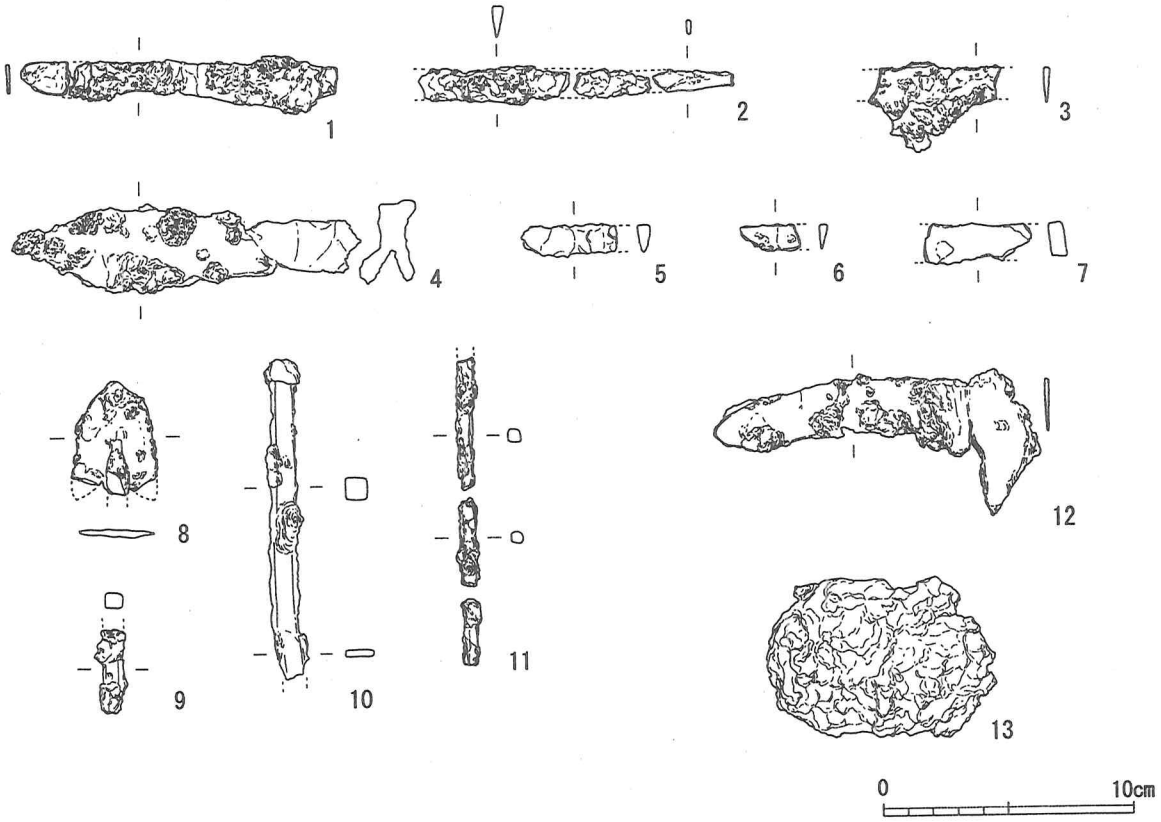
出土遺物は確認されなかった。



第64図　古墳出土遺物実測図

7　鉄製品

第１次調査区～第４次調査区の住居跡内からは、刀子７点、鉄鏃３点　鎌1点、鉄滓１点、不明１点（第65図）が出土している。詳細については観察表で記す。



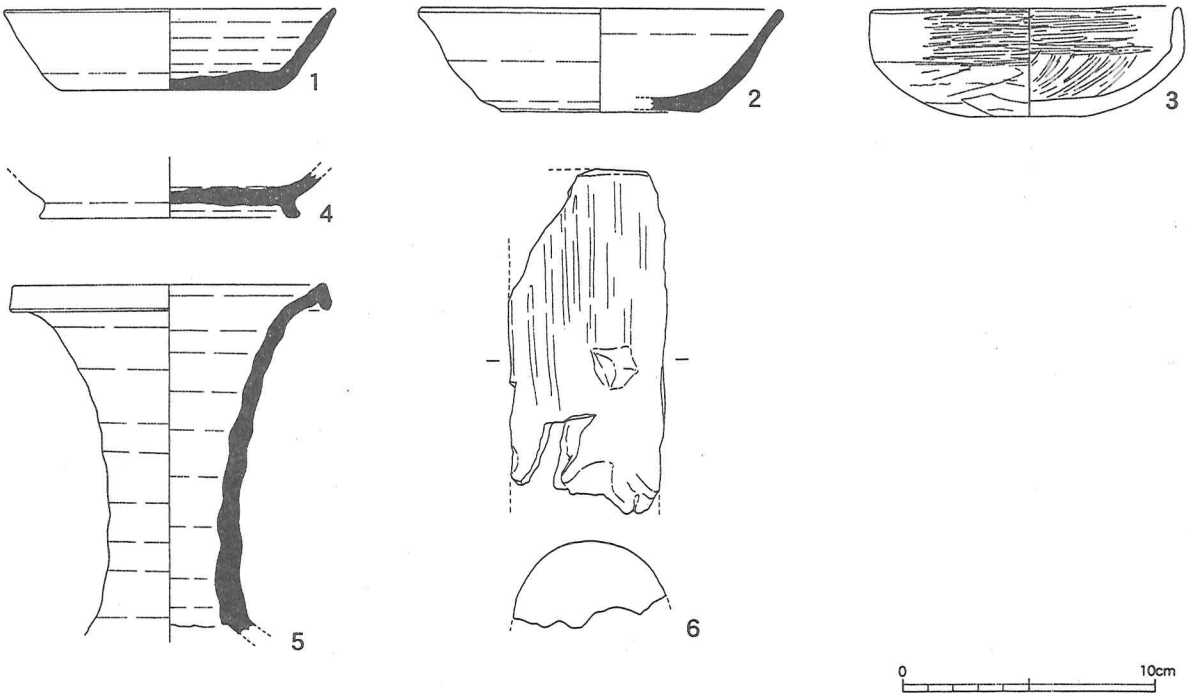
第65図　鉄製品実測図

番号	器　種	寸法（ｃｍ）	重さ（ｇ）	出土位置	備考
1	刀子	長さ：12.4　幅：2.0　厚さ：0.1	17	SI26　埋土中層	
2	刀子	長さ：12.4　幅：1.2　厚さ：0.5	13	SI49　埋土中	
3	刀子	幅：1.4　厚さ：0.2	11	SI04　埋土中	かなり腐食している。
4	刀子	長さ：13.8　幅：3.2	64	SI48　埋土中	
5	刀子	長さ：3.8　幅：1.2　厚さ：0.7	4	SI97　埋土中	
6	刀子	長さ：2.3　幅：1.0　厚さ：0.4	1	SI77　埋土中	刀子の先端。
7	刀子	長さ：2.3　幅：1.0　厚さ：0.4	1	SI97　埋土中	
8	鉄鏃	長さ：4.5　幅：3.0　厚さ：0.25	7	SI73　埋土中	
9	鉄鏃	長さ：3.2幅：0.8厚さ：0.9	5	SI97　埋土中	
10	不明	長さ：12.5　幅：1.2　厚さ：0.8	40	SI77　埋土下層	
11	鉄鏃	幅：0.5　厚さ：0.5	9	SI81　埋土中	
12	鉄鎌	長さ：12.5　幅：2.0　厚さ：0.1	39	SI42　埋土中層	木質部残存。
13	鉄滓		230	表採	

第11表　鉄製品観察表

8　遺構外出土遺物

遺構外からは、須恵器坏２点、須恵器高台付坏１点、須恵器長頸壺１点、土師器坏１点、土製支脚１点（第66図）が出土している。詳細については観察表で記す。



第66図　遺構外出土遺物実測図

番号	器種	寸法（cm）			器形の特徴	調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土位置	備考
		口径	器高	底径							
1	須恵器坏	13.0	3.2	8.4	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。回転ヘラ切り。	灰黄褐色	砂粒	良好	表採	破片。
2	須恵器坏	14.2	4.1	7.8	平底で体部が外傾する。	ロクロ成形。体部下半回転ヘラ切り。底部回転糸切り。	灰色	白色砂粒	良好	表採	破片。
3	土師器坏	12.3	4.3		丸底で口縁部が直立する。	体部内面ヘラミガキ、口縁部外面ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ。	赤褐色	砂粒	良好	表採	完形。
4	須恵器高台付坏			10.2	高台を付す。	ロクロ成形。回転ヘラケズリ。	灰白色	緻密	良好	表採	破片。
5	須恵器長頸壺	12.2				ロクロ成形。	灰オリーブ色	緻密	良好	T－5　埋土中	1/3残。自然油付着。
6	土製支脚					外面ミガキ。	淡褐色		不良	表採	土製。

第12表　遺構外出土遺物観察表

Ⅲ おわりに

今まで第Ⅰ次調査から第Ⅳ次調査の結果を、3冊に分けて報告してきた。ここでは、本遺跡の全体的な流れについてまとめてみる。

本遺跡の始まりは、弥生時代の中期に遡る。遺跡の北側で1軒の竪穴住居跡（SI94）が確認されている。周辺の上神主・茂原遺跡、愛宕塚東遺跡、権現山北遺跡等で中期の土器が出土していることから、この台地一帯には小規模な中期の集落があったことがわかる。

このような集落景観は、すでに岩上照朗・藤田典夫の両氏が自治医科大学地区内の分析で「1軒の住居跡と数基の土坑から構成される小規模な集落が小谷を囲むように一ないし二単位で点在する在り方」と指摘している（岩上・藤田1997）とおりである。

その後、古墳時代前期になると東側の谷に向かって舌状に張り出した台地上に2時期にわたり十数軒程度の集落が営まれる。この茂原地域は、大日塚古墳、愛宕塚古墳、権現山古墳の3基の前方後方墳が築造されるなど、古墳時代前期において栃木県内で特出すべき地域である。同じ田川流域の下野市三王地区とともに、県内において古墳文化を最初に受け入れた地域と言える。

その後、5世紀末～6世紀初頭にSI87、SI89、SI90の3軒がⅢ次B区に営まれる。SI87とSI90は平面が方形でカマドがあり、SI89は平面が長方形でカマドが無い。また、SI90は、南カマドであり、煙道が短い点も注目される。

6世紀後半になると、横穴式石室をもつ円墳が5基築造される。何れの古墳も墳丘が削平され、石室の石も抜き取られていることから、その形態を十分に把握することができないが、その特徴をまとめてみると次のようになる。

①玄室の側壁及び奥壁、羨道の側壁が川原石積みである。1号墳・2号墳・5号墳を見ると、側壁の石及び奥壁の石とも縦長に使用し積んでいる。また、2号墳・3号墳・5号墳では、玄室部の入口部分にも石を縦長に使用し数段積んでいる。

②1号墳・3号墳・5号墳の羨道部は玄室より一段高く、玄室の側壁ラインより若干内側に石が配列されている。

③墓道は、5号墳が撹乱により不明であるが、それ以外は、緩く南側に向かって傾斜し、周溝に至る。

このような特徴をもつ古墳として星の宮神社古墳が上げられる。星の宮神社古墳は直径46mの円墳で、本遺跡の古墳より大型で副葬品も豊富である。玄室規模も、長さが7.1m、幅1.5mと長大である。それに対し、本古墳群は、何れも長さが2.2m前後、幅が1m前後と、1人分がようやく収納できるスペースしかなく、規模的な違いが見られる。

大橋泰夫氏は、「無袖式であり、羨道から玄室へ一段の段差を持ち、羨道が短く、閉塞は河原石積みで行う。また、構築にあたって旧地表土を掘り込むこと（地下式）も特徴の一つ」とするような石室を「飯塚型」と称し、その出現は6世紀中葉まで遡るとする（大橋1990）。

池上悟氏は、このような石室を竪穴系横口式石室とし、下野の横穴式石室を見る上で重要な位置を占めているとする（池上1988）。

片根義幸氏は、間々田六本木古墳群の事例から、このような川原石積み石室の変遷案を提示されている（片根1997）。

上記研究者の研究成果を踏まえて本古墳群の築造時期を考えると、出土遺物が少なく決定が難しいが、6世紀後半と考えられる。

本古墳群の東側の神主台地縁辺には、中期から後期にかけて４０基にのぼる神主古墳群が築造されている。この古墳群の中に狐塚古墳と後志部古墳２基の前方後円墳があり、後志部古墳は横穴式石室をもつ。この古墳群と本古墳群との関係が注目される。

尚、１号墳出土遺物の灰釉陶器と錫杖状鉄製品は奈良・平安時代の遺物と考えられ、本遺跡の奈良時代の集落が衰退して以降、古墳がどのような状況であったかを知る1つの手掛かりを与えてくれる資料として興味深い。特に錫杖状鉄製品は東北地方に出土が多く、時期不明のものもあるが、概ね奈良末～11世紀にかけての遺物と考えられており（田中1998)、近くを通る東山道との関連も類推される。

古墳が築造されたほぼ1世紀後に、古墳群の南側に柵列により区画された施設が出現する。この遺構に関しては、「評家」の可能性が指摘されている（板橋・田熊　2003)。

また、それに隣接し、7世紀後半～8世紀にかけての集落が営まれる。区画施設に関係しない竪穴住居跡は栃木県埋蔵文化財センター調査分を含めると140軒、掘立柱建物跡57棟が確認されている。これらの遺構の変遷については、板橋氏が報告書の中で分析されているので参照されたい。

（参考文献）

板橋正幸・田熊清彦　2003『西下谷田遺跡』栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団

池上悟　1988「野州石室考」『立正大学文学部論叢』第88号

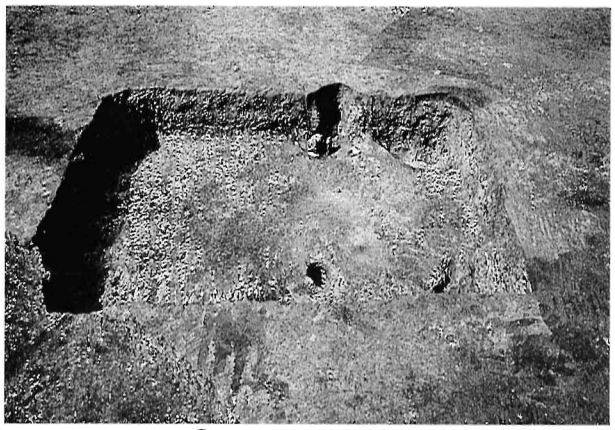
岩上照朗・藤田典夫　1997「栃木県における弥生時代中期後半の土器群」『研究紀要』第５号　栃木県文化振興事業団

大橋泰夫　1990「下野における古墳時代後期の動向」『古代』第89号　早稲田大学考古学会

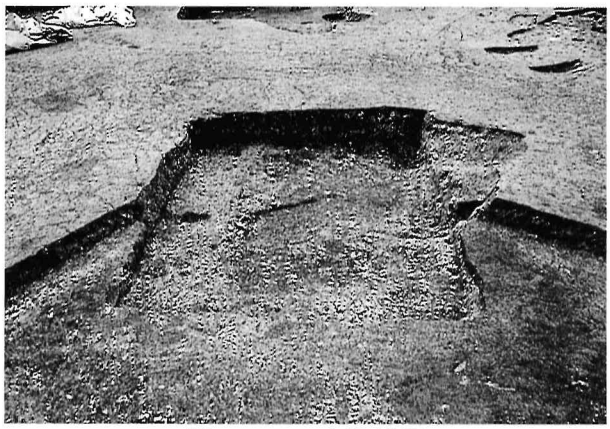
片根義幸　1997「古墳群について」『間々田地区遺跡群Ｉ』栃木県教育委員会・（財）栃木県文化振興事業団

田中珠美　1998「３　錫杖状鉄製品」『新町野遺跡・野木遺跡』青森県埋蔵文化財調査センター

写 真 図 版



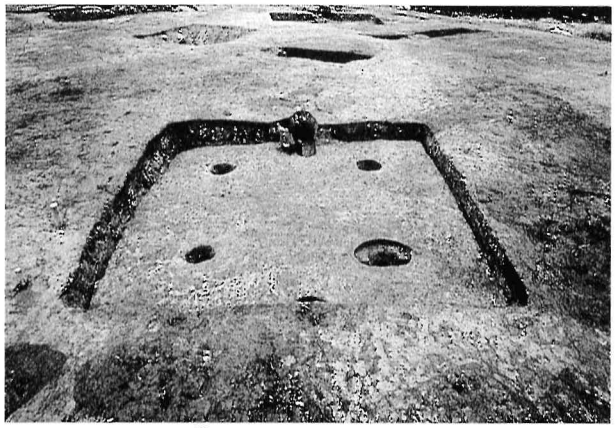
① SI65 完掘状況



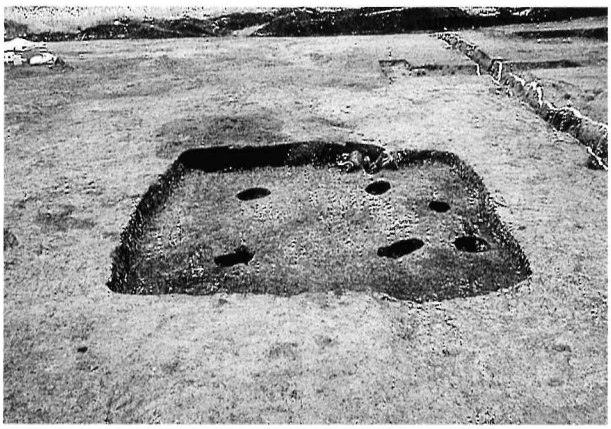
② SI66 完掘状況

③ SI77 完掘状況

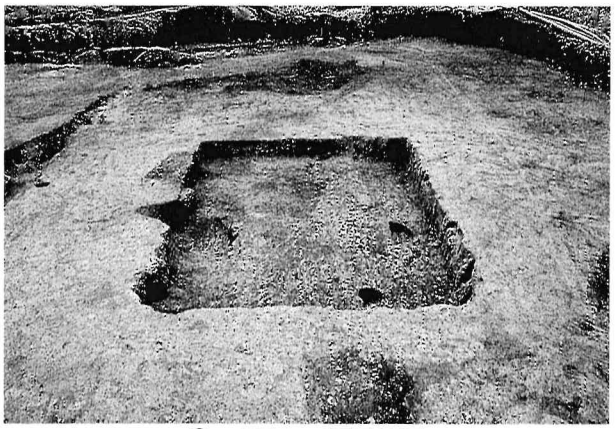
④ SI77 遺物出土状況



⑤ SI80 完掘状況

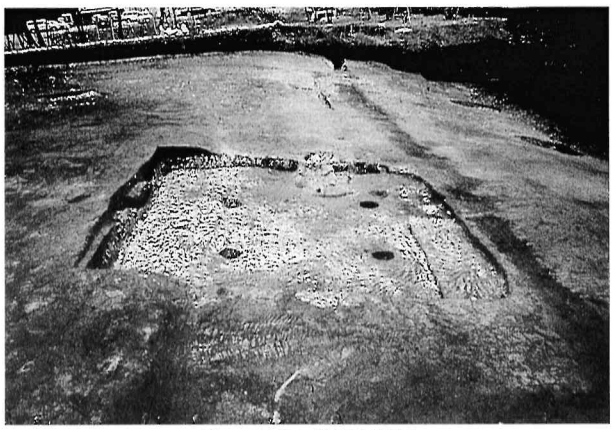


⑥ SI81 完掘状況

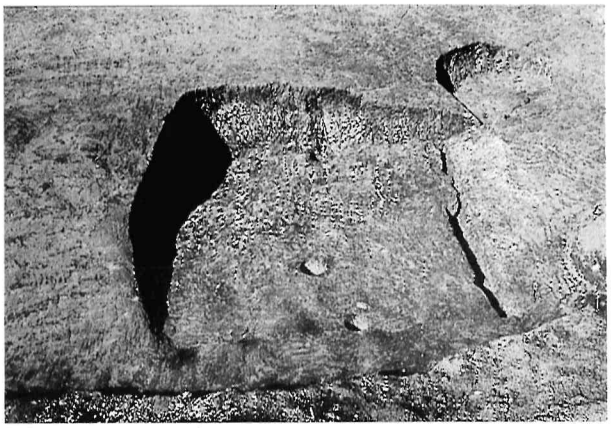


⑦ SI83 完掘状況

⑧ SI84・86 完掘状況



① SI87 完掘状況

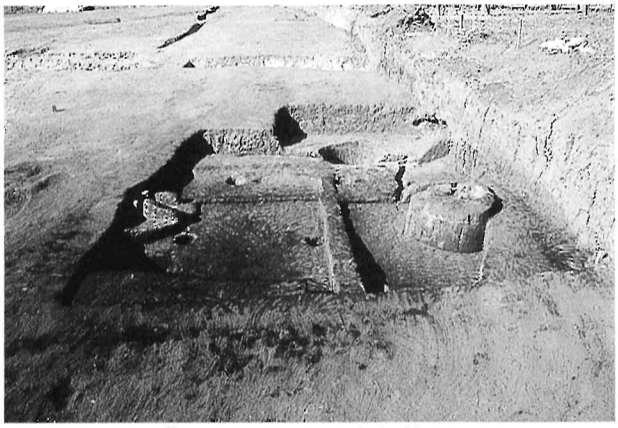


② SI88 完掘状況

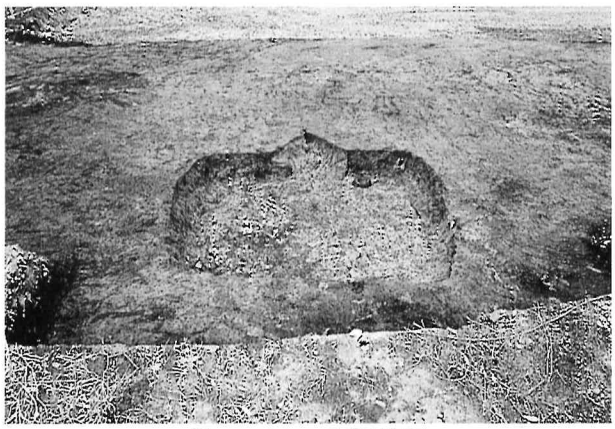
③ SI89 完掘状況

④ SI89 遺物出土状況

⑤ SI90・91 セクション

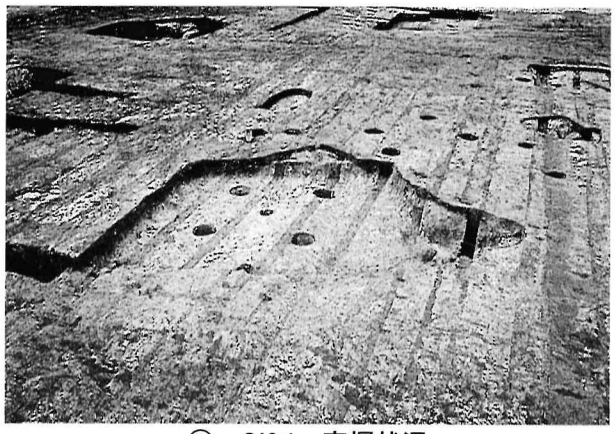


⑥ SI90・91 完掘状況

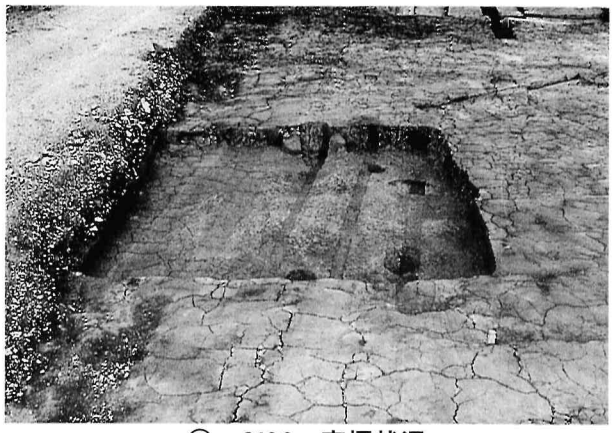


⑦ SI92 完掘状況

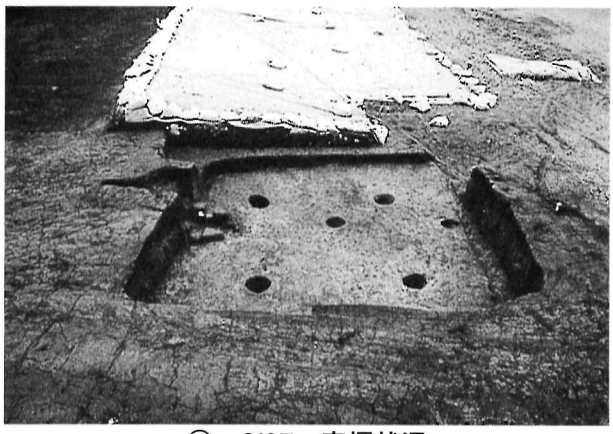
⑧ SI93 完掘状況



① SI94 完掘状況

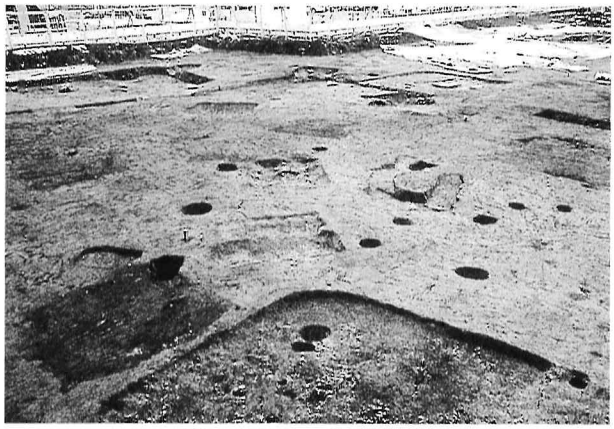


② SI96 完掘状況



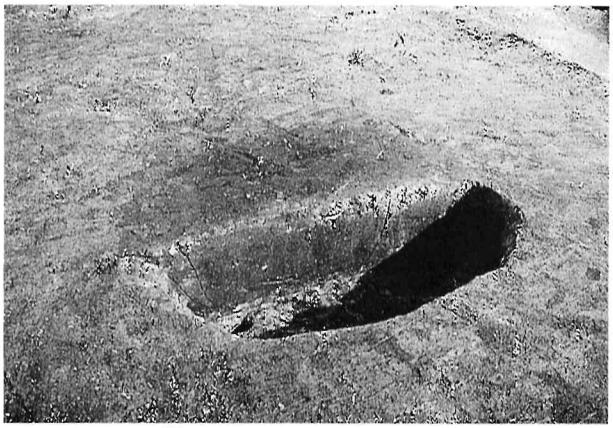
③ SI97 完掘状況

④ SB21 完掘状況

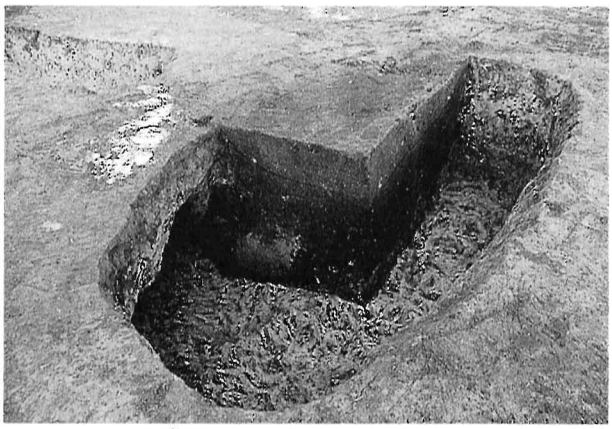


⑤ SB23 完掘状況

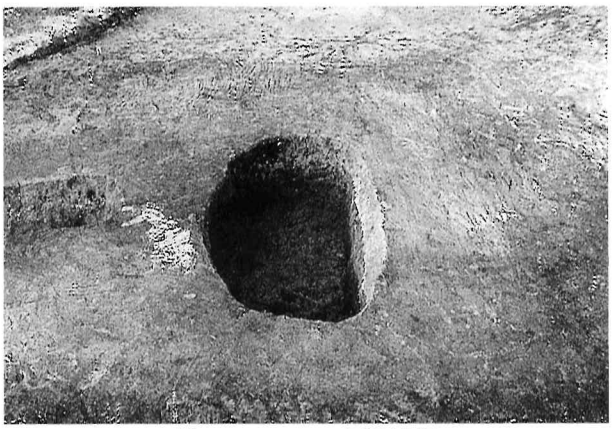
⑥ SE05 セクション



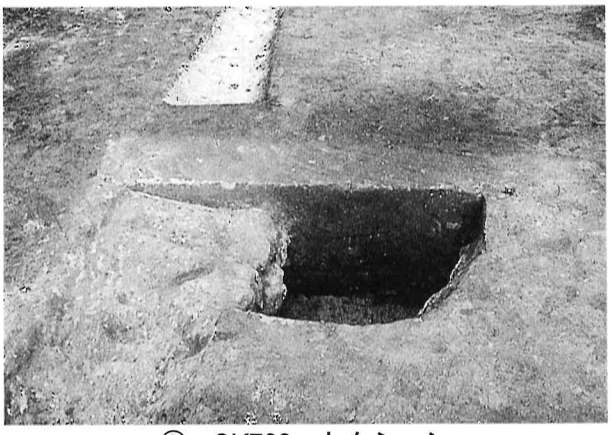
⑦ SK730 セクション



⑧ SK731 セクション

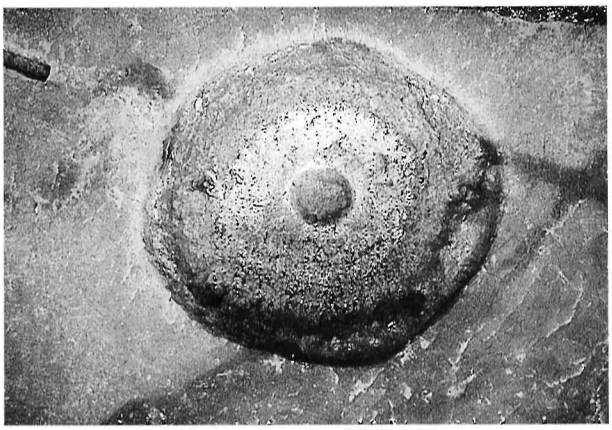


① SK732 完掘状況

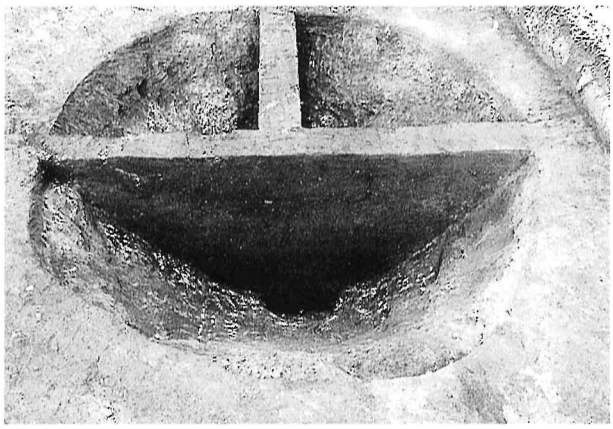


② SK733 セクション

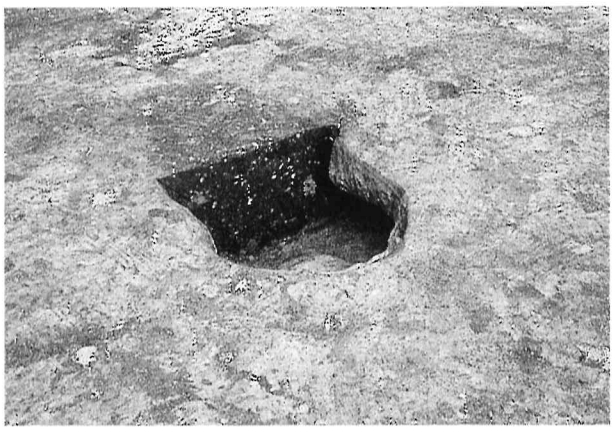
③ SK735 完掘状況



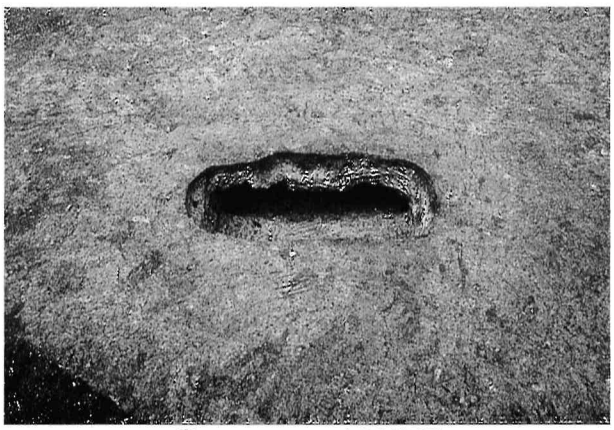
④ SK737 完掘状況



⑤ SK737 セクション



⑥ SK739 セクション



⑦ SK747 完掘状況

⑧ SK747 セクション

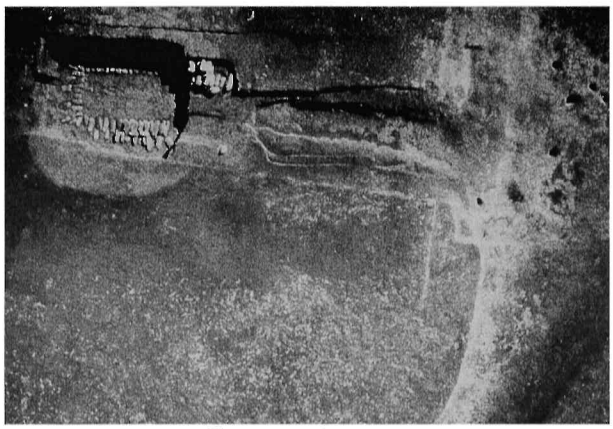
① SK748 セクション

② SK748 完掘状況

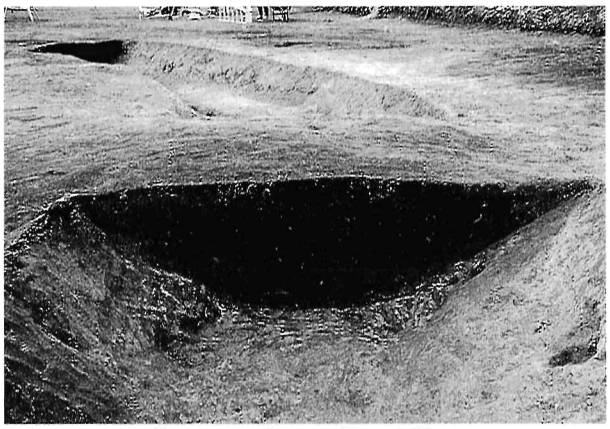
③ SK751 セクション

④ SK751 完掘状況

⑤ 1号墳 完掘状況



① 1号墳 石室

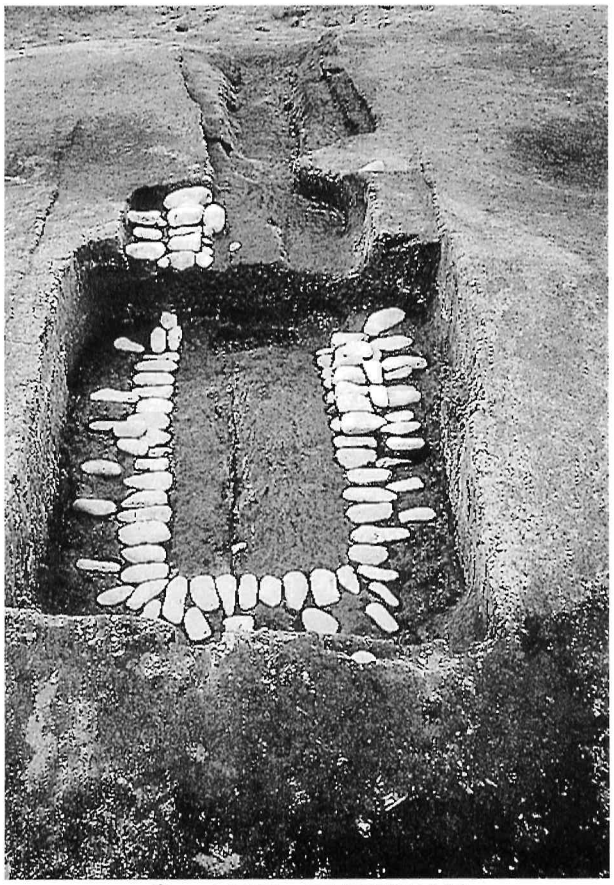


② 1号墳 周溝埋土状況

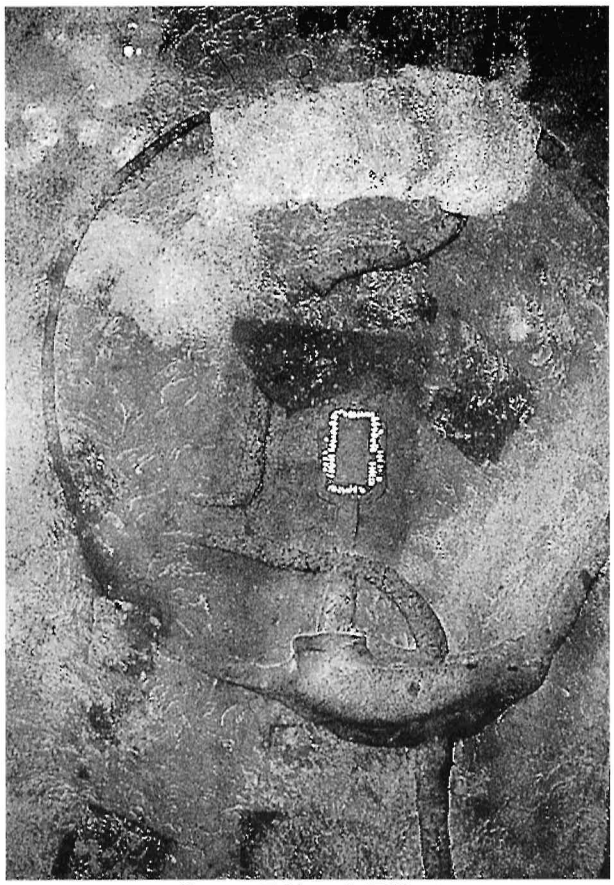
③ 1号墳 墓道

④ 1号墳 墓道閉塞石

⑤ 1号墳 石室確認状況



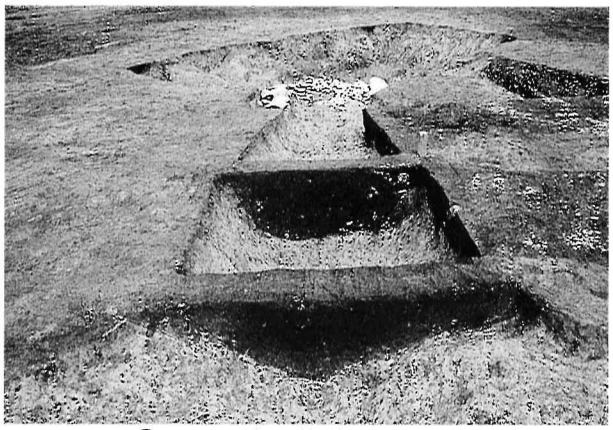
⑥ 1号墳 石室完掘状況



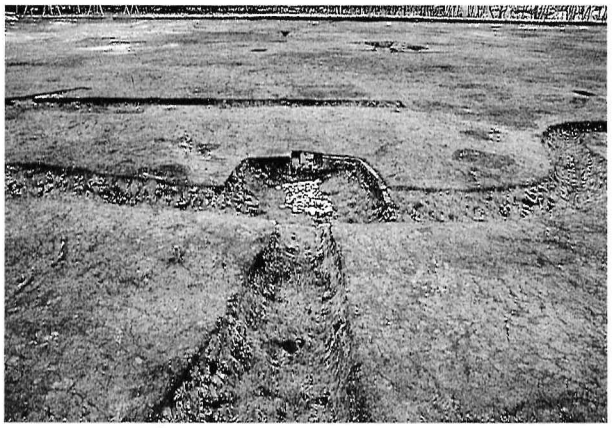
① 2号墳 完掘状況

② 2号墳 石室完掘状況

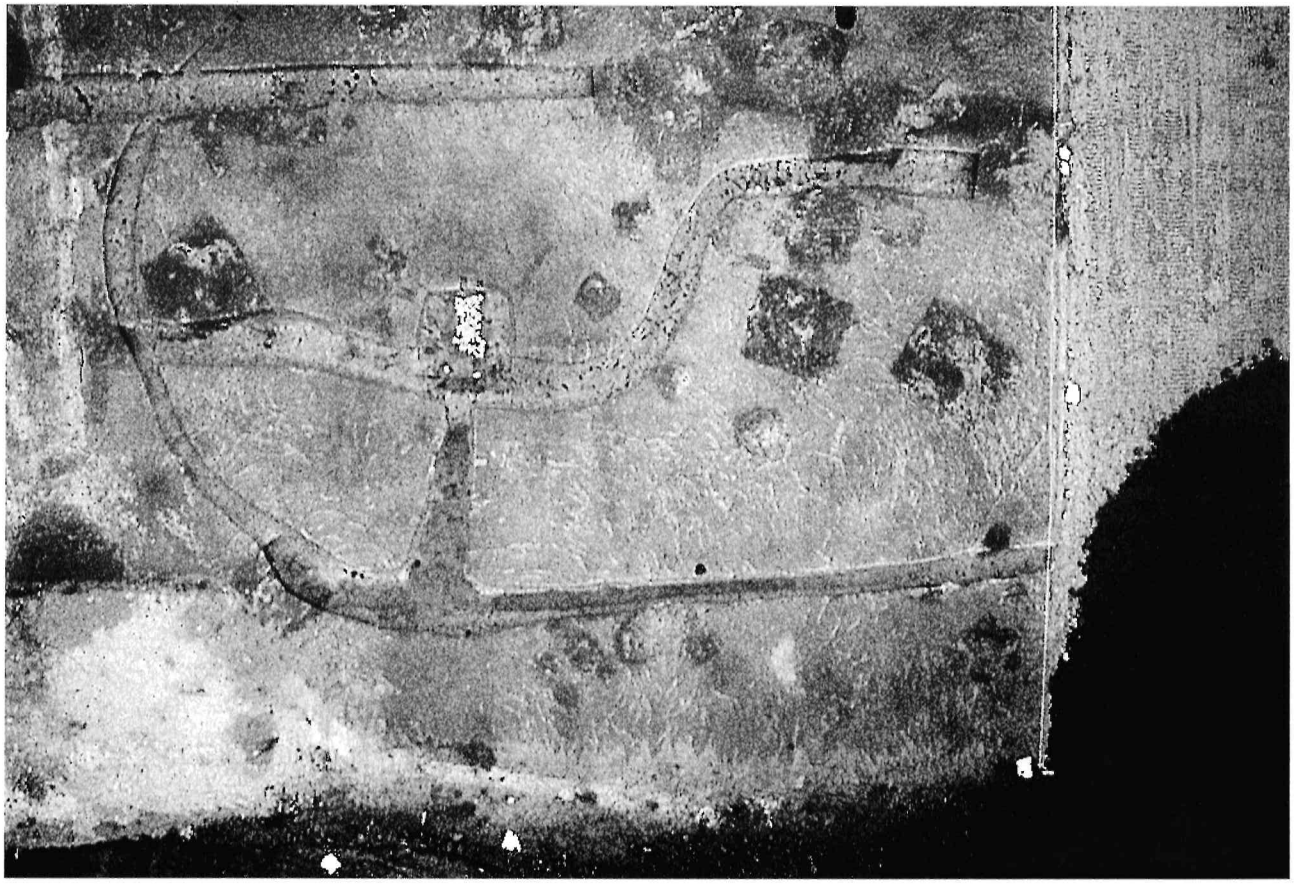
③ 3号墳 完掘状況



① 3号墳 墓道セクション



② 4号墳 石室完掘状況

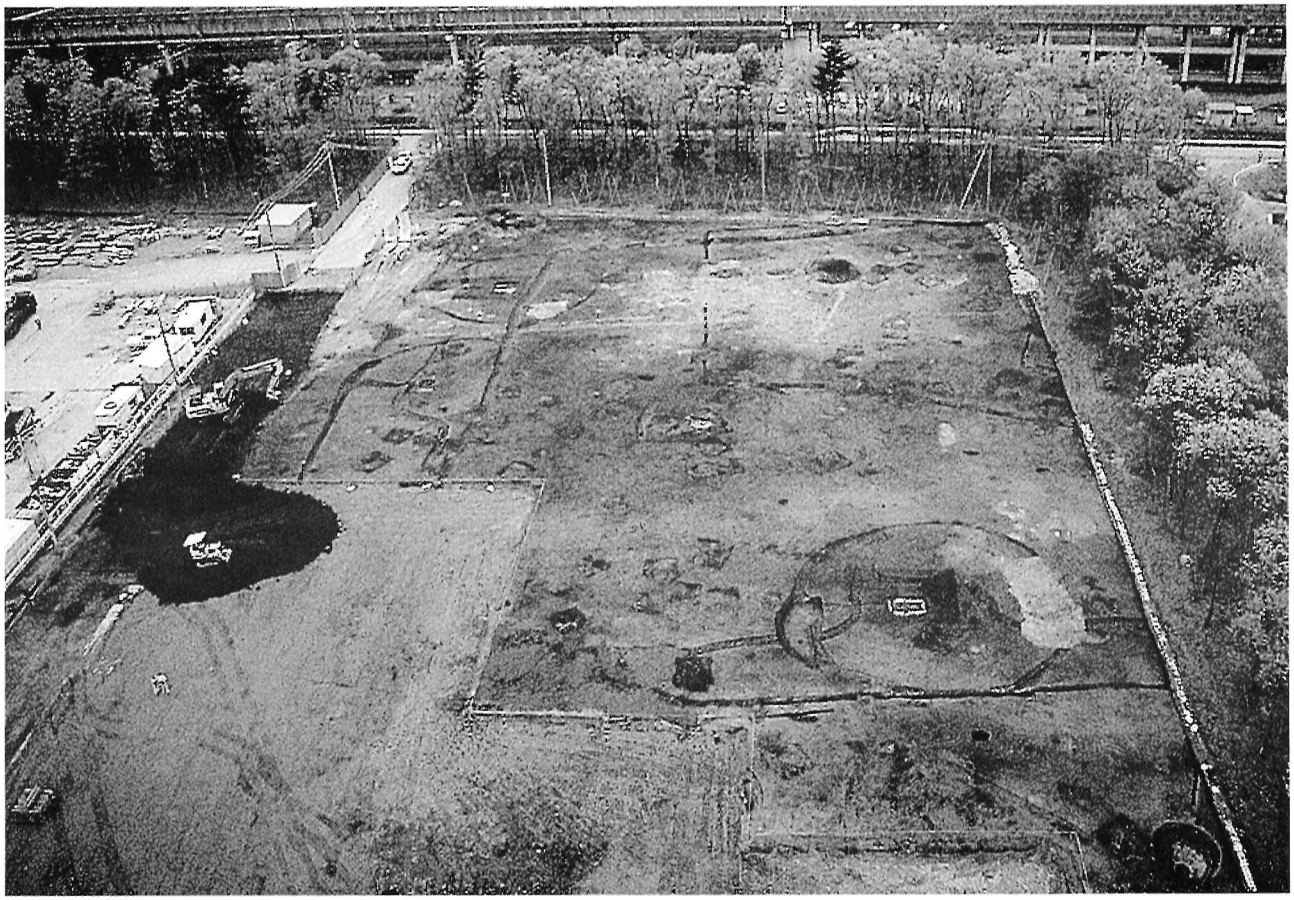


③ 4号墳 完掘状況

① 5号墳 完掘状況

② 5号墳 墓道完掘状況

③ 5号墳 石室完掘状況



① 古墳群遠景

1

2

4

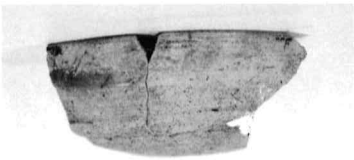
5

6

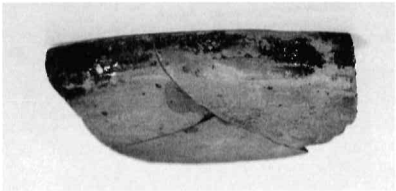
① SI65 出土遺物

1

2



3



4

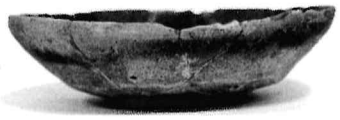
6

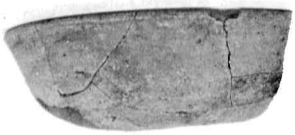
8

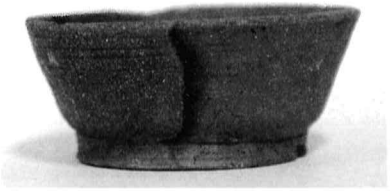
5

② SI66 出土遺物

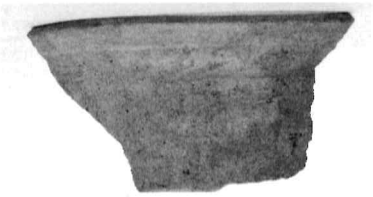
1


2


3

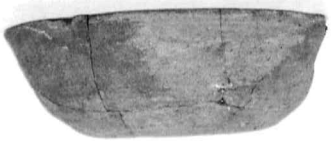

4

5


6

7

① SI77 出土遺物


1

2

3

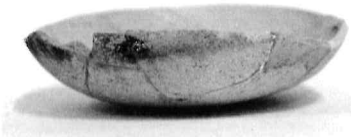
4

5

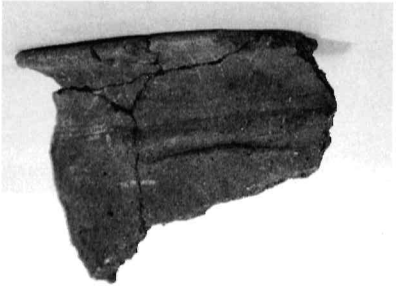
6

7

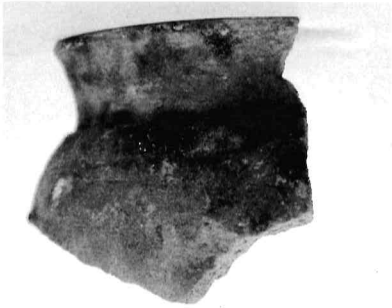
8


9

② SI80 出土遺物（1）



10



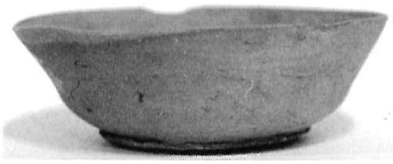
11

12

13

① SI80 出土遺物（2）

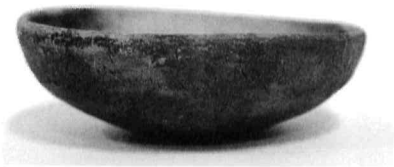
1



2

3

4

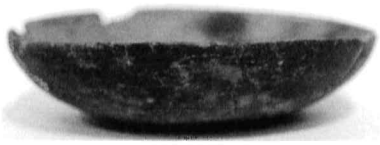


5

6

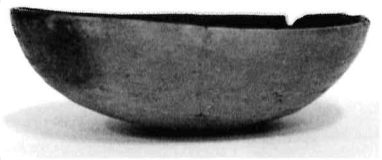
7

8



9

② SI81 出土遺物（1）

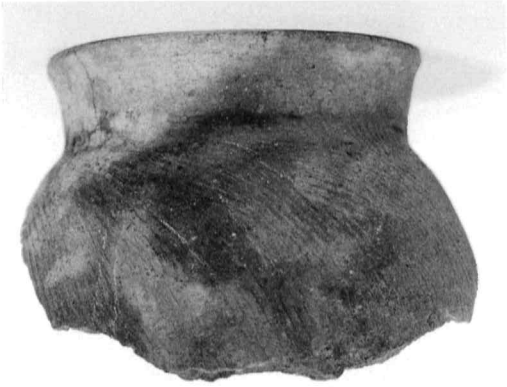


10

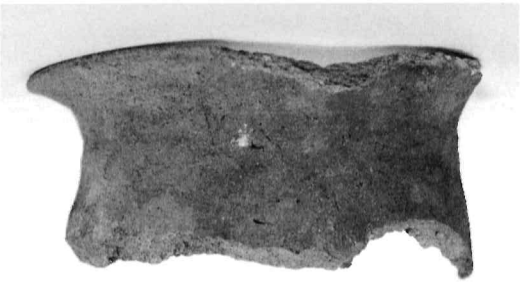
11

12

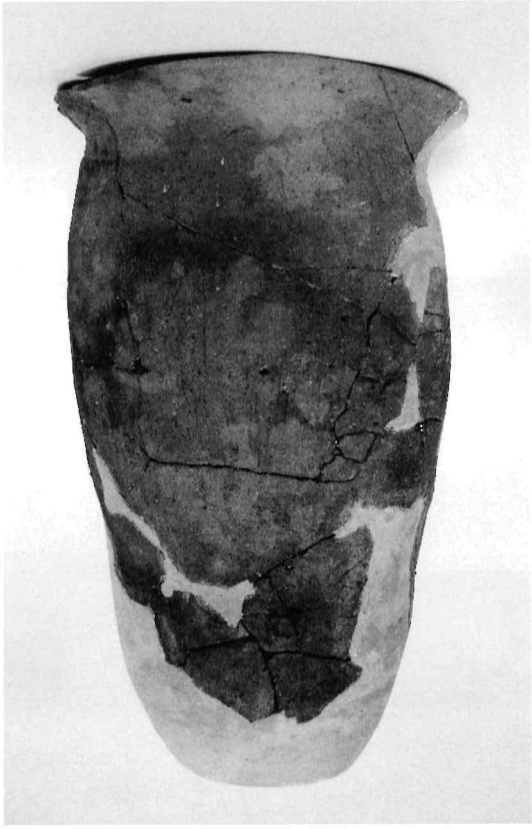
13



14



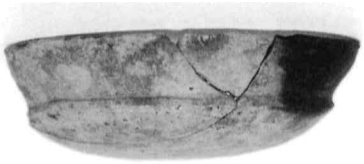
15



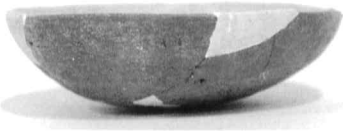
17

16

① SI81 出土遺物（2）



1



2

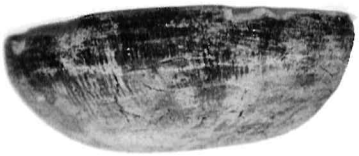
3

4

5

① SI83 出土遺物

2

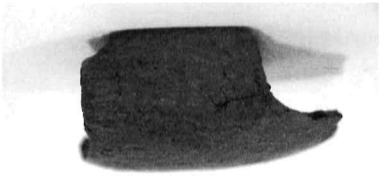


3

4

5

6



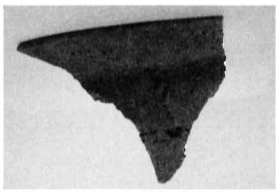
7

8

② SI84 出土遺物

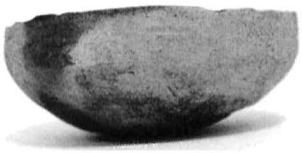
1

2



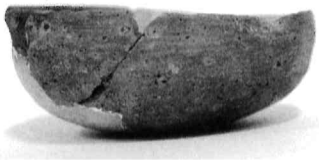
3

① SI85 出土遺物



1

2



4

6

7

8

10

② SI87 出土遺物

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

① SI89 出土遺物

1

2

3

4

5

6

① SI90 出土遺物

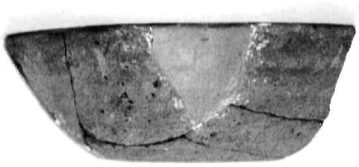
1

2

3

② SI91 出土遺物

1



2

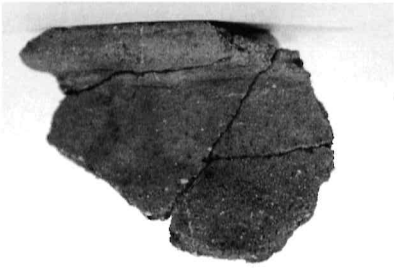
4

③ SI92 出土遺物

1

2

① SI93 出土遺物



1

② SI94 出土遺物

1

2

① SI96 出土遺物

1

2

3

4

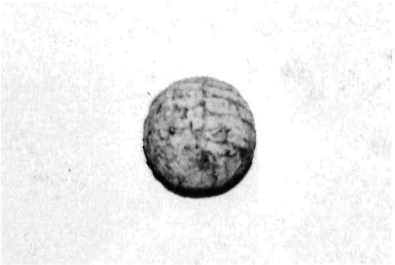
④ SI97 出土遺物

1

2

3

4



5

① 溝　出土遺物

1

2

3

4

5

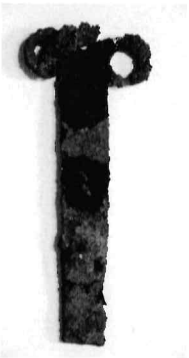
② 土坑出土遺物

1

2

3

5



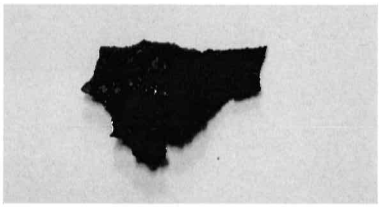
4

6

① 古墳出土遺物

1

2



3

4

5

6

7

② 鉄製品（1）

8

9

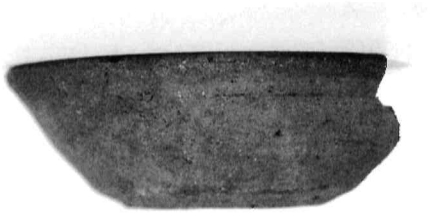
10

11

12

13

① 鉄製品（2）



2

3

5

6

② 遺構外出土遺物

報　告　書　抄　録

ふりがな	にししもやたいせき
書名	西下谷田遺跡　―古代編Ⅱ―
副書名	
巻次	
シリーズ名	宇都宮市埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	第 65 集
編著者名	今平利幸
編集機関	宇都宮市教育委員会
所在地	宇都宮市旭１丁目１番５号　TEL028-632-2764
発行年月日	西暦　2008 年（平成 20 年）３月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にししもやた 西下谷田 遺跡	うつのみやし 宇都宮市 もばらまち 茂原町	09201	467	36 度 27 分 46 秒	139 度 52 分 39 秒	19961210 ～ 19991114	59,200	清掃工場建設に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西下谷田遺跡	古墳	古墳時代	古墳　5 基	土師器 須恵器	
	集落跡	奈良時代	竪穴住居跡　17 軒 掘立柱建物跡　4 棟	鉄製品 耳環	
		古墳時代	竪穴住居跡　3 軒		

宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第65集
西下谷田遺跡―古代編Ⅱ―
平成20年３月発行
発行　宇都宮市教育委員会文化課
（宇都宮市旭１－１－５）
TEL（028）632－2764